夕刊
滿洲日報
十一月十三日
發行所 大連市東公園町三十一番地 株式會社滿洲日報社

印刷
滿日社印刷所

大嘗祭前一日の御儀
天祖並に天神地祇鎭まりまします
けふ、大嘗宮鎭祭の儀

【京都特電十三日發】大嘗宮の御儀に先だち今十三日午後三時から悠紀主基兩殿に於て大嘗祭前一日大嘗宮鎭祭の儀を行はせられた 早朝から大嘗宮内の落葉掃き葉は祓ひ淨められて打水も清々しく、午後二時から悠紀主基兩殿神門並に廻立殿には簡素な御裝飾を施され午後三時町尻、石野、小松、庭田各掌典は衣冠姿にて掌典補を隨へて先づ

悠紀殿 南階の下に參進し、永島掌典補木綿を附けた賢木を悠紀殿内陣に進め、四隅に洗米鹽、切麻を散ずる行事あり、更に川出、武田、兩掌典補殿内に眞薦を鋪き高き案を設け石野掌典神饌を供へ、町尻典は嚴そかに祝詞を奏し終つて神饌を撤して退下、更に主基殿でも引續き同樣の行事あり是澤掌典補は南門の神門外に參進し、庭田掌典は木綿をつけた賢木を各神門の左右に立て、川出掌典補は各神門に米、鹽、切麻を散じ神門中央に眞薦を鋪き案を設け石野掌典神饌を供し、町尻掌典恭しく祝詞を奏し終つて直に神饌を撤す次で各掌典掌典補は

廻立殿 南階の下に參進し先づ武田掌典補中央の御門、御湯殿及び東の御間の四隅に木綿を附けたる賢木を立て、小松掌典は是澤掌典補を率ゐて廻立殿中央の御門御湯殿及び東の御間の四隅に米鹽、切麻を散じて茲に鎭祭の御儀を終り同四時退下、これにて天祖及び天神地祇はこの新しい宮居に鎭まりました次第である

神宮並に賢所に奉幣の御儀
それぐ勅使御差遣

十四日大嘗宮の儀に先だちて各種の御儀が行はせらるゝが、先づ神武天皇以來列聖の皇靈を奉齋の宮中皇靈殿及天神地祇を奉齋の宮中神殿に奉幣の儀がある、十四日午前九時半在京大禮使高等官參向着床し衣冠、單を着した掌典三名、布單を着した掌典補達着床し神樂歌奏樂裡に二名の掌典御扉を開き海のもの山のもの神饌並に御幣物を奉り祝詞奏上あり勅使參向して御祭文を奉讀し皇后陛下御使の拜禮がある又皇祖の神靈を祀ります

伊勢大廟では 十四日午前七時奉幣の儀を行はれ緋袍をつけた勅使は儀仗兵堵列中を幣帛を納めた唐櫃を眞先に勅使これに續きその後から掌典補一名御祭文を錦の袋に納めたものを胸にかけ三條西大宮司以下參列修祓の儀があつて後板垣御門から參入し勅使以下中重石壺の版に着けば奏樂裡に御正殿の扉を開きまつり官幣を案上に奉奠し勅使は

御祭文を奏し これを小宮司に授け三條西大宮司は祝詞を奏上する、次で御祭文及官幣を殿内深く納め奉り勅使以下太玉串を奠じて奉拜し外宮奉幣の御儀を了り午後二時から內宮奉幣の儀に移る、なほ內宮では午前十時から御同樣の大御饌供進の儀を行はれ神饌を供し二獻の神酒を奉り御祭儀を終る、この十四日早曉潔齋した各典儀部諸員は賢所奉安の京都

皇宮内春興殿 宮警部等御殿の南門を警護する午前十時大禮使高等官參列衣冠單をつけた九條掌典長以下掌典着床神樂歌奏さるゝ裡に掌典御扉を開きまゐらせ御饌を供進し神樂歌終了と共に九條掌典長は大前に進み祝詞を奏し奉る、次で御鈴の儀あり天皇陛下御代拜皇后陛下御代拜ありて終つて參列諸員拜禮十時五十分御儀式を終了する

大日本聯合青年團が京都で奉祝大會
秩父宮を名譽總裁に推戴して

【東京十三日發電】大日本聯合青年團は來る十七日から十九日まで三日間京都にて奉祝大會を開く事となつたので、十二日夜幹事會を開き秩父宮殿下を名譽總裁に推戴することに滿場一致で議決し直に宮內省に御許可を願ひ出でた、なほ同團は現在約三百萬の團員を有し從來加盟してゐなかつた樺太、朝鮮、臺灣が新たに加入することゝなつたので茲に始めて名實ともに全國的團體となつた

大禮記者團を招待

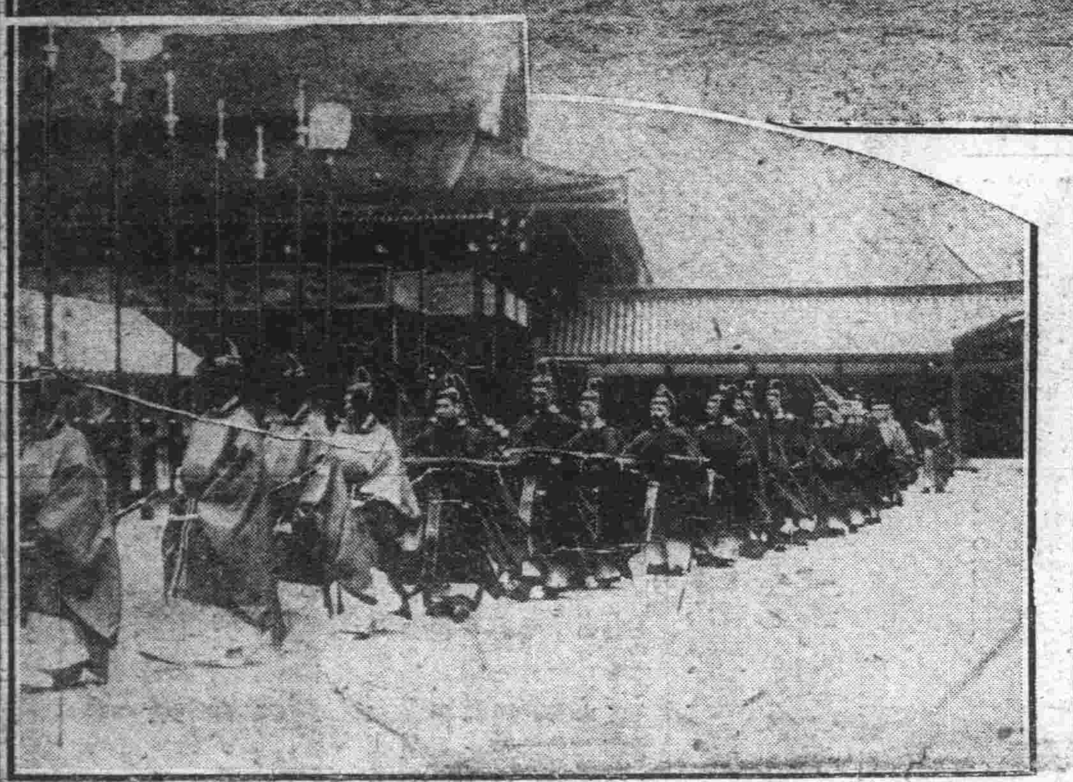
【京都十二日發電】近衞大禮使長官は十二日午後二時半大禮記者團三百餘名を洛外修學院離宮に招待し一行は離宮拜觀をなした上長き邊より御下賜の御紋章入り御菓子を拜受し茶菓の饗應を受けて同三時半退下した

久原遞相張宴

【京都十三日發電】久原遞相は十三日午後四時半祇園の自邸に田中首相以下各閣僚並に鈴木、水野の前大臣夫妻を招き張宴す

ダヴイソン氏授爵

【ロンドン十二日發電】カンタベリー大僧正ランダル、タマス、ダヴイソン氏は今回引退に際しイギリス皇帝よりラムベス男爵に叙せられた



けふの大典畫報
(上)京都皇宮建禮門から續々參入する大官連
(下)紫宸殿の儀を終つて退下する威儀物捧持者

佛國新內閣成立までの經緯
急進社會派左翼反對の裡にポアンカレー氏終始か

【パリ十一日發電】ポアンカレー氏は約二十四時間に亙り暗黙の裡に內閣組織交渉を遂げた結果、今朝に至り遂に下院における急進社會黨一派が自黨員の入閣を拒否するより生ずる危局に直面した、彼等の拒否はポアンカレー氏をして內閣組織を斷念せしむる結果となるからであつた、然るにクーラユー氏はポアンカレー氏に對し貴殿に對しては兎も角カーテル一派には

斷じて 讓歩することは出來ぬと率直に述べ、現狀の下には下院に於ける急進社會黨一派との關係とは獨立に、且つ急進社會黨各派領袖の意志に反して入閣せんとする者にはその道を與へて組閣するより外に方法なしと進言し而して自分としては進んで內務長官に就任するの用意ありとの意を仄めかした、ヅーメルグ大統領も殆んど之と同一意見で嚴格なる立憲的立場から考へて斯る內閣こそ總選擧の論理的結果であるとポアンカレー氏に忠告する處あつた今次のフランス內閣は如上の經緯の下に成立せるものである、尙內務長官が非急進派から出たことは二十六年來今回が

最初で 從つてポアンカレー氏は千九百二十二年及び千九百二十四年急進派及び社會派左翼反對の裡に國務總理として終始したと同じ立場に置かれるものと思はれる、因にポアンカレー氏は賠償問題豫備交渉の爲め近くベルリンに向ふことになるらしい

東三省から日本を驅逐
勞農露國極東革命委員會の三省赤化決議事項

勞農露國極東革命委員會では本月初旬東三省赤化に關し協議の結果

一、張學良氏を懷柔し早く國民政府と提携させ國民政府の力により東三省から日本を驅逐させる

二、蒙古を國民政府より分離させこれに對し積極的赤化宣傳をすること

三、國民政府を使嗾し滿洲より關東軍を驅逐すること

等を決議したと

張煥相氏逮捕令出づ
三省擾亂を企てたこと發覺

【長春特電十三日發】支那側の傳ふる處によれば張煥相氏は國民政府と通謀し學生を指嗾して東三省の擾亂を企てつゝあること發覺し奉天よりの歸途寛城子に於て逮捕すべしとの命令が張作相氏より發せられたといふので種々の噂を生んでゐる

魏前吉敦局長逮捕令を發す

前吉敦鐵路局長魏武英氏は在職當時支出を誤魔化し公金を着服したといふので過般東三省交通委員會で調査中であつたが、今回罪狀明白となり當時の會計書を添へその旨保安總司令部へ申達した、その結果保安總司令部ではこの程魏武英氏の逮捕令を發した

趙鎭氏留任か

【長春特電十三日發】趙鎭吉長吉敦鐵路局長は更迭されることになつたが、後任の高維國氏は學生の騷擾でその局に當るものを更迭することは將來に禍根をのこすことゝなるから留任の要ありと力説したので多分趙氏は留任するであらう

平奉車輛返還

【奉天特電十二日發】第二回の車輛返還は來る十五日新民驛において奉天側米春霖、濮雲奎、顧振、國民政府側葉琪、何千里、李鴻濱の諸氏立會、客車六百、機關車十輛を引渡す筈

持越米過剩で米穀委員會招集
米買上げを協議する

【京都十三日發電】十三日發表されたる十一月一日現在の全國殘存米高は七百五、六十萬石程度と豫想され理想持越しの五百五十萬石を差引いても尙二百萬石の持越過剩を來たしてゐる、これに本年度の五千九百七十萬千餘石を加算すれば六千百七十萬石となり供給過多に陷り米價低落を招くことは極めてあきらかである

政府に おいても新米穀年度における米價政策に關しては過般來種々調査研究を進め、山本農相は來議會に米穀法ならびに米穀需給調節特別會計法の改正案を提案し、現在の米穀運用資金二億圓を四億圓に增加し米價調節にあたることになり目下調査中であるなほ山本農相は來る二十日までに歸京し米穀委員會を招集し本年度の米穀政策を議し新米出廻り期における米買上げに關して協議することになつた

米實收額
第二回豫想と大差あるまい

【京都十三日發電】米作第二回收穫豫想は非常の減少を來してゐる際とて第一回に於ては一般の豫想を全く裏切り六千百二十九萬餘石と發表され、その眞僞に就てすら是非の論八ケましかつた位で、今回の發表には俄然六千萬石臺を割り非常な減少を示すに至つた、一月二十四五日ごろ發表さるべき實收高が第二回收穫豫想に比し增加したのは過去二十五ケ年間を通じて十回でその他は何れも實收減を見てゐる、本年は第一回豫想が非難を受けたので農林省は特に調査員に慎重なる報告をなす樣通牒を發し調査せしめたので實收高も第二回豫想と大した增減はないものと見られてゐる

通江口の特産取引
結氷で近く閉鎖

【鐵嶺】通江口に蝟集してゐた戎克は遼河の結氷も近く特産物其他輸送品も一段落となつた爲め昨今續々と陸揚して冬籠りの準備を開始したる爲め遼河航行の戎克は全く中止され通江口の特産取引市場も近く閉鎖すると

水產會總會

關東州水產會では來る二十一、二十二の兩日間關東廳新館會議室で總會を開き水產事務並に來年度豫算に就いて打合せ協議すると

新任檢察官着任期

大阪地方裁判所檢事から大連地方法院檢察局檢察官に任命された高井麻太郎氏及德島地方裁判所判事から旅順高等法院覆審部兼上告部判官に任ぜられた野本熊氏は來る十四日何れも着任の豫定で高井氏は大正十三年明大法科、野本氏は大正十一年中央大學法科卒業である

人事

▲市川數三氏(滿鐵々道部次長)十二日午後九時發、線視察に向つたが十七日朝歸任の筈

▲杉野大連市長 關東軍司令部及五十聯隊訪問のため十三日旅順出張即日歸來

▲高橋政雄氏(第十四師團司令部步兵少佐)十三日午前十時出帆の香港丸にて內地へ

▲櫻井篤氏(飛行五聯隊航空大尉)同上

▲森永善吉氏(森永製菓會社長)同上

▲實相寺定彥氏(營大公司重役)十三日午前十一時出帆の奉天丸にて青島へ

大觀小觀

◇明日大嘗宮の御儀、御大典中重大の式典。

◇聖上、深更より曉にかけて御祭あらせらる、崇高無比。

◇ポアンカレー氏再組閣、人材は得難しと見ゆ。

◇危機に瀕した民政黨なほ倒閣を叫ぶ、重態患者が暴れ出すやうなもの。

◇滿鐵ボーナスの不平とや。妻君連が喧ましいためであらう。

◇面倒なものなら、出さぬ方が得策。

天氣豫報

十四日(曇) 南西の風
日出六時三四分日沒四時四一分
滿潮前十一時五分後十一時三〇分
干潮前五時三〇分後四時五五分

各地の温度

	午前十一時	昨日最低
大連	六、二	一、五
旅順	八、〇	一、〇
營口	六、二	零下八、四
奉天	四、一	零下九、七
長春	〇、三	零下一二、三

お斷り

七十行小說及び文藝欄御大典期間中休載します

御大典奉祝愛國精神發揚の旗行列は愈よ明十四日
主催 滿洲日報社

一、**大連の部** 午前九時卅分(煙火一發)迄に電園下に集合、同九時五十五分(煙火一發)杉野市長の發聲にて萬歲三唱、正十時(煙火三發)岩井總指揮官の號令にて出發、行進順路―常盤橋、信濃町市場正門前、磐城町、浪速町四丁、三丁、二丁目より奧町を大廣場に出で市役所前を右へ神明町を眞直に大連神社に到り、各團體別に參拜萬歲を三唱して隨意歸途につく

二、**西部大連の部** 午前九時卅分(煙火一發)までに沙河口郵便局前廣場に集合、同十時(煙火一發)杉野市長の發聲にて萬歲三唱、直に出發(煙火三發)行進順路―大正通り電車線路に出で沙河口神社に到つて禮拜の後、萬歲を三唱、それより三隊に分れ一隊は霞町、沙河口小學校通學區域を、他の一隊は巴町、仲町、大正通りを巡行し、大正小學校前の奉祝塔下に集合萬歲を三唱して解散、更に他の一隊は沙河口神社より聖德街及び聖德小學校通學區域を巡行し聖德太子堂前にて解散

三、**嶺前屯の部** 午前九時卅分嶺前小學校に集合、同十時榊原校長の發聲にて萬歲三唱、出發行進順路―兒童を先頭に鶴舞橋、鳴鶴臺、晴明臺、光風臺に至り大國旗の下にて萬歲三唱更に光風臺から文化臺電車道に出て綠欄より桃源臺に入り小松谷より鶴龍臺に到り大國旗下にて萬歲三唱、次に平和臺より電車で歸校、一般人は冷酒を酌み君ケ代を合唱し萬歲三唱散會

現金に替へたい爲に
軍用毛布投賣處分(大判)
將校用 茶毛布 貳枚にて貳圓五拾錢
兵卒用 二枚にて金貳圓二拾錢
◉新品にして安毛布やキズ物古物にあらず
此の毛布は支那戰爭地に納品を見越し多數製品したる品なるが張作霖の變死するや滿洲軍は山東に引上げ平和となり支那被服廠にては全く毛布の不用を來し日貨排斥は支那全土に日に〳〵高まり織元は多數の品の處分に困り日支間に最も關係深き弊商會に處分方を依賴せられたるが餘り多數の爲に當低處分仕切ず止得ず內地、支那、朝鮮の一般使用の方に市價の半値にも足らぬ安値を以て或る定數を限り賣り始めました勿論嚴寒地向の品故防寒用寢具用としては最も理想的の品です品質本位の弊商會を安心の上御希望の方は枚數明記ハガキにて御註文下されば代金引換を以て郵送致します萬一品物に不向の節は返金致します
東京市神田元柳原町十 振替東京三八七三番
毛布問屋 日支被服商會

先づ壹臺を備へて
滿蒙開發に貢獻せられよ!!!
農林省比較審査 最高位入選
オフセット式
ヤンマー

二・三・六・一〇・一五各馬力在庫
すゝむ文化のその蔭に 働るヤンマーの發動機
滿鐵指定 特約店募集
發賣元 大阪驛(梅田)東北 山岡發動機工作所
支店 東京・福岡・京城・旭川・德島

護謨製品の修理開始
多年苦心の結果如何なるゴム製品にても新品同樣に修理出來ますれば一度御ためしあらん事を
一時のがれのタイヤの切りつぎ皮のはりつけの樣に不體裁にて直に破れるものにあらず
―(修理品目)―
一、ゴム靴　一、オーバシユース
一、ゴム水枕　一、ゴムマリ
關東廳大連購買組合 滿鐵鐵道教習所 遞信局購買組合 御指定
大連浪速町二丁目 梅本製靴鞄店
電話七四八六 振替大連七二

理想のお米
胚芽保有
保健米
美味にして保健上缺くべからざる「ヴイタミンB」は米の胚芽に最も多く含有す
お添へ物化粧用無砂の米ぬか進呈致します
絶對無砂搗
市內米穀店には何れも販賣す
大連精糧株式會社
大連市三春町一

幽靈講を喰物にして 數萬圓を詐欺横領
被害者は千名以上の見込み 愈よ不正講を檢擧

世の不況に乘じて幽靈講を無暗矢鱈に作り、講金數萬圓を横領した大詐欺漢を目下大連署司法係で取調べ中であるが、この被害者千名以上に達する見込みで成行は重大視されてゐる、市内監部通二〇五番地渡邊綱吉(〇)は數十件の講長となり、加入會員約千名を占めて講會を專業の如く營んでゐたが、その實、講會を喰物に詐欺を働きその横領を働いてゐたことが最近に至つて發覺、司直の取調を受ける身となつたが、その手段は極めて巧で、架空の人物を會員となし、自分が委任された如く裝ふて落札横領し又は他人の口を平氣で落して着服するなど數種の手段で數萬圓を横領し、今日まで隱蔽して來たものである、大連署で調査の結果判明した被害講名及び横領金額は左の如くである(單位圓)

講名	日數	横領金額
廿三日講	二四	一、〇五〇
ブラジル講	二三	二、〇六四
和合講	二〇	一、八九七
親和講	一三	六五四
十一日講	一八	七〇〇五
廿日講	二〇	五〇〇二
十日講	二五	五五〇〇
花友會	二六	四五五二
十五日講	一六	一、一〇九
共和講	二四	一、六六五
十八日講	二三	一、九三七
伏見講	二四	一、〇一六
九日講	一五	九四九
對馬講	二三	九五三
愛宕講	二五	四七五
計		一三、二八三

なほ二十餘の講會については目下調査中であるが、被害者は何れも中産及び無産階級であるので大なる社會問題であるとされ大連署の取調進展は注目されてゐる

各神社の大嘗祭典 神饌幣帛料を供進

明十四日大嘗祭御當日には大連神社に於て午後三時より沙河口神社及金刀比羅神社に於て午前十時より大嘗祭典が嚴行されるので大連民政署藤井庶務課長が關東長官代理として神饌幣帛料を供進する筈

上告を取下げ 恩赦に浴す 大審院で六十八件

【東京十三日發電】恩赦の發表間際になつて特赦の恩典に浴せんとして大審院に上告中の事件を急に取下げられた件數は六十八件あつた事が明かとなつた、なほ右取下げは選擧違反二九、賭博二、有價證券僞造二、新聞紙法違反、殺人未遂三、文書僞造二、恐喝一、銃砲火藥法違反一、強窃盜四、横領九、關税法違反一、傷害一、贓物故買五、詐欺三の外無期懲役刑のもの一件これ等は何れも上告取下げと共に控訴判決に服罪し特赦の恩典に浴したものである

長春の恩赦

【長春特電十三日發】御大典に際し特に恩赦に浴せるもの七十四名うち六名は在監囚で四分の一の減刑を受け何れも聖代の鴻恩に感泣した、なほ六十八名は執行猶豫中のもので内地人三十一名である

御大典畫報

【上圖】御神輿の大行列で賑つた江戸ツ子の奉祝【下圖】九日午前京都府廳内臨時内閣出張所内で開かれた初閣議を終へた各閣僚

婦人が集つて御大典を壽ぐ けふ西本願寺別院で奉祝會の催し

西本願寺別院の婦人會及女子青年會が聯合して御大典奉祝會を今十三日午前十一時から若草山の別院で開催した、老たる婦人達若き娘さん達約百名集りこの佳き日を祝し合ふのである まづ十一時となるや、僧侶達によつて佛前の勤行がありこれが終つて、井藤主事の開會の辭、次いで女子青年會の竹下要嬢と婦人會の武山春二夫人の挨拶、津村輪香の祝辭があつて閉會し午後は餘興に移つて木谷、國政兩夫人其他の謡曲、仕舞、大給、池淵諸嬢の獨唱、曾我廼家五郎一座の喜劇があつて賑々しく餘興は終つた

西本願寺別院で奉祝會

萬一に備へ 飛行隊駐屯 櫻井航空大尉談

十三日午前十時出帆の香港丸にて内地へ向つた飛行五聯隊航空大尉櫻井肇氏は語る

自分は平壌飛行隊と共に濟南に在つたが同隊の歸還と共に太刀洗飛行隊に歸へる事となつた、目下濟南には從來天津に在つた飛行隊が交替駐屯してゐるが、おそらく飛行隊が再び濟南で活躍するが如き事件は起り得ないと思ふが同地方の數萬の失業難民と沿線の土匪との結合の結果如何なる突發事件が起らぬとも限らぬ故萬一の場合に備へてゐるにすぎぬ

故王氏一周忌 松岡副社長參列

來る二十日は故奉天省長王永江氏の一周忌に相當し金州同氏邸に於て祭典が嚴行されるので松岡滿鐵副社長は同日午前八時發花輪を携へて參列する筈

鋼塊幽痕の防止方法を發見 室蘭日本製鋼の巻田技師が世界的大發見に成功

【仙臺十三日發電】大砲や軍艦製作に供する大鋼塊の鑄造に際し必ず生ずる幽痕は製鐵工業界の癌として其の防止方法は世界各國とも全く不能としてゐたが、今回室蘭日本製鋼會社技師巻田宗次氏が多年研究の結果右の防止方法を發見東北帝大工學部へ研究内容の檢査を依頼して來た右につき教授會を經た結果學界に推奬するに足る新研究であると直に學位を授與さるゝこととなつた 幽痕とは鋼塊鑄製の際熱の冷えるに伴ひ内面に不純分が角隅輪狀英字のヴイ字形となつて現れ大砲一門を作るに一萬數千圓の損を生じ何人も之が防止を發見し得なかつたものである、今回の防止法は頗る完全なものであるが工業上又は對外的に一切極秘にされてゐる右につき村上工學部長は口を極めて貢獻の偉大なることゝ賞讃してゐる巻田氏は三重縣津市福川町出身で大正三年東北帝大理學部を卒業室蘭製鋼會社に入社今日に及んだものである

小亞細亞沿岸暴風雨

【ブカレスト十二日發電】小亞細亞沿岸地方暴風雨の爲めロシア汽船コルノエ號は沿岸より三十哩の處に於て難破し四十名溺死したとの報あり尚ほ其の外に遭難船舶多數ある見込である

青島港灣の改修視察 姚局長歸靑す

十三日午前十一時出帆の奉天丸にて青島へ向つた青島港政局長姚華蔚氏は語る

約八日間に亘つて技師五名と共に青島港灣改良の資料を得るため大連港の築港構造、埠頭各繋留場の狀態等を視察研究して得る所頗る大であつた、國民政府の新計畫として青島港灣の面目を一新せんとする大計畫も最近着々進捗してゐるので大連港の長所に倣ひ青島港をして模範的良港とし度いとの考であると

自動車を當てた幸運者は? 勸業博覽會で千圓當つた監部通の紙屋さん

「ろ」の六三四四四……大賣出の特別景品券の抽籤に一等賞自動車のあたつた幸運者が誰であらうかといふことは抽籤以來一晩中市中の話題となつてゐたが今十三日朝になつて市内監部通り二丁目三一紙商今西喜左衞門氏であることが判明した、氏は目下家族をつれて去る六日商用を負んで上阪中で店は番當さんが預かつてゐる

今西さんは斯うした抽籤には何時も幸運で有名な人で大連博覽會の福券でも一等千圓を引きあてゝ當時世の羨望の的となつたことがあつたが、又してもこの幸運でも福を知らずに内地旅行は何處までも福の神にとりつかれてゐると見える

今西さんはオートバイに乘る紙屋さんで通つてゐる程のオートバイ好きで今でもハーレーダビツトソンとインデアンと二臺一流品をもつて愛乘してゐるが、自動車の免許狀もあるから今度は自分で運轉して樂しむとだらうと近隣の人達は羨んでゐる

記念切手と繪葉書の賣行

遞信局が記念事業として計畫した御大典聯合記念切手及記念繪葉書の賣出し記念日附印の使用は何れも十日から開始したが、希望者殺到し六錢及十錢の切手及繪葉書は殆ど賣つくした程の盛況で十日から十二日迄の大連局賣捌數は左の如くである

繪葉書四、六三六 切手一錢五厘四七、一八三、三錢三七、六一五、六錢八、九五九、十錢六、一三八

お台所メモ (十三日)

公設市場物價表 (單位錢)

品目	單位	價格
生鯛	百匁	一三〇
氷鯛	同	七五
まぐろ	同	一二〇
ぶり	同	―
ほうぼう	同	一五―一八
たら	同	―
いか	同	三五―二〇
たこ	同	三六
ぐち	同	一〇
かな頭	同	八
えび	一尾	一二〇―八〇
ひらめ	百匁	二〇―一五
すき	同	―
さはら	同	三五
めばる	同	二五
あぶらめ	同	―
ぼら	同	四〇―三五
かれい	同	一〇〇
さば	同	二〇〇
いわし	同	二〇―一五
うなぎ	同	一五〇
あなご	同	三五
どぢやう	同	二〇
ちぬ	同	―
かき	同	一〇
かに	一尾	一〇
あわび	百匁	―
なまこ	同	―
あか貝	同	七
鷄肉上	同	八六
同並	同	七〇
鷄卵	十個	四八―四五
牛肉	百匁	一等六六 二等五〇
同上	同	三等四〇 四等二四
豚肉	同	一等四〇
同上	同	二等三八
きうり	一本	七―三
なす	一個	―
かぼちや	百匁	三
にんじん	同	四
ごぼう	同	七
れんこん	同	一〇―八
せうが	一把	一二
じやがいも	百匁	四
さといも	同	七
やまいも	同	一二
さつまいも	同	三
はくさい	同	三
ほうれん草	一把	二
みつば	同	三―一
かぶら菜	同	九―四
とまと	百匁	―
いんげん豆	同	―
玉ねぎ	同	五―四
ねぎ	同	三
大根	一本	七―三
りんご	百匁	一五―八
かき	十個	五〇―二〇
ぶどう	百匁	―
ざぼん	一個	―
栗	百匁	―
バナナ	同	―
すゐみつとう	同	一五―八
なし	同	―
松茸	同	一二〇―四〇
札幌ビール	一打	三・四〇
キリンビール	同	三・四〇
サクラビール	同	三・四〇
月星サイダー	同	一・五〇
リボンシトロン	同	二・三五
碇ソース	一瓶	三八
とまとソース	同	二八
まよねずソース	同	六〇
味噌(赤)	百匁	八
同(白)	同	八
[illegible]味噌	同	―
酢	一合	五
茶(正喜撰)	一斤	九五
同(寄撰)	同	六八
同(川柳)	同	五〇
福神漬	百匁	二〇
奈良漬	同	五〇―三〇
良宗漬	同	一三
東京澤庵漬	同	一二―一〇
同(滿洲)	同	―
梅干(白)	同	三〇
同(赤)	同	一五
椎茸	同	二五〇―二〇〇
たけのこ	同	四〇
干瓢	同	五〇
干切	同	―
新ます	同	[illegible]
高野豆腐	十個	二〇
鯣先するめ	百匁	一・〇〇
さより味淋干	同	一・〇〇
イワシ同	同	―
フグ同	同	―
佃煮(ハゼ)	同	七〇
同(エビ)	同	―
海苔(東京)	十枚	五〇―二三
同(朝鮮)	同	―
鰹節(土佐)	百匁	一・八〇
同(薩摩)	同	―
鯛子	同	四〇―四五
良京(瓶詰)	一瓶	三五
鮭(罐詰)	一罐	三〇
スマ子	百匁	九〇―八〇

浪速町大火の放火事件公判 來る二十九日に開廷

狂戀の果、情夫と共謀して火を放ち、浪速町三丁目の大火を惹き起した喜代本飲食店の女將稲垣きよしこ及その情夫金島義男に係る放火事件の公判は來る二十九日大連地方法院一號法廷で安住裁判長係開廷されるに決定、本年掉尾の大公判として興味を呼んでゐる

なほ井原史郎に係る水中毒事件、田子山元大連署巡査部長一味の瀆職事件の公判は來る二十二日開廷の筈

吉野町の小火

十三日午前十時三十分ごろ市内吉野町四番地廣瀬印刷店から出火し大事に至らんとしたが消防隊が馳せつけ消止めた被害輕微で原因はストーブの不始末から

一中卒業生 活辯を志願 上京して無心

市内天神町四一番地水木仙吉=假名=の長男定一(一七)は昨年大連一中を卒業したが、兩親は專門學校を受驗さすべく努めてゐたところ定一はいつか不良少年の群に投じてカフエーに入りびたつて酒色に身を持ち崩し高等學校に進むより活辯になると兩親の意見も聞かぬので「活辯」になる位なら勘當すると云へば勘當は親の勝手だと今春家をとび出し市内某館で二、三ケ月活辯見習ひにすみ込んだが辛抱出來ず東京に出て職を求めると親の金を盜み出て内地へ出奔したが、最近は病氣の僞電を打つて再三親に無心をいひ、金を送らぬと自殺するとをどして來るので、老た兩親は思ひ餘つて大連署へ說諭方を願ひ出た

營業開始 本月中には品揃ひ
大連市信濃町一四五(信濃町市場前側トキワ樽角) 丸岡糸卸店 電話六六八四番

航空母艦加賀に赤痢猖獗す

【横須賀十三日發電】新鋭の航空母艦として來る十二月四日大禮大觀艦式に初の參列をする加賀(二萬六千九百噸)に發生の赤痢は十八名に達し同艦長は横須賀海軍病院と協力防疫に努めてゐたが更に二等機關兵長谷川好夫(二〇)外十五名は海軍病院で何れも赤痢と診定された以前からの患者を加算すると約五十名に達する尚十六名の新患者と共に横須賀海軍砲術學校追濱航空隊からも各一名の赤痢患者が發生した

ばいかる丸の奉祝山車

明日入港する定期船ばいかる丸乘組員は十四日及び十六日の二日御大典奉祝の山車を出し市中を練り廻ると

漂流船注意

十三日午前九時大連無線電信局では朝鮮西岸航行中の帝國汽船株式會社所屬大順丸(一、二七四噸)から

十三日午前九時東經百二十五度十分北緯三十八度四十一分席島の東一浬四分の一の地點に帆船水舟となり漂流しつゝあり航行上注意を要す

との報告をうけたので航行上注意を要するものとして直に同局通信圏内の内外船舶に警報し又大連放送局でも航行警報として放送した

卅七八年會開催

大連三十七八年會では毎年海軍記念日及陸軍記念日を期して總會を開催して來たが大正十三年海軍記念日に第四回總會を開催以來久しく中絶の姿となつて居たが御大典に際し來る廿一日午後五時より中央公園内西園亭に第五回總會を開催することゝなつたが會費は五圓で當日持參のこと、申込みは滿洲興信公所(駿河町一番地電話四七六六番)へ

第五報まで皆そろへて 完全なる御大典映畫謹寫
あす大連と沙河口に於て

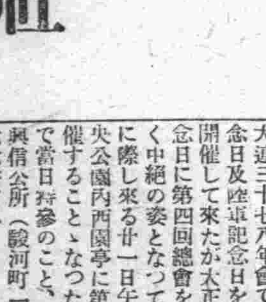
本社は既に御大典映畫第一、二報を大連、旅順において公開し速報の任を果したが、第三、四報は本日までに到着し本日鞍山、遼陽において公開する事となつた、仍て本社は十四日夜到着する第五報までをそろへて大連市民の前に謹寫すべく、左の如く日時を定めた、なほ本映畫の謹寫會は最も靜肅にしたく場内整理の必要上一人につき金十錢を申受ける

十四日午後三時より 沙河口劇場

十四日午後七時より 協和會館

なほ御大典映畫の外『秩父宮御成婚』其他のフイルムも映寫する

主催 滿洲日報社



專賣特許 ウテナ 眞に色白く美しくなる
荒れを止め、美しい素顏に『ウテナ』 魅力溢れるお化粧は『ウテナ』愛用から 素晴しい人氣の專賣特許美白料『ウテナ』
寫眞は水谷八重子孃と『ウテナ』
專賣特許『ウテナ』は定價一圓、二圓、三圓、全國の大百貨店有名化粧品店藥店にあります。―東京・ウテナ本舗―
赤津博士實驗推奬

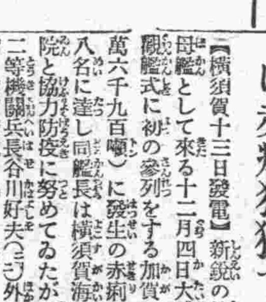
債券賣買相場

種別	賣値	買値
二十六	九、一五	八、七五
二十七	九、二五	八、八五
二十八	九、二五	八、八五
二十九	九、三五	八、九五
三十	八、九五	八、五五
三十一	九、三〇	八、八〇
三十二	九、一五	八、七五
四十四	八、八〇	八、四〇
四十七	八、八〇	八、六〇
四十八・五十四	△九、一〇	八、七〇
四十九	八、九五	八、七五
五十	△八、九〇	八、五〇
五十二	八、八〇	八、四〇
五十八	八、九五	八、五五
六十三	△九、二〇	八、八〇
六十四	九、〇〇	八、六〇
六十六	△七、九五	七、五五
六十七	七、八五	七、四五
六十八	七、七〇	七、三〇
六十九	七、七五	七、三〇
七十	△七、九五	七、五五
七十一	七、八〇	七、四〇
七十二	七、七五	七、三五
七十三	七、九〇	七、三〇
七十四	七、八五	七、四五
七十五	七、八二	七、四〇
七十六	七、七五	七、三〇
七十七	七、九〇	七、五五
七十八	七、八五	七、一五
八十	七、八〇	七、四〇
八十二	△八、一五	七、七五
八十三	七、八〇	七、四〇
八十六	八、三五	八、一五
八十七	八、七〇	八、三〇
八十九	[illegible]	[illegible]
一回復興	[illegible]	[illegible]
二回復興	[illegible]	[illegible]
三回復興	[illegible]	[illegible]
四回復興	[illegible]	[illegible]
八回復興	[illegible]	[illegible]
九回復興	[illegible]	[illegible]
十回復興	[illegible]	[illegible]
五回復興	[illegible]	[illegible]
六回復興	[illegible]	[illegible]
七回復興	[illegible]	[illegible]
八回復興	[illegible]	[illegible]
九回復興	[illegible]	[illegible]
十回復興	[illegible]	[illegible]

本値段表 十一月廿日迄 △印は來月くじ

當籤番號表一部金參錢 ◎商品切手賣買致升
大連市但馬町二 電話四五九一番 振替大連二四一番 債券專業 大一商店

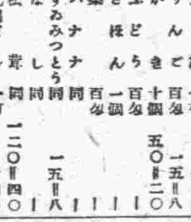
大連市愛宕町(天金前) 内科專門 櫻井内科醫院 電話七〇〇〇番



斯界の覇王 キリンストーブ
本ストーブは滿洲の氣温を標準として考案製作したもので殊に内部がペーチカ式になつて居りますから如何なる嚴寒にも耐へ得られる理想的逸品であります
總鑄物製 定價金三十三圓 特價二十九圓
製造發賣元 大連市青雲臺三十六番 電八六三七番 合名會社 謙益商會本店
大連市西公園町百十五番地 謙益商會支店 坂本清義
大連稲葉高谷園藝商會内 電話六四一五番 北田龜吉 出張販賣事務所

御待合開業 福家 美濃町四三 電話五六二六
此の度美濃町……つたやの跡を讓受け十一月十三日より開業致しました精々勉強致しますから何卒つたやと同樣皆々樣の御引立を御願致します

廢業
私事今般都合に依り廢業致しました開業中御愛顧に預りました皆樣に對し茲に厚く御禮申上げます尚私の跡を引受けられました福家に對しても私と同樣御愛顧の程祈ります
元 つたや



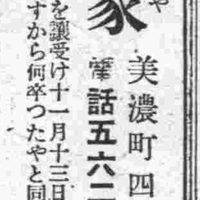
超高級品 ソフトドウビスケット
四大特長 品質ハ無双 風味ハ獨特 形狀ハ高尚 外觀ハ優雅
東京品川 東洋製菓株式會社

轉居 戸谷銀三郎 月見ケ岡三百十六番地ノ四 電話九七〇一番

花輪なら斬新で安い 春秋社へ 電話六〇四七番

入院應需 内科 小兒科 大連市吉野町三越横 桐原醫院 電話四二一九番

性病 梅毒淋疾軟性下疳 皮膚病 泌尿器病 生殖器障碍 大連浪速町一丁目 電話五二六〇番 井上醫院



松葉の浴劑 モントゾン浴錠
本品の一浴によく心身を淨浄にし疲勞を癒す 一罐十二錠入 金參圓
發賣元 大連 日本賣藥會社

高級車「ナッシュ」揃ひ FUJI TAXI ふじタクシー 電話 TEL 8891番 8827

滿洲各地邦人關係の森林事業投資額
總計二千七百六十二萬餘圓
―各地商工會議所調査

政府の木材關税改正を機會とし滿洲特有樹種の關税免除が問題となり、安東商業會議所はこれを滿洲商工會議所聯合會の問題とし更に本月下旬開かれる日本商工會議所の定期總會に提議し當局に對して紅松、杉松、落葉松の三種木材關税を要請せんとし一方滿洲木材同業組合聯合會でも會議所側と呼應して其の要請運動を起しつゝある係る滿洲各地邦人關係の森林事業が今これに關聯し其の最近調査に投資額を表示すれば左の如し（單位千圓）

滿洲各地邦人關係森林事業投資額（各地商工會議所調）

投資年月	投資額	投資地區名	投資形式	投資者名
大正八年	一、三〇〇	東支鐵道東部線海林附近	日支合辦	東拓
同十一年	五、〇〇〇	東支鐵道西部線免渡河附近	同	滿鐵
同 八年	三、五〇〇	吉林省牡丹江下流三道河附近	同	三井物産
同 八年	五〇〇	東支東部線小市附近、吉敦線敦化附近、黒龍江省嫩江上流	同	大西庫治、趙守貞共同出資
同 九年	五〇〇	吉林省方正縣	同	鴨綠江採木公司
同十五年	五〇〇	東支鐵道東部線牡丹江附近	日支共同經營	植田一夫共同、裕甯新公司
同 七年	六六	吉林省	支那名義人	日支豐材公司
同 八年	四三	同	同	興林公司
同 七年	一、〇四	同	同	富寧公司
同 七年	一、一三	同	同	支那人名義黄川公司
同 七年	三、八九一	同	同	日支合辦華森公司
同 九年	三五〇	同	支那人伐採者契約	吉林木材株式會社
同 七年	三〇〇	同	同	三井物産吉林出張所
同 七年	八〇	同	同	三菱合名出張所
同 九年	五〇	同	同	吉林採木公司
同十三年	七〇〇	同	丹吉公司名義	滿鐵
同 七年	一五〇	同	支那人伐採者契約	日華合
同 七年	一五〇	同	同	石光洋行
同 七年	一三	同	同	鴨綠江製材無限公司
同 七年	二〇〇	同	同	內垣實衞
同 七年	四〇〇	同	同	吉林在住一般小木材商
明治四二年	三、〇〇〇	鴨綠江流域	日支合辦	鴨綠江採木公司
大正九年	七〇	奉天省興京縣	山林代採權	東拓
同十三年	九九	奉天省本溪湖大邊溝	同	同
同 七年	二、三〇〇	松花江上流	林場權の買收投資	滿洲製材會社、東亞興産會社、松永洋行、阿川洋行、高橋商會、三井物産長春出張所、三菱商事長春出張所
同 七年	一〇五			
合計	二七、六二四			

撫順炭活躍
北滿及び奉海線進出

撫順炭の北滿進出は擧てより傳へられて居たが最近の嚴寒によつて特に著しくなつて來た、之れは當局者が奥地支那側小炭坑と競爭して撫順炭の販路を擴張せんとする計畫によるものであつて多少の犧牲を惜まずに斷行してゐる結果で、將來もなほその計畫を續ける筈である、また奉海線方面へも大分動く様になつたが、此の方面は良炭の動きは少く、銀もの及びボク混合のものを要求してゐるらしく此の方面は初めての事とて擴張の意味にて追々進出する計畫であると

商品の初立會

大連五品取引所の商品市場は昨十二日民國祭典節で臨時休場したので本日前場から新築市場で初立會を行つた、立會中原田理事長及び取引人組合長谷口英次郎氏の挨拶あり御祝儀商內彈み麻袋、綿糸布麥粉共取引活況を呈した

滿洲特有材の免税要請
本邦木材政策確立の爲
滿洲木材同業組合側の主張

今回滿洲木材同業組合聯合會が木材關税の改正を好機とし滿洲特有樹種たる紅松、杉松、落葉松の三木材關税の免除要請の運動を起したる理由とする所は大要左の通りである

一、無盡藏を誇る米國の森林と雖も今後三十年の壽命を保持し難かるべく、世界的木材饑饉の襲來を憂慮さるゝ秋、翻て我國木材一ケ年の消費量一億九千萬石に對し、其の成長量は一億三千萬石にして、不足額六千萬石は一半を輸移入材に仰ぎ、一半は所謂元本の伐採に依り辛ふじてこれを補充しつゝある現狀を睹、更に木材の需要が人口の增加と文化の向上に伴ひ激增の不可避なるに想到せば、總蓄積量僅かに四十億萬石に過ぎざる帝國森林の前途と木材經濟の將來は洵に寒心に堪へないものがある

一、果然我特殊地域たる滿洲には日露戰役直後日、清、兩全權に依り締結せられたる條約（鴨綠江上流森林の利益は兩國之に均霑す）に基く兩國政府の合辦事業たる採木公司の存在、並に我投資額六千數百萬圓を算し、其蓄積量九十億萬石を有する二千八百萬町歩の大森林と、之れを對象とする製材工業が悉く邦人の獨占たる事實を閑却してはならぬ

一、苟も國民生活の必需品たる木材の自給自足が國內に於て不可能なる帝國の現狀と外材輸入に基く正貨の流出を思ふ時、我勢力圏たる滿洲の森林寶庫を拓くの管鑰は、夙く之を我手中に掌握し置くの喫緊事たるを痛感すると共に、政府が今期議會に提出せんとする現行木材輸入關税定率法の改正に方り、帝國の滿蒙に於ける特殊權益の擁護と滿蒙資源の開發、並に我國木材政策の樹立を基調として、國民生活上必需の我滿洲特産たる前掲三樹種を限り、之れを無税とせられんことを要請する次第である

一、若しそれ上述せる如き重大使命を有する滿洲の森林と、之を對象として邦人が二十餘年間拮据辛苦の結晶たる木材工業を無視し、彼の輸入年額一千數百萬石に上り正貨の流出一億二千萬圓を超え、如實に我國際貸借を脅威し帝國林業を壓迫しつゝある米國材と、我滿洲材を同一視し此に課せんとするが如き關税立法は、我大陸發展の國是に悖り滿蒙政策を破壞するものなりと斷言するを憚らぬ

一、抑も我國の木材政策樹立の對象を內地森林のみに限るの不可なるは論を俟たないところで、亦朝鮮の林政計畫に於て植樹造林の忽諸に付すべからざるは識者の認むる處なるも謂れなき伐採否濫伐の如きは木材經濟の本末を顚倒する暴擧といはねばならぬ

一、曩に朝鮮當局は第五十二議會に於て林産保護、自給自足等に名を藉り、突如朝鮮に於ける木材輸入關税特例廢止法律案を提げ滿洲材の鮮內輸入を防遏し、等しく大陸發展の同一軌道を歩みつゝある在滿同胞の生業を脅ひ、其經濟生活を破壞するが如き國策の矛盾を暴露し該案は衆議院委員會に於て握り潰されたのである

要之帝國の木材經濟に關する國家百年の大計は、內地、朝鮮、滿洲の林産を基調として始めて確立することを得べく、徒らに滿洲の林産を外材として關税の墻壁を設けて輸入を防遏せんとするが如きは、恰も自ら腕を斬り脚を斷つと一般、愚や及ぶべからずである。是れ吾人が帝國の木材政策の樹立と滿蒙産業開發の爲めに首題の要請を掲げ敢て朝野の淸鑒を仰がんとする所以である

郵貯著增す
奉祝記念等で
十月に於ける現況

九月中に於ける郵便貯金は既報の如く好成績を收めたが、十月に入つては御大典の奉祝記念貯金で一層好現象を呈してゐる卽ち十月中の實況は

◇預入高口數七〇、八〇九口、金額一、四〇一、七〇三圓
◇拂戻高口數二三、六六六口、金額一、三〇二、一二八圓
◇月末現在高人員二五二、七八七人、金額一七、五七八、五〇三圓

とあり九月末現在高に比し人員に於て千三百九十一人、金額に於て九萬九千四百九十五圓の增加を示した、因に昨年十月末の現在高は人員廿三萬六千六百六十三人、金額千四百四十六萬八千三百七十圓で人員に於て一萬六千百廿四人、金額に於て三百十一萬百卅三圓の增加である

大連港十月中
特産物輸出額
前月より何れも增加

十月中に於ける大連港特産物輸出數量は大豆七萬九千六百六噸、豆粕二萬五千九百九十四噸、豆油三千四百十六噸、高粱三千九百七十七噸、包米一千一噸であつて前月に比較すると大豆五千五百二十三噸、豆粕一萬三千七百二十七噸、豆油三千五百三十噸の何れも增加を來してゐる、併し乍ら高粱は三千七百九十二噸、包米五百九十噸の何れも減少を呈してゐるが概して特産物出廻り期に入り輸出增加を見たもので唯高粱、包米は出廻り未だ遲々たる結果であらう今仕向地別に示せば（單位米噸）

仕向地	大豆	豆粕
日本	三五、七六四	二三、〇〇四
歐洲	三三、一一六	三三五
米國	[illegible]	二、一四九
南洋	―	三
中國	一〇、六八七	五〇一
朝鮮	―	二

仕向地	豆油	高粱	包米
日本	六三	一、六九九	九九九
歐洲	―	三〇九	―
米國	八四六	―	―
中國	二、五〇五	一、九六九	一
朝鮮	二	―	一

十三日限の
鈔票受渡高
前回に比し減少

大連錢鈔市場に於ける十月十三日限鈔票期近の受渡は受渡高百六十九萬圓此代金百六十八萬二千五十七圓であつて前回に比較すると受渡高七十九萬圓代金七十六萬一千四百八十七圓の何れも減少を呈してゐる、唯だ標準値段は九十九圓五十三錢と前回に比較すると一圓の上鞘を示してゐる受渡し內容を示せば左の通りである（單位千圓）

▲渡方　東永茂九〇泰信五〇雙聚福五〇雙盛泰五〇源成棧一〇山田二一〇福順一四〇福和盛九〇福順義六〇廣永茂二〇純昌號一〇〇東裕三〇廣盛泰二〇福源祥三〇山左銀號五〇

▲受方　儲蓄八〇和盛泰三〇泰記二八〇廣來一〇裕記二〇裕興益一〇三井二〇〇三菱四〇〇德泰五〇〇山本一六〇

黄塵

◇…滿鐵臨賞の問題、總花であつても問題、總花でなくても問題、どうで少かつたり、全然貰はなかつたりした連中には物議の種だ。

◇…然し大體において仕事本位主義、現業員優遇主義に依る手當は當を得て居る。

◇…誰れしも此原則に對しては異議があらう筈はない。

◇…奉祝記念で郵貯著增は結構、但し一時的現象では何にもならない。

◇…木材關税の問題、內地當業者保護もいゝが、それと同時に永遠の大策についても考慮しなければなるまい。

◇…此の意味において、滿洲當業者の主張は、三顧も四顧もする價値がある。

◇…日米爲替、復も下げ足、折角解禁相場も元の木阿彌か。

經濟眼
火災保險界
大連に於ける現況
（第二回）

社內　H、N生

話は再び大連に戾つて――明治四十三年九月、神戸海上運送火災が始めて代理を設けて以來、內外の火災、海上保險會社は、雨後の筍の如くその代理店を續々と設置した、大正十年以降の損害保險會社數を示すと左の如くである

大正十年	四一	十一年	四二
十二年	四三	十三年	四四
十四年	四三	昭和元年	四三
昭和二年	四〇	三年	三九

右表に依れば大正十三年の四十四社を以て最高とし、漸次減少の傾向である、此は單なる數字上の變動であるけれども、一小都會たるに過ぎぬ大連市に、斯くの如き多數の保險會社が鎬を削つて契約者の爭奪戰を演ずるの結果は、或者は競爭に敗れて大連から驅逐せられ、自然淘汰に因つて消滅せるものも亦、其間決して少しとしない、從つて大連に一度でも手を染めた火災保險の數から云へば、前述の數字を遙かに凌駕してゐるのである、例へば大正十三年尚大連に於て營業して居た福壽火災、大和、朝鮮海上、東邦火災、東神火災、ザフオルニツクス保險等の如きは今既に大連を探してもその姿は何處にも發見出來ないのである。

◇……

斯くの如き盛衰の行はれて居る際突如大連の保險界、否滿洲の保險界に一大センセーションを捲き起した事件がある、それは大正十一年八月、大連火災、海上保險の誕生である、同社出現の由緒は二つの理由から成つて居る

（一）大正七年滿鐵埠頭の野積保管大豆が祝融氏に見舞はれて燒滅して仕舞つた、慘いたのは內地の保險團である、斯る火災の危險は到底防げるものでないと云ふ理由から滿鐵及び內地資本の同盟拒絕をなした、その結果は滿洲に於ける商工業者は商取引の圓滑を阻害され輸出貿易上に大打擊を蒙つたのである。

（二）當時滿洲には本社を有する保險會社は一もなく總てが內地及び外國に本據を置く會社の代理店（帝國火災は大連に大正九年支店を置く）のみであつたので年々巨額の收入保險料はドシドシ滿洲外に持ち去られてお膝元の滿洲は産業資金に枯渇を來しはせぬかと心配せらるゝに至つたのである。

以上の理由から滿鐵及び內地資本家、卽ち東京海上、大正海上及び明治火災の出資を得て、資本金二百萬圓四分の一拂込みを以て、地元に大連火災が創立されたのである。

◇……

大連に於る保險事業は最初から內外會社相並行して發展して來たかと云ふに、決して左にあらず、歐洲大戰前までは、古い經驗と堅い基礎とを有する外國會社に、運送、海上その他の火災保險も殆ど獨占せられ、基礎薄弱な日本系の會社の如き、その壓迫に甘んじて居るの已むなき有樣であつたのである、然るに歐洲大戰は洵に日本會社に對する救ひの神であつた、大戰一度勃發するや、外國會社は羽衣を奪はれた天女のやうに俄に衰微し始めた、或るものは事業困難に陷り、代理店を閉鎖し、また或るものは本國の事業に追はれて東洋方面に手を觸るゝの遑なく、遂に事業に停頓を來したのである、で日本系會社は此の機逸すべからずとして、斷然活躍を開始するに至つた、斯くて在滿外國會社の地盤侵蝕戰は演ぜられ今や彼我の地位全く顚倒して凱歌は日本側に揚げられたのである。

市況

特産
高粱は强調 奥地の買長に

三日引續いての休日明けの今朝の定期は差したる新味なく銀市の堅調を移して概して小甘く場面は無味閑散を辿つてゐた高粱は依然として奥地筋の買長に上振し各限共四錢乃至五錢方の昂騰を示してゐた

◇定期前場（銀建）

▲大豆（匯々保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	五九七〇	五九七〇	五九五〇	五九五〇
十二月末	五九八〇	五九〇〇	五八八〇	五九〇〇
一月末	五八八〇	五八八〇	五八八〇	五八八〇
二月末	五九三〇	五九三〇	五九二〇	五九二〇
三月末	五九八〇	五九八〇	五九六〇	五九六〇

出來高百三十二車

▲豆粕（保合）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一八七五	一八八〇	一八七五	一八八〇
三月限	一九二〇	一九二五	一九二〇	一九二五

出來高 二萬六千枚

▲豆油（軟調）單位錢

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一七三〇	一七三〇	一七三〇	一七三〇
一月限	一七二五	一七三〇	一七二五	一七三〇

出來高 二千箱

▲高粱（强調）單位厘

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
十二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
一月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
二月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]
三月末	[illegible]	[illegible]	[illegible]	[illegible]

出來高百七十一車

▲包米 出來不申

◇現物前場（銀建）

	寄付	大引
混保大豆（袋込）	五九〇〇	五九八〇
大豆（裸物）	五七〇〇	五七一〇
出來高	六十車	
豆粕	一八七〇	一八七五
出來高	五萬八千枚	
豆油	一八〇〇	一七八〇
出來高	二十二百箱	
高粱	三五六〇	三五七〇
出來高	十二車	
包米	四一五〇	四一五〇
出來高	三車	

▲雜穀出來値（九日）

▲白眉豆（虎石臺）六、〇〇（新臺子）五、九五▲吉豆（双城堡）六、〇〇▲元米（昌圖）七、一〇

定期喰合高（九日）（帳入）

錢鈔
前場（昂騰）

今朝の海外材料としては倫敦銀塊は二十六片十六分の三と（十六分の一高）先物二十六片十六分の三と（十六分の一高）紐育銀塊は五十八仙と（八分の一高）孟買銀塊は六十兩十六分の三と（十六分の一高）滙豐申滙は七十二兩三五大洋は百九十五匯と五十錢日米は四十六弗十六分の五と（同事）英米クロスは四弗八分の五と（同事）米は八十四弗十六分の三と（十六分の一高）上海標金は三百五十四兩七と寄付き五十四兩五と止めて當市の銀價は昂騰を呈してゐた

上海爲替情報
【上海十三日發電】支那國民政府中央銀行設立に伴ふ銀の需要一段落を告げ新鈔換紙幣も既に市場へ現れつゝあれば此の方面に於ける事情は銀安人氣の上に一層の不安を加へ倫敦及紐育銀塊安と結合して當地支那人の意向は概して目先軟調見越である、以上の如くで標金高の望みはまだ／＼有つて目先突込賣は戒むべく安値買辛棒こそ有利ならんと觀測するもの多し

◇定期取引（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一〇〇三五	一〇〇三五	一〇〇三〇	一〇〇三〇

出來高期近　百三十八萬圓

◇現物取引（單位錢）

	銀對金	銀對洋	金對洋
九時	一〇〇三五	一八五五	一八五五
十時	一〇〇四〇	一八五五	一八五五

商品
前場

	銀對金	銀對洋
十一時	一〇〇四〇	一二九三〇	一八六〇
十二時	一〇〇四〇	一二九三〇	一八六〇

出來高　（銀對金）十三萬一千圓　（銀對洋）三萬四千圓

●麻袋（昂騰）産地休會ながら閻氣配の乾り模樣にて各限共三、四厘方の昂騰を示し期近物は玉締の買物に商內頗る旺盛を極め活況裡に散會引際氣配は現四十二錢二厘十一月四十一錢八厘十二月四十錢一月四十錢五厘二月四十錢三月三十九錢五厘見當

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延十一月末	四一八	九〇〇
同	同	四一九	八〇〇
同	同	四二〇	一〇〇
同	同	四二一	五〇〇
同	延一月末	四〇五	三〇〇
同	現物	四二二	一〇〇

出來高　三十七萬枚

●綿糸布（昂騰）米棉印棉共に昂騰を入れ大阪三品も赤𩛰を傳へ地場買氣旺盛活況裡に散會引際氣配は扇面現二百三十圓十一月二百三十圓十二月二百二十九圓

銘柄	約定期	値段	相數
扇面	延十一月	二三〇、〇〇	五
同	延十二月	二三〇、〇〇	四〇
同	同	二二七、〇〇	三〇
銀月	同	二二八、〇〇	七五

出來高　七十五梱

銘柄	約定期	値段	俵數
軍人	延十一月末	九八〇	二五
駝鳥	同	八五五	二五
三輪A	同	八五五	二五
龍C	同	八二〇	二五
双童	同	六二〇	二五
三重	同	六三〇	二五

出來高　一五〇俵

●麥粉（保合）加奈陀、亞米利加物は原料豐富に反し北滿物は收穫相當乍らも品質粗惡で製粉に不利で從つて仕上げは割高値段となつて南下向には出合はず又上海物は原料の出廻り遲れと海外物の手當外れで原料の仕入れに適したので目下製粉界に取りては加奈陀、亞米利加、日本物で占め且つ目先の需要を控えて居る丈け保合ひた

株式
前場（乾り）

北滿諸株の小乾りと東京短期新東の好調を眺めて當市は諸株共氣配硬化し五品は各限共四五十錢高、商品當二十錢高新豆各限一二十錢高、製氷新十錢高、滿鐵二新株三十錢高、鐘紡九十錢高、大新二十錢高、新東一圓高に引締り當限納會に手詰めの踏商內彈み場面活況を呈した出來高定期二千七十枚直一千二百二十枚

◇定期

銘柄	當限	中限	先限
五品	寄 三二、八	三四、〇	三四、四

		寄	引
商	信	三〇、四	三〇、四
新	豆	一八、五	一八、五
錢	鈔	二八、四	二八、五

株

昨日新市場の蓋明け相場は內地諸株の不味を眺めて不冴への商狀を呈したが今朝內地の小乾りを入れて場面俄かに硬化し諸株共乾り商狀を呈した▲尤も當限納會で手詰めの乘替商內であるからほんとの氣配はわからないが何となく相場の根底は固められたやうな節がある▲金解禁もどうやら延期になるらしく支那問題も近く解決しそうな形勢であるし政界の模樣も餘り波瀾はなさそうだから此分で行くと御大典後から年末にかけては一相場吹くのではあるまいかと思はれる▲奉祝が終つたら全く弱氣は西の海にサラリと流して素晴しい米國の景氣に提灯つける氣になつても良さそう

豆

今朝の市場は三日引續いての休日明けだが場面は何等特異の新味なく加ふるに銀市の堅調を眺めて不味商狀を迎つてゐた▲然しながら高粱は依然として奥地筋の買氣續き各限共四錢乃至五錢方の昂騰振を示してゐる▲豆油は現物安に刺戟されて期近十五錢方の低落を見場面も又極めて閑散で僅かに二千箱の手合せがあつたに過ぎぬ▲宗期の不振に引きかへて現物市は相當に活氣を呈してゐる大豆は油坊三十五車輸出筋二十五車で六十車豆粕は三井の三萬六千枚瓜谷の一萬六千枚等五萬八千枚の手合せを見てゐる▲豆粕の需要は主として臺灣向きの模樣である▲今日の豆粕生産高は四萬三千枚操業工場十七軒だが尚三泰が一萬枚位は出してゐる筈であると

銀

銀票は又復昂騰歩調に轉じて來た殊に休日中に上海標金は約三兩位の低落を報じてゐるのに刺戟されて今朝の銀價は休日前より七八錢方の昂騰を呈するに至つてゐる▲勿論銀塊相場は一齊に高いが今朝の銀價は上海標金安のためであると見られる▲上海標金について日米爲替の前途について大分悲觀され來つた爲ではあるまいか▲事實日米爲替は又も四十五弗臺を見越す向がある▲日米爲替安については我國の金解禁問題がドウやら延期說が有力となつて來た爲であるとも思はれる▲而し昨今の如く爲替の浮動極りない狀態では貿易關係に及ぼす支障も大きいだらう▲奉祝の上場に就ては取引所は大事を取つてゐる▲而し取引人の言ふ事もよく考へて見たらよからう

		寄	引
氷	新	三五、六	
滿	鐵		
二	新	四四、三	
鐘	新	一三七、〇	

後場（保合）當限落

銘柄		當限	中限	先限
五品	寄	―	四四、一	四四、三
	引	―	―	―
商信	寄	―	―	一〇、五
	引	―	―	一〇、五
新豆	寄	―	―	一八、五
	引	―	―	一八、六
錢鈔	寄	―	二八、三	二八、〇
	引	―	―	二八、〇
氷新	寄	―	―	―
	引	―	―	―
不動	寄	―	―	―
信託	引	―	―	―
鐘新	寄	―	四四、四	四四、六
	引	―	―	―
大新	寄	―	―	―
	引	―	―	―
東新	寄	―	―	一七二、三
	引	―	―	―
五品	寄	―	―	―
	引	―	―	―

	代引	受渡	代渡	歩日
五品	四四、〇	一、四四〇	一、二〇〇	三
商信	一〇、〇	―	一〇	三
新豆	一〇、五	三三、〇	四〇	三
錢鈔	二八、五	―	五〇	三
氷新	二四、五	八四〇	渡四一〇	三

▲爲替及受渡日歩

◇直（甲部）

銘柄	寄付	高値	安値	大引
五品	三二、八	三二、九	三二、八	三二、九
商信	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇	一〇、〇
新豆	―	―	―	―
錢鈔	二八、三	二八、三	二八、三	二八、三
氷新	二四、七	二四、七	二四、七	二四、七

◇直（乙部）

銘柄			銘柄	
大新	寄	八七、五	東新	寄 一七〇、五
	引	八七、五		引 一七二、二
鐘新	寄	一三六、三	滿銀	寄 六一
	引	一三六、五	內新	引 ―
星土	寄	六五	郊外	寄 六〇
地	引	―	土地	引 ―
滿洲水産	寄	一〇、五	開原	寄 四〇
	引	―	取信	引 ―
開原新	寄	三二、八		
	引	―		

	出來高（十三日）
定期	二、五二〇枚
延べ	不申
直キ	一、九三〇枚
合計	四、四六〇枚

手形交換高（十三日）

金	一、三六枚	六六、八二一、六二三圓
銀	一、三三枚	四一、二九、一八四圓

經濟部電話 八四五五番

市場電報（十三日）

銀塊及爲替

倫敦銀塊	二六片十六分三
同先物	二六片十六分三
紐育銀塊	五八仙分一
孟買銀塊	六〇留十六分三
米英爲替	四弗八十六分七
米支爲替	四六弗十六分七

●倫敦爲替相場

伯林	二〇馬克三六分
巴里	一二四法二〇分
フラツセル	三四ベルガス九
ミラン	九二リラ七

棉花

◎米棉（換算四〇錢高）

現物	一九仙六五
十二月	一九仙五〇
一月	一九仙四三
三月	一九仙四三
五月	一九仙三一
七月	一九仙一六

◎印棉

ベンゴール	
ブローチ	一一

上海爲替

日本向賣	一三兩八分二
同 買	一三兩四分一
倫敦向賣	二三志七片六分七
同 買	二三志七片六分七
紐育向賣	六四弗八分
同 買	六四弗三分一

◎上海の標金

	前日後場	本日前場
寄付	三五五兩一	―
高値	三五五兩二	―
安値	三五三兩五	―
大引	三五三兩八	―

紐育株式

スチール	一六五弗八分一
アナゴンダ	九八弗八分七
出來高	三五〇萬株
コール	六歩二分一

大阪株式

銘柄	前場寄	前場引
大株新	九七、九〇	九七、九〇
大紡	八〇、五〇	八〇、五〇
鐘紡新	二〇七、一〇	二〇七、二〇
鐘新	一三七、二〇	一三七、五〇
日糖	六四、八〇	六四、七〇
郵船	六〇、七〇	六〇、七〇

東京株式

銘柄	前場寄	前場引
東新	一七〇、四〇	一七〇、四〇
東株	一九〇、〇〇	一九〇、〇〇
新	一〇〇、九〇	一〇〇、九〇
五品先中當	三三、四〇	―
同（短期）先	三三、二〇	―
豆新（先中當）	―	―

大阪期米

	前場寄	前場引
當限	二九、三五	二九、三〇
中限	二九、八五	二九、七五
先限	三〇、〇六	三〇、〇四

東京期米

	前場寄	前場引
當限	二八、六〇	二八、六五
中限	二九、一三	二九、二六
先限	二九、四四	二九、五五

大阪綿糸

	前場寄	前場引
十一月	二四〇、九〇	二四〇、〇〇
十二月	二三八、〇〇	二三八、八〇
一月	二三六、九〇	二三六、九〇

神戶豆粕

前場一節		場外	
十一月	四四	近入十一月	四四五
十二月	四四三	十二月	四四五
一月	四四三	一月	四四五
二月	四四三	二月	四四六
三月	四四七	三月	四四八
四月	四四八		

二月	三三四八〇
三月	三三三九〇
四月	三三四〇〇
五月	三三三〇〇

大阪棉花

	當限	先物
寄付	六〇、九〇	六〇、三〇
大引	六〇、七〇	六〇、五〇

橫濱生糸

限月	前一節	前二節
十一月	一三五〇	
十二月	一三三〇	
一月	一三二〇	
二月	一三三〇	
三月	一三〇〇	

印度麻袋

鐵筋直積	―
青筋直積	―
爲替相場	―

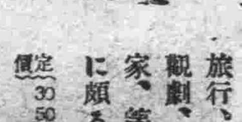
小林
安全ヨクキク
タムシチンキ
たむしいんきん
皮膚病一切
唯一の肌にも
どんなかゆみもスグ止る
▲殺菌力偉大▲奏効は確實▲內攻もせず▲無色の水藥▲塗布て爽快
價藥 小瓶三十錢 大瓶一圓
大阪市東區小町
名古屋廣小路
本舖 小林大藥房
藥 大連支店日本寶
誠呂堂藥房

タオル
卸販賣
並に御進物用文字入御注文に應じ升
大連市美濃町二番地
藤原タオル店
電話七五一一番

正隆銀行
頭取 安田善四郎　相談役 安田善次郎

公債 株式 現物 定期 賣買取引
大連株式商品取引所 株式取引人
電話六七二三番 八六二六番
岡村嘉市郎商店
大連市東郷町十九番地

携帶用
固形淺田飴
口に甘し
良藥にして
家庭用
淺田飴


旅行、遠足觀劇、事務家、等携帶に頗る重寶
定價 30 50 100 200
全國各藥店に取次す
たんせき
引風
よわき人
病後の補血
咽喉の保護
本舖 東京 淺田 堀內

金剛呪門【65】

山中峰太郎作 小田富彌畫

思ひあたる戀

――場面は移つて、十合の邸。

圖らずも現れた有力な人……松平教彦を、丁寧に見送つた主人の重兵衞、醫師の沼田玄昌、俠客の桂五郎、總番頭の久七、また母親の座敷へ集まつて、母のお初に、それを知らせて力づけた。

「何しろ所司代の甥御が、味方して下さるとになつたのだからな、もう、お初、そないに案じることも、ないやうに思はれる……」

と、言ひながらも、父の重兵衞は、自分で自分を慰める樣に、さう言ふのを、床の上からお初は力なく尋ねる。

「けれども、その松平樣といふお武士さまが、なんで數之助を訪ねておいでやしたんどすえ?」

「さア、それは、桂五郎さん、あんたに何も仰しやツてゞなかツたか?」

と重兵衞も初て不審を打つた。

「いえ、それが、どうしても仰しやツて下さいませんので……」

と、桂五郎、おもはず太い拳頭を動かした時、緣をバタバタと走つてきた丁稚の松吉、走りながら叫んだ。

「若旦那がお歸りだす！若旦那が！」

「えツ……」

と、顏を見合すと一時に立上つた重兵衞と桂五郎と久七、緣へ走出た。お初も床に起き上つた。

「まあお靜かに、お靜かに」

と、たゞ一人、冷靜なのは沼田玄昌、おちついて、お初の顏色を診る。

「數之助はどこに?」

と、重兵衞が緣で尋ねると、

「へエ、おもてを掃いてましたら若旦那がお京さんと、路を歩いて來やはりましたんで、向ふから……」

と、松吉が息を切る。

「お京も一緒に?」

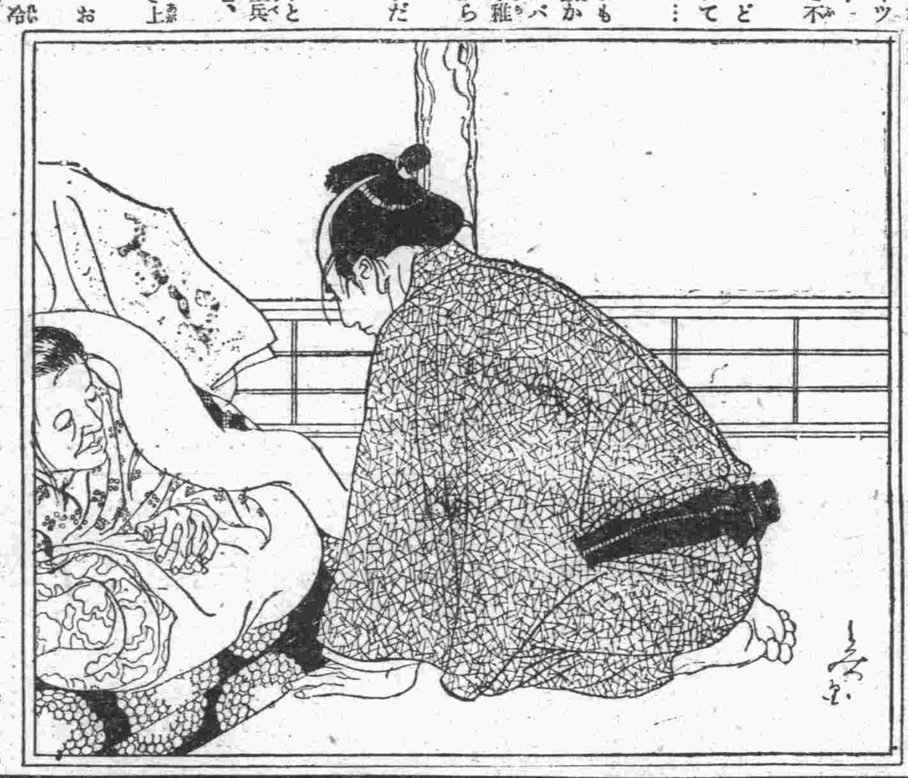
と、桂五郎、叫ぶと、緣を走つて行つた。

「あゝ、無事で歸つてきたかいな！」

と、お初は、がつくりと頭を垂れると手を合して、伏拜む……オランダ醫者の玄昌、お初の合掌した姿を見ると、かすかに冷笑した。

……フム、おれは科學者だ、神や佛を見とめない唯物主義だ。この際興味があるのは、この金剛經の事件だ。なんとも近頃、解剖學の實驗よりも興味がある。

と、冷笑しながら、一方には、好奇心にそゝられてゐる玄昌、緣の外へ耳をすました。そこへ、足音が聞えて、



「おゝ、數之助！」

「お父さん！」

「若旦那！」

悦びに感動した聲が、一時に迸しツて皆が座敷へ入つてきた。

「まあ！數之助！……」

お初はホロ〳〵と涙を流した。

「お母さん！御心配をかけました」

「よう生きて歸つてくれたなあ、數之助！」

母の前に、兩手をついた數之助そのまゝ咽び泣いた。

暫くはたゞ涙のほかに、何と言ひだす者もない中から、やがて重兵衞が口を開いた。

「數之助、お前、どうしてまあ助かツて來たのか?」

「はい、それはもう、お京さんに助けて貰ひましたので……」

「あ、お京さんは?」

と、初めて氣がついて、重兵衞は緣の外を見た。

そこに坐つてる桂五郎、心苦さうに顏をしかめて答へた。

「お京は、今さき、お暇をしまして」

「それはいかん！數之助、なんでまた、お京さんを連れて來んのやな?」

「どう私が言つても、お京さんはこゝまで送つたら安心しましたと門口から歸つて行つて……」

と、數之助は、口ごもつた。……射拔かれた左腕の傷口を、おさへたまゝ、しよんぼりとしてむりに歸つて行つたお京さんの後姿……

その後姿、まさしく命の恩人であるお京の寂しげな後姿を、まざ〳〵と思ひ出した數之助、はツとこの時に、顏色を動かした。

……お京さんは、私を?……

帝都で人氣の「民族の叫び」

山村水太郎

◇御大典奉祝の映畫シーズン、邦樂座の「結婚行進曲」武藏野系統の葵、牛込兩館で「ムーラン、リュージュ」富士館の「激流」電氣館の「民族の叫び」何と云つても今週の勝負はこの四つ。

◇「民族の叫び」は三日明治節を以つて目出度く封切つた、前週「舞臺姿」と併映した豫告篇で極度に人氣をあふつてゐた上に松竹が大宣傳の效果あつて封切と同時に觀客は雪崩のやうに流れ込む、三日明治節には東京全市に亘つて電車の乘換券に「民族の叫び」の封切を宣言した外にその宣傳は素晴らしいものであつた、電氣館は玄關をすつかり支那式の裝飾に美々しく東方民族提携の大旆が飜つてゐる

◇松竹管絃樂部では御大典奉祝樂「菊の壽」を特作した外に、特に「民族の叫び」の爲めに支那樂をとり入れた行進曲を作曲した、本日の封切五日目、それでゐて大入袋が一日二回出る、立錐の餘地なしとは文字通りの盛況、今週の淺草は全く「民族の叫び」で壓倒されてゐます。

◇來週は電氣館、邦樂座、葵館、牛込館へ一齊に滿鐵ニュースが上映されます、その外に新築の樂地小劇場に滿鐵秘藏の「文豪トルストイ」が杜翁百年記念祭の主題として上映されますから、こゝしばらくは「滿洲」が帝都の人達に印象づけられませう。

好評の演藝館

演藝館にては御大典記念興行としてユニバーサル特作品「アンクル・トムス・ケビン」を東京封切と同時に封切上映し滿洲映畫界に一大刺激を與へつゝあるが、原作が既に有名なだけファンから興味を以て迎へられ初日以來大入り續きでFN社作品「與多奮戰記」パテー社作品「無理矢理ロッキー破り」と共に好評を博してゐる

滿日案内

◎三行一回 金八拾五錢 ◎被雇度 五行一回 金六拾錢 ◎金壹圓五拾錢 十行一回 金參圓 ◎姓名在社は一回金貳拾錢増

募集

英文 タイピスト女子實務經驗者履歷書携帶本人來談 三菱支店
女中 至急入用 播磨町九八 柴田 電六五〇五
技師 至急採用委細面談電話二五九番 旅順市松村町 成松寫眞館
寫眞 修正技師至急入用 旅順市乃木町三 電話四七二番 旅順寫眞館
女給 入用希望者は至急來談 書面紹介差支無 旅順市敷賀町 カフエーキムラ
裁縫 傳習所生徒募集御望に依り夜間教授も致します 若狹町二四ノ二 宮崎
採用 有給小供の保險婦人の職業にも適當來談 西通一ノ一五 富國徵兵相互會社

貸家

貸住 宅土十二、十、六疊八、下八、八、四地下室付其の他完備賃八五 電四三七
貸家 蓬町新家上五室下四間(洋室二) 電五二三四 蓬町三一 小野
貸家 場所櫻花臺入一番地 間八六六六三、二、地下室付 賃六〇圓
貸家 四疊半三疊水道料共賃十五圓 播磨町五七 電六一一七
貸家 老虎灘別莊地六室賃三十五圓 電七三〇八 長島へ
貸家 土田寫眞館連接 家屋家賃百圓 西廣場 土田寫眞館
貸家 山城町増築模樣替新築同樣手入スチーム其他完備賃百廿圓 電六四七七
下宿 一破天荒の大勉強 一ケ月金二十五圓 伊勢町九九 東館 電六八四九番
宿料 食事夜具共月三十圓の割合永滯在向勉強 大連美濃町九五 貯炭場前 穗雨館
壹圓 泊り破格勉強 目下あき室數種あります 吉野町六 名古屋館 電話六三一一
宿 永滯在の御方には御相談に應じます 美濃町七九 奈良屋館 電話三九一四

賣買

商品 券交換賣買 西通電七八五一 大連案内社
不用 品特別高價買受 四ツ辻 日藤町通り 香川商店 電六七五一
不用 品親切本位買受 常盤町 渡邊商天 電六八四一
安賣 親玉世帶道具御器進物用品御注 磐城町福田屋金物店 電三七〇四
フヨ ウ品書畫骨董高價買受 イワキ町 新古賓 電七四三五
羽根 ふとんは電七六一三 山縣通三井裏 青島大原商會大連支店購買會
不用 品高價に買受御一報次第參上 日藤町 さかひや 電五四三七
公債 動業債券 保管通帳金融賣買 西通電七八五一 大連案内社
古本 不用品特別高價買受 新古月おくれ雜誌 日藤町芳文堂 電話四三五四番
野間 式ストーブ販賣大勉強 渡邊商天 電話六八四一番
古本 賣買 但馬町二〇番地 文光堂
讓店 伊勢町目拔老舖收入五百圓以上讓渡 電五五五七 國際投資 正直洋行
賣家 櫻花臺目拔場所八疊三疊六疊三間地下室 湯殿ベーチカ地所附 正直洋行
投賣 家二階八疊六疊四疊下八疊六疊二疊 ベーチカ附 正直洋行電五五五七
塵紙 懷中に家庭向應用の生漉改良の三山島紙 發賣元 拓茂洋行紙店
不用 品高價買入れ御一報次第參上電話三九一四番 美濃町七九 大谷商店

金融

ミシン 河島「モンドロス」優美堅牢最新式 電話七二〇〇
商品 券、債券高價買入 信濃町 帝國館横 藤井屋 電五〇九
五百 圓以上電話で金融 低利秘密無手數料 西通三五 電話七八五一番
五百 圓電話で金融ス片替 差をも金便宜上立替 春日町電五五五七 正直洋行
信用 大口貸金及月賦貸金 美濃町 德海ビル前 十年社
電話 金融名儀變更せず 御一報次第參上 天神町八〇 興盛社
金融 骨董、公債、商券 恩給、年金、書畫 大連三河町二五 電八四四番
恩給 電話金融低利極秘 西通電七八五一 大連案内社
信用 貸金低利極秘 三河町二 電話三〇六九 惇晃社
金融 御一報 參上 沙河口 仲町八〇 丸加商會
信用 低利貸金多少に不拘 沙河口巴町九三 比嘉洋行
恩給 電話低利無手數料極秘迅速 電話七二六九 大連春日町 向場社

食料

ニク マンチュー 浪速町二丁目裏通 電六六八〇 七六八五 日露洋行
牛乳 バタークリーム 大連牛乳株式會社 電四五三七番
牛乳 バタークリーム 滿洲牧場 電六一三四
ニチ ロパン電話七六八五 浪速町二丁目裏通 日露洋行
澤庵 おいしい〳〵新たくあん賣出しました 山縣通 岩崎 電四六四八番
おでん 御宴會 卅錢、五十錢、一圓 錦江亭 岩代町(日藤町入口) 電五六七二
新出 イリコ大安賣百目三十五錢 入船町市場 杉本商店 電話六四七三番

藥及治療

齒科 鶴見齒院 西公園町六九 電八二〇三
せい ろ丸食後の一二粒よく傳染病、食中の豫防となるは伊勢町藥局
せめ んゑん小兒大人用共に效果ありと信用せらる 伊勢町藥局
クサ 及脛瘡の特效藥有ります 大連劇場隣 根本藥局 電七六三
大小 兒風藥大人及小兒の感冒に定評ある 伊勢町藥局
淋毒 性睾丸炎 鍼灸 鈴木丈太郎 電四六九二
整腸 下痢、腹痛下痢、食中毒食中の下痢に特效の 伊勢町藥局
小兒 胃腸藥小兒の消化不良、下痢、食中毒等小兒消化器障害に 伊勢町藥局
蒸餾 水多少に不拘御用命 大連伊勢町 電話六八二四 伊勢町藥局
婦人 病ハリキユー 大連二葉町六〇 鈴木丈太郎 電四六九二
胃腸 病ハリキユー 大連二葉町六〇 鈴木丈太郎 電四六九二
淋毒 性睾丸炎 鍼灸 鈴木丈太郎 電四六九二
チチ モミ 大連市二葉町六〇 鈴木丈太郎 電四六九二
制痒 液虫疾に南京虫に刺された處に塗れば忽ち痒みの止まる 伊勢町藥局
胃の 藥胃病で御困の方は第一第二種の内何れにても御試用を 伊勢町藥局
モミ 療治御好みの方は 電話六六八八へ
かつ け家傳藥 三河町二 池内 電八六七五

衣服

古着 古道具高價御買入御參上 日藤町たじまや 電六六〇一番

印刷

貸衣 裳婚禮用喪儀用 電三七四七 日藤町 まつや
貸衣 裳婚禮用喪儀用 日藤町 さかひや 電四二〇
古着 古道具買入れ 日藤町 まつ屋 電三七四七番
文具 及民政署で御使用になる中古書類は 電六八四三へ 南海堂へ
印刷 は六八四三の 南海堂を
昭和 四年度廣告用カレンダー美人看板廉價販賣 大連市大山通 小林又七支店
美術 寫眞帳繪葉書印刷 大連市大山通 小林又七支店
實印 の御用は 吉野町壹萬堂 電七八五九番
品質 優良タイプライター活字販賣 大連市大山通 小林又七支店
活字 鮮麗な印刷は無疵堅實なる當店活字から 大連市大山通 小林又七支店
帳簿 堅牢で安價な 電六八四三番 南海堂へ
名刺 スグ出來ます 電話八五九八番 大山通(日本橋近) 吉野號
海關 徵用申告書販賣 大連市大山通 小林又七支店
印刷 の御用は何時も大連市の小林又七支店を御利用下さい

寫眞

寫眞 機交換賣買出張撮影 現像燒付引伸並材料販賣 山縣通三井裏 福田商會
寫眞 大連寫眞館 男女支那服の準備有 電話三五八四番 日本橋際

雜件

自今 禁酒 石山巳之助
獨佛 英語教授 山縣通三五 湯淺ビル六 メドブイデフ夫人
引越 と掃除諸人夫は大連人夫配給所運搬部へ 電四二五九
文房 具商 大連市惠比須町一八 東京堂 電話一二三六〇番
尺八 教授琴古流師範 名和英次郎 西公園町(對馬町)二〇七松濤方
婦人 小供洋服裁縫並教授 大連若狹町二ノ四二 中村
ミシ ンの修理正確迅速 西通河島ミシン店 電七二〇〇
門札 瀨戶物へ彫り込み 伊勢町野田看板店 電四五六四
鼈甲 大連市但馬町二二 矢野鼈甲專門店 電話八四二一
門札 瀨戶物へ彫り込み 三河町二 池內 電八六七五
シン ガーミシンは 常盤橋 電話三五三三番へ
頭痛 にノーシン
タイ ピスト生英文及邦文短期養成並應印書 監部通九六北側裏 英學會
英語 初等中等高等實用受驗會話翻譯文書起草 時間隨意午前午後夜間 英學會
ゴム 印の御用命は 吉野町二九 一萬堂 電七八五九
易斷 一周年記念本月中一件五十錢 山縣通九(鶴乘錢莊裏通り) 白雲堂
刀劍 研磨鑑定並委託品販賣 特別奉仕五口一式 大連磐城町通五八 南海堂眉山
小鳥 小動物飼料讓 網鳥具類一式 浪速町戶田洋行 電三九〇三番
便所 紙として最も適用なトイレットペーパー 大連市大山通 小林又七支店
急ぎ の名刺、葉書、招待狀は廉價迅速の解店 小林又七支店
金庫 開宮式手提金庫 日支英米專賣特許 浪速町山形洋行 電三〇一五番

習字 速成教授晝夜 三河町二 池內 電八六七五
看板 大連伊勢町 野田看板店 電四五六四番
算盤 の御用命は 拓茂洋行 電五四三九
印書 邦文タイプライター印書應需 電八四七一 山縣通 日本タイプライタ會社
大連西公園町 洗心堂
充電 一回五十錢 充電中代りの電池を貸します 乾電池優秀湯淺B電池特價四圓一個 ラヂオトロンに優る眞空管ハマチバルヴ二圓五十錢
部分 品は格安賣用品より高級優秀品迄品揃ひ セットの修理改造は是非弊店へ 五球ニユートロダイン五五圓附屬品一切付百十圓より百卅圓迄
ラヂ オ改造修理 トヤマ商會 電話八七二二番へ 伊勢町吉野町角
蓄電池 充電ラヂオ修理技術本位 薩摩町二三 谷澤 電六六六二
觀相 大連西公園町 洗心堂
純ハチミツ販賣 羽衣町 大連養蜂園
古本 賣買入 大山通 藤原文華堂 電七一四四
印章 浪速町二丁目大連商品館內 前田印房 電六三一八
肺病 全治保證の世界的靈藥フエビン現はる 電話八三六八 代理部 大連大正通 日野恒次郎
灸治療法 適應症(子宮病、胃腸病、カツケ) 東京盲學校出身 藤永鍼灸治療所 春日町みどり温泉前 電七八五〇
貨物運搬 御轉宅には馬車より安い大タクの貨物自動車を御利用下さい 大連タクシー 電話五七七四四番 三八六八
犬猫 入院隨意 大連近江町二〇七 黑髮家畜病院 電話六七五五番
札入 巻葉入 蟇口 手提袋 其他 イワキ町の小間物袋物 松井本店 電三五九三 六六五四 更に奥地袋物製作も始めました呂刺袋物に限らず一般袋物御用命願ひます
質 大連正隆銀行東通 洋服類專業 筑後屋質店
家傳 お灸 淋病。睪丸。關節炎。痔疾。婦人病。內膜。卵巢。喇叭管。神經痛。腦。胃腸。脚氣。僂痲質。足腰の痛み。其他 ハリ灸專門療院 大連市浪速町五丁目二百一番 大連檢番前
滿鐵衛生研究所御證明 サニタリ牛乳 大連星ケ浦牧場改名 中安牧場 電九二三四番

ヴアイオリン ピアノ 東京音樂學校本科卒業研究科修了 自宅及出教授に應ず 大連若狹町二ノ二七 渡邊
毛糸商 大連市伊勢町 佐井田洋行 電話六二〇八番
藥 大連信濃町市場上ル 小寺藥局 電話六〇六番
蓄音器修繕は專門のヤナギヤへ 大連市浪速町五丁目二二 電話七九五三番 浪速町二丁目商品館內 出張販賣店
家政婦 病人附添 家事一切 看護婦(身元確實) 一日迄込壹圓參拾錢 即刻派遣 西公園町五七 共濟寮 電話三六六三番
大連埠頭待合所の 支那料理 味は一番……名は日新 電3571
純 ハム・ソーセージ精肉は 井町のシレフミ 電四〇二三へ 西廣場側伊勢町九〇 井町大連製肉所
支那みやげ 美術 切手 陶器 硝子器 大連大山通正隆銀行前 共和貿易商會 電三八八八番
時計 蓄音器の修理わ 大連市伊勢町(日本橋際) 柴田時計店 電三四七五
免許 ホネツギ 專門 骨折、脫臼、クジキ、ウチミ 夜間柔道教授(新入門隨意) 館長柔道五段劍道五段 前田久郎 常盤橋電交叉點早川齒科南隣 尚德館 電話八五七五番
親切本位の店 時計蓄音器 修理に保險書付にて大勉強期日嚴守迅速に致します並に高級品出物取揃あります 大連市但馬町六 木村時計店
專門 泌尿器科 皮膚梅毒 重富醫院 西通(常盤橋)西廣場中間 電話七五二八番

淋病 梅毒 皮膚病 特に慢性症 大連、三河町二 濟生醫院 電話七八六七
高級下宿 龍田館 場所 山縣通三井物產向ひ 設備 優大間數三十餘、娛樂室テニスコートの設備あり 電話三三六〇番
圖案 圖表 ポスター 菓子及瓶詰類のレッテル チラシ 廣告 ウインドー ディスプレー 一般圖案 大連圖案社 大連市西廣場下岩代町入右側 呼出し電七〇六九
仁壽堂醫院 外科 花柳科 痔疾科 婦人科 皮膚科 (入院隨時) 院長 須古晴三 性病相談ニ應ズ 大連市岩代町拾番地 電話八五九九番
趣味と實用 支那各省土產 珍品工藝品 好適 大連イセ町 ミヤゲヤ
產婦人科 大連市三河町一八 岩男醫院 電話六四六六番
風味第一 記念饅頭 むうどん おはぎ 御小壽 磐城町東二 都屋 電話九九番

映畫案內

御大典記念特撰三大映畫
十一月八日より
河部五郎久々の三尺物 第一編 清水次郎長 俠客傳 酒井米子、葛木香一助演
ウオレス・ビアリー氏 レイモンド・ハツトン氏 共演 オール・スター・キャスト 彌次喜多 空中の卷 オモシロイ、オモシロイ キゲキデス
我心の愛人夏川靜江快心の作 愛の町 南部章三、三桝豆助演
浪速館

十二日より
あやめ池撮影所超特作 白帆は血に嗤る 全九卷 市川右太衞門主演 中村吉松、吉野霜子、巴蝶子、高堂國典助演 呪咀と怨恨…血に狂ひ鬼と叫び燃ゆる斬血の刄は閃く…白帆は血に嗤る
蒲田撮影所特作喜劇 天晴れ美男子 珍優渡邊篤、可憐美女田中絹代主演 おへソの宿替に面白い喜劇
太秦撮影所時代劇第二部特作品 惡人平馬 草間實、阪東妻之助主演 奇しくも痛ましき仇討奇譚
十四日より御即位式實況第二、三、四報謹寫
帝國館

十日より ヒル…十二時 ヨル…六時
御大典記念興行 稀代の珍型 與太奮戰記 チヤーリー・ムレー氏 ジョージ・シドニー氏 共演
二百萬弗映畫 アンクル・トムス・ケビン ユ社オール・スター・キャスト
無理矢理 ロッキー破り おとぼけ大王 モンテイ・バンクス氏主演
演藝館

十一日より愈々大公開
御大典記念興行 御期待の巨篇 問題の大雄篇 マキノ秋季超特作大時代劇
浪人街 全十五卷 山上…光明 正…の 博…トオリ
マキノ時代劇 兄貴 全
●主演者● 南光明、谷崎十郎、根岸東一郎、大林梅子、河津清三郎、外マキノ全員總助演
寶館

九日より第一回公開(五日替り)
東亞映畫の特作品 大亂鬪劇 天保島原慘劇 全十卷 光岡龍三郎、原駒子主演
大時代劇 雁歸來 全八卷 澤村勇大力演
現代劇 南風 全六卷
滿洲キネマ社經營 入場料 階下卅錢 階上五十錢 小人廿錢
晝十二時から夜十二時迄入替りなしで御好きな處迄御覽になれます
大連劇場

肺肋膜の御惡い方に 眞正 獺の肝(カワウソ キモ) (說明書御申込次第送呈) 大連市榮町二ノ一六 分讓所 佐々木洋行 電話二一三四二番

特別公開 御大典實況 二三四報謹寫

突如！

銀蝙蝠(からもり)

原作・若葉 撮影監督・清瀨英次郎

出現せる「蝙蝠の銀」……殺氣凄絶脈々として全篇に奔流する彗星陽之助が不撓の熱誠！見よ本格的映畫の眞髓たる第一回作品に激絶なる御期待あらんことを…

第一回主演 鳥羽陽之助

それは又とてつもなきナンセンス映畫の親玉 サラリーマン 川又賢太郎 瀨川良子 主演・監督 木藤茂

パラマウント社特作名喜劇 彌次喜多 空中の卷 六卷 ウヲーレス・ビアリー氏 レイモンド・ハツホン氏 共演 これだ！待ち兼ねた笑題！空中の奇藝珍藝！名詮自稱の奇想天外來は之だ

當る十四日公開 浪速館

內科專門 大連市駿河町滿銀橫 志摩醫院 電話七八六九番

何でも揃ふ ラヂオ專門の店 大連市信濃町電停前 和登商行 ラヂオ部 電話三八一五番

滿洲日報

大好評賣切近し

菊花栽培秘訣

實際園藝臨時增刊

御即位の盛儀を祝ぎ奉るに國花の玉英清香を以てせんとす。見よ、菊花一千年の歴史中今日程其盛んなるはなく、恭齋の菊譜百詠圖以來本書より充實せる菊花に關する出版物亦絶對に他になし

口繪滿載 大畫集 菊花

觀菊御會に於ける千輪咲花壇と大菊の寫眞を始め宮內省お貸下げの貴重なる菊花寫眞を豐富に收めたる上、秋香會・千秋會・皇國及旭光會等の優秀花・各地有名愛菊家と其愛花をカメラに收めて、顏觸とグラビヤ版とし口繪に飾り、夕紅葉を實物大に原色で以つて示す。

菊花の遲速調節法……曾根子爵
中花の枠作り仕立法……大塚榮吉
理想とする大菊鑑賞法……池田實兵衛
小菊培養上の要訣……鳥居信之助
山菊懸崖の整姿法……高津半造
大菊の定植法……高橋節夫
京阪型大菊と實生……菊地幽芳
大菊の現在と其進路……木村太一郎
大菊物の栽培と實生法……宮嶋吉太郎
嵯峨菊と肥後菊……兵庫 立石恒四郎
大菊三本仕立苗の拵へ方……植野粂藏
奥州菊の栽培……青森 橋本正次

以上は本書の目次の一部抜きでして、この他約四十名の全國著名大家が悉く執筆して居られますので、大凡菊に關することなら古今東西何のことでも判ります。御紋章、園花菊の古書等も研究されてゐますので未曾有の菊花大文獻です。

記事豐富 執筆者 大家五十名

本誌定價一圓六十錢 送料三錢

實際園藝十一月號 庭木盆栽號

大典記念 半價提供 圖書目錄（ハガキで申越次第無代進呈）

東京神田區錦町一丁目 誠文堂 實際園藝社 振替東京六二三三六

フレームの種類と造り方……府立園藝 梅野博次郎
八重咲ストックの作り方……主幹 石井勇義
切花と鉢花ガーベラの栽培……東京 吉田欽二郎
球根花壇の意匠と植方……京都植物園 吉津良恭
米國園藝視察……在米 池田成功
一般盆栽の手入法……盛大園 清水利悅
秋の盆栽と陳列法……香風園 吉村銳治
杉と眞柏の取扱法……吉野園 吉野禎章
盆栽の整樹の標準……明樹園 川本藤吉
松盆栽の鑑賞と手入……香樹園 村田利右衛門
庭木の時代相……公園課長 井下清
趣味實利 椎茸の栽培法……林學博士 三村鐘三郎
青酸ガス應用促成法……神奈川 櫻井元
カーネーションの栽培……譯 オールウッド
芝生の管理について……農學博士 丸毛信勝
新發見除草法と實驗……編輯局

口繪の特選 園藝寫眞滿載

三色版、グラビヤ版、寫眞版を以つて花卉及その愛賞家の寫眞の外溫室・珍果等を行つて實物をそのまま見るが如き感ひをなさしむる。その他本文記事中には寫眞頗る豐富に掲ぐ。

本號定價八十錢 送料二錢

大連市紀伊町建築協會三二 共同建築事務所（電話三五五九・四五一九番）

工學士 小野木孝治
工學士 横井謙介

大連越後町 吉成寫眞館 各種寫眞製版

判例民事法

第六巻出づ

民事法判例研究會編

加藤博士 松本博士 乾博士 穗積博士 末弘博士 田中耕太郎學士 小町谷學士 我妻學士 平野學士 田中誠二學士 菊井學士 平井學士 伊澤學士 協同執筆

第六卷 自十五年度 至昭和元年度 金四圓八拾錢 書留送料內地廿七錢
第五卷 十四年度 金四圓五拾錢 書留送料內地廿七錢
第四卷 十三年度 金四圓 書留送料內地廿七錢
第三卷 十二年度 金四圓 書留送料內地廿七錢
（菊判上製函入）

本書は東京帝國大學に於ける私法研究室の諸先生を中心として成立つた民事法判例研究會の方々が大正十五年及昭和元年に於ける大審院判例判決一切を研究批判して集錄せるもの中私法に關する判例で、殊に卷末へ便宜なる索引を附し以て最近判例の趨勢と學說との關係を明かにし、第三卷より表題も「判例民事法」と改稱し、研究の範圍も從來より擴大し民法・商法・民事訴訟法・其他關係諸法に及んでゐる。學者、實務家たる、學生、受驗生たるとを問はず、凡そ法の實務、研究に携はる者の必ず座右に備ふべき無二の參考良書である。

帝大教授法學博士 美濃部達吉先生著

判例民法

第一卷 大正十年度 金五圓
第二卷 大正十一年度 金五圓五拾錢
書留送料各七錢

本書は「判例民事法」の前編たる十一冊にして異常の好評を博せる參考良書である

最新刊

帝大教授法學博士 三潴信三先生著

類集評論 續行政法判例

本書は博士が大正十四年に公とせる「類集評論行政法判例」（全一冊 菊判上製金九圓 送料廿七錢）の續編にして、本卷は大正十四年十一月より昭和二年十二月に至る迄の判例を取扱ひ、かつ行政裁判所及び大審院の判決中行政問題に關するものを學問的に系統を付けて分類集成し、且つ重要なるものには前著と同じく詳細なる解說と評論とを加へ各種の行政問題に對して判例が一目瞭然として居る。

菊判上製全一冊 金六圓 書留送料內地廿七錢

增補版

法學博士 三潴信三先生著

全訂 擔保物權法

本書は斯學の權威・三潴博士最大の苦心に成る擔保物權法である。初版以來多數版を重ね、刊行以來幾多の研究を殊更加へ、今回第十九版刊行に際し博士は更に其後の研究に成る私見と共に學說・判例を追補して卷末へ附し茲に增補版として發賣せるものである。

書留送料內地廿七錢

法學博士 三潴信三先生著

民法總則提要　博士が民法の各編に亘り要項を說明せるものゝ總則編である　第一冊 金壹圓貳拾錢　第二冊 金壹圓四拾錢　第三冊 金貳圓七拾錢

物權法提要　上卷に物權の觀念以下占有權、下卷に留置權以下抵當權まで　◇菊判上製全二冊　上卷 金貳圓八拾錢　下卷 金貳圓八拾錢

債權法提要　上に債權の觀念以下內部的效力、下に外部的效力以下消滅迄　◇債權總論　上冊 金貳圓　下冊 金貳圓五拾錢

借家法及借地法　借家・借地の兩法を逐條的に說明せる最も正確なる顧問書也　◇四六判上製全一冊 金壹圓參拾錢

近世法學通論　一般の通說に從ひ獨・佛・伊の各國の術語を挿入せる好著也　◇菊判上製全一冊 金貳圓五拾錢

（書留送料內地各冊金十八錢宛）

增補版

帝大教授法學博士 牧野英一先生著

重訂 刑事訴訟法

本書は博士の新刑事訴訟法である。今春以來品切となり幾多の增訂を加へ全部收植の結果本文に於て百頁を增し、判例は昭和二年のものを載せ卷末へ事項・條文索引を稱付し六百頁に垂なんとする大著である。

菊判上製全一冊 金四圓五拾錢 書留送料內地廿七錢

牧野博士著 增訂 日本刑法

本書は博士が各國の立法例並に內外の學說・判例等を引照して現行刑法の全編を釋明せり

金六圓五拾錢 書留送料內地廿七錢

◇發行所 東京神田一橋通町 有斐閣 振替東京三七〇番

出タ出タ日本一ノ『少年俱樂部』

十二月號

滿天下少年熱狂！

義士銘々傳の畫

いつ見ても義士の繪は勇ましい面白い！前原伊助の仇討、堀部安兵衛の十八人斬、千葉三郎兵衛の奮戰その外少年諸君が飛び上る。面白い美しいトテモスバラしい大名畫が澤山！

山田長政

▼こゝに日本男兒あり

▼單騎シベリヤを横斷し世界を驚かした福島少佐　壯快！日本男兒の大武勇物語と大名畫！
▼暹羅に押渡り大武勇を現し六昆王となつた山田長政
▼雲つくやうな大男を相手に鬼神の働きをする鹿嶽中佐
▼怒濤の如く押し寄せる蒙古兵を驅散す宗助國の武勇
▼決死！日本男兒の度胸を見せた快男子高田屋嘉兵衛

▼寫眞小說 涙の小音樂師（活動を見るやうな面白い大評判！）
▼活動漫畫 快速力百萬哩（目玉のチビ公大活躍 壯快痛快百萬哩競爭）

特輯 萬國軍裝大畫帖 世界勳章寫眞集

ステキだ！世界の兵隊の服裝や勳章が美麗なる色刷や鮮明な寫眞で大壯觀ヅラツと並んでる。之こそ少年諸君の見逃せぬ得難い特輯！

▲南洋の眞珠王（見よ！人のために決死的と戰ふ勇敢な士人！鳥人熱狂物）
▲苦心の學友（正三君の大活躍！面白い～誰でも吹出す滑稽な小說！）

▼泰西美談 友情の堅笛……秋田一香
▼寶刀秘話 名劍旭丸……金光晴子
▼少年小說 珠は碎けず……中村武羅夫
▼漫文 マンチとカバ……山中峯太郎
▼友情繪話 輝く微笑……樗本清
▼名將秘聞 盲將大谷刑部……大川白雨
▼歷史小說 青磁の香爐……後藤道夫
▼少年小說 花はひらく……小山勝清

山嶽黨奇談　大佛次郎
手ぐすね引いて待つ鞍馬天狗の前に愈々現はれた怪老人！果して幽靈か？見よ！鞍馬天狗の痛快な活躍！

紅顏美談　佐藤紅綠
恐ろしい地獄部屋に誘拐された友を救はんと三少年の勇敢な働き！面白い～！滿天下少年大騷ぎ！

神州天馬俠　吉川英治
少年の劍俠小說として、古今無類の大名篇！武田勝賴の遺子伊那丸旗上げの大快擧！面白い～！

▼五千名當選大懸賞發表
▼五千名當選大懸賞募集（腕時計始め貴品山の如し！）

右の外まだ～大讀物山の如し
こんな立派な本は又と見られぬ
賣切れては大變！カケ足！本屋へ！

定價平月號通り 五十錢 送料三錢
東京本郷（振替東京三九三〇） 大日本雄辯會講談社

（全國書店にあり）

少年俱樂部は本當によい雜誌 之を讀むと讀まぬでは大へんな違ひが起る 優等生になりたい少年 偉い人になりたい少年はぜひ御覽下さい。

最新刊

大佛次郎著 赤穗浪士 上・下 實價一圓五十七錢送料十四錢
辻恒彥譯 グラフコフ作 世界社會主義文學叢書第五篇 セメント 實價二圓十錢送料十二錢
長尾豐著 幼稚園ばなし 第二集 實價一圓八十九錢送料十二錢
佐藤己之吉著 新式和洋建築 計劃圖案百圖 實價二圓六十二錢送料十錢
入澤恭平外二名著 物理學實驗法講義 實價七圓十四錢送料二十七錢
理學博士大塚喜輔著 微分積分學精義 特價三圓九十九錢送料廿七錢
大原社會問題研究所編 日本勞働年鑑 實價三圓十五錢送料十八錢
土田杏村著 文學の發生 國文學の哲學的研究第二卷 實價二圓六十二錢送料二十錢
法學博士木村增太郎著 支那財政論 實價六圓八十二錢送料二十七錢
法學士古野周藏著 賣買法講話 實價二圓六十二錢送料十錢
辯護士高橋德太郎著 會社と社員の權利義務 實價二圓六十二錢送料十錢
粟田元次著 綜合日本史概說 實價七圓三十五錢送料三十六錢
外山卯三郎著 詩の形態學序說 實價三圓四錢送料十四錢
東京高等工業學校助教授小澤省吾著 直流機理論 實價三圓六十七錢送料十二錢
慶應義塾大學法學部助教授淺井清著 憲法學概論 實價二圓三十一錢送料十錢
理學博士農學士松村松年著 白[illegible]の材 實價三圓六十二錢送料十二錢
吳文炳著 信託及其事業 實價二圓四十一錢送料十二錢

大連市浪速町 大阪屋號書店 代表電話五八八番 振替… （本店）東京（支店）京城・奉天

最新刊

主婦之友社著 毛糸編物新型集 第一 實價一圓十五錢送料十錢
同 第二 實價一圓十五錢送料十錢
近松著 近松秋江集 實價一圓五錢送料十錢
森鷗外著 森鷗外集 實價一圓五錢送料十錢
長田幹彥著 長田幹彥集 實價一圓五錢送料十錢
中內蝶二著 劍豪近藤勇 實價一圓卅六錢送料十錢
下村悅夫著 愛憎亂麻 實價一圓卅六錢送料十二錢
今井三郎著 俳句手記 實價二十九錢送料四錢
酒井勝軍著 神州天子國 定價二圓六十二錢送料十二錢
刀禰館正雄著 その頃を語る 實價一圓五十七錢送料十錢
高橋德太郎著 會社と社員の權利義務 實價二圓六十二錢送料十錢
武井武雄著 武井武雄手藝圖案集 實價二圓六十二錢送料十二錢
田所輝明著 社會運動辭典 實價一圓五十七錢送料十錢
俳諧大系刊行會著 昭和四年 俳人日記 實價一圓廿六錢送料八錢
東京朝日社會部著 我子のしつけ方 幼年の卷 實價七十三錢送料六錢

大連市大山通 滿書堂書籍部 電話五五九八番

大連汽船出帆

●青島、上海行 靜丸 十一月十七日前十一時
大連丸 十一月十九日前十一時
奉天丸 十一月廿一日前十一時
●天津行 天津丸 十一月十五日後五時
長平丸 十一月十七日後三時
天潮丸 十一月十九日前九時
●營口、芝罘、龍口行 福平丸 十一月十六日後六時
●香港、廣東行 老虎丸 十一月十七日
六眞盛丸 十一月
●汕頭行 辰鳳丸 十一月
英順丸 十一月廿三日
●安東行 長順丸 十一月十六日
●濟通丸 十一月
●敦賀伏木新潟行 第五大日生丸 十一月十五日
●基隆高雄行 永安丸 十一月十四日
●門司行 大山丸 十一月十四日
專屬荷客取扱店 永和公司
大連汽船株式會社 電話番號代表四一八五番

政記輪船出帆

福利號 十一月十四日營口
廻安號 十一月十五日青島
茂利號 十一月十五日芝香廣行
有利號 十一月十五日龍口行
永利號 十一月十五日芝罘行
大連市敷島町六番地 政記輪船股份有限公司 電話七二七五・七八六八番 電話四一一四番

社船大連出帆

鹿兒島三角三池住ノ江長崎唐津博多八幡門司行 臺東丸 十二月五日
右定期航海開始次航出帆十一月廿五日に御座候
●大阪行 大安丸 十一月十五日
●塘沽行 袖ケ浦丸 十一月
●上海行 大陸丸 十一月十八日
大連市山縣通一二九 朽木商事株式會社大連出張所 電話七四一八番

日清汽船大連出帆

●青島、上海行、午前九時出帆 華山丸 十一月二十六日
廬山丸 十一月十七日
代理店 大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番

田中商事汽船大連出帆

●芝罘威海衛仁川行 利通號 十一月十四日
●宇品、尾道、糸崎、今治、三津濱、阪神行 御月丸 十一月二十五日
●新嘉坡行 順安丸
大連市加賀町 田中商事株式會社 電話六一一七・六一八八・三五一番
專屬荷客取扱店 大連市山縣通二二一 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番

高橋汽船大連出帆

●劉家旺、登州府、欒家口、龍口行 商光丸 十一月 午後六時
●芝罘行 海瑞丸 十一月十五日午後六時
大連市加賀町三十番地 代理店田中商事株式會社 大連支店 電話六一一七・六一八八・三五一番

阿波共同汽船

●芝罘、威海衛、青島 第十六共同丸 十一月十九日後七時
●芝罘威海衛青島行 第廿一共同丸 十一月十六日後七時
●芝罘、威海衛、仁川 第廿六共同丸 十一月十七日前七時
●鎭南浦行
●天津行 長山丸 十一月十六日後六時
貨物と旅客は貨物運輸取扱店
大連市山縣通一〇〇番地 阿波國共同汽船會社大連支店 電話六八九一・五〇〇一番

大阪商船出帆

○門司神戸（大阪）行午前十時出帆 ばいかる丸 十一月十七日
亞米利加丸 二十日宇品寄港
はるぴん丸 十一月廿四日
香港丸 十一月二十七日
○上海福州基隆高雄行後三時出帆 長沙丸 十一月十九日
福建丸 十二月一日
盛京丸 十二月一日
○朝鮮經由長崎鹿兒島行 湖東丸 十一月廿二日
○北米シヤトル、タコマ行（上海神戸四日市横濱經由） ろんとん丸 十一月廿四日
○歐洲行（神戸四日市横濱經由）船客お斷り へいぐ丸 十一月二十三日
○歐洲行（上海香港新嘉坡經由）船客お斷り あんです丸 十一月三十日
大阪商船株式會社大連支店 電話四一三七番
專屬旅客案內所 滿洲旅館協會
信濃町遼東ホテル內 乘船切符發賣所 電話七五七四番
大連市伊勢町 ジヤパンツーリストビユーロー 大連案內所 電話五五五四番
專屬荷客取扱店 大連市山縣通二二一 國際運輸株式會社大連支店 電話三一五一番
大山通り切符發賣所 電話七〇三四番
沙河口切符發賣所 東來洋行內 電話九五〇六番
二ホーム荷扱所 電話四八〇二番
左記支店にて船車聯絡貨物に對し引換證發行仕り候
支店 奉天、營口、安東、遼陽、鐵嶺、開原、四平街、鄭家屯、洮南、泰來、通遼、長春、下九臺、松花江、伯都納、樹甸、雙城堡、哈爾濱、傅家甸、安達、滿溝、昂昂溪、一面坡、龍井村、局子街、天津、青島、上海、浦鹽、釜山、京城、平壤、新義州、元山、草梁、統營、大邱、仁川、京城、成興、清津、會寧、上三峰、潼關鎭、雄基、臺北、基隆、高雄、東京、神戸

島谷汽船大連出帆

●南鮮裏日本各港經由小樽行 鮮海丸 十一月二十六日
長成丸 十二月一日
大成丸 十一月十三日
◎寄港地 鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、浦項、萩、境、宮津、舞鶴、新舞鶴、敦賀、伏木、函館、小樽
◎各等客室設備あり
●敦賀伏木新潟行 須磨丸 十一月二十五日
東海丸 十一月十七日
島谷汽船株式會社大連出張所 大連市山縣通一五三
代理店 大三商會 電話長四七一・三四八二・六二三三番

日本郵船出帆

●歐洲行 豐橋丸 十一月廿九日
豐岡丸 十一月十四日
●米國行 飛島丸 十二月十六日
●門司神戸行 富山丸 十一月

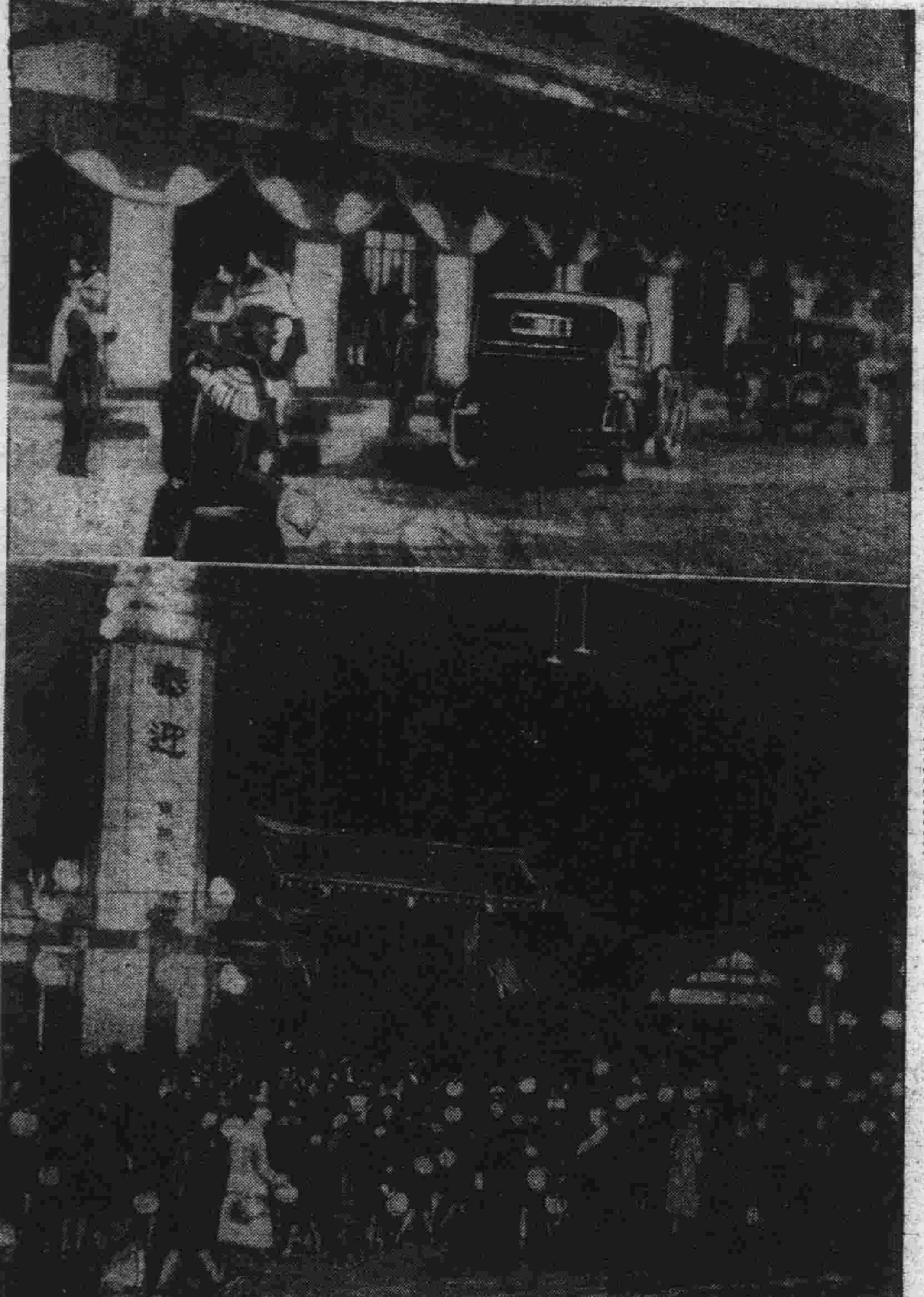
近海郵船大連出帆

●長崎神戸大阪横濱行 淡路丸 十一月十八日
●神戸行 玄武丸 十一月二十七日
相模丸 十二月一日
勝浦丸 十二月七日
●天津牛莊行 玄武丸 十一月十九日
相模丸 十一月二十五日
勝浦丸 十二月一日

朝鮮郵船大連出帆

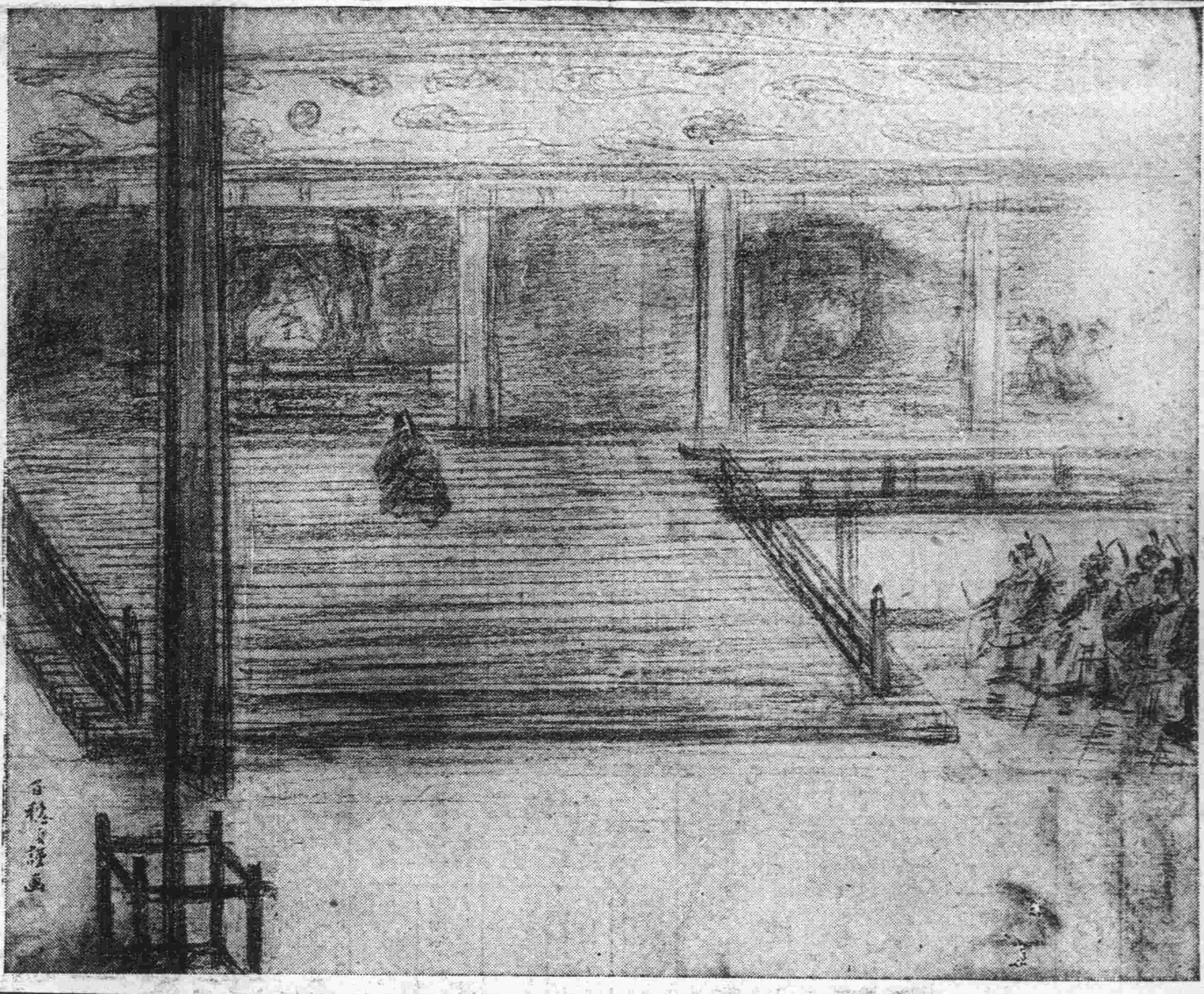
●青島仁川行 會寧丸 十一月十七日
●仁川長崎鹿兒島行 羅南丸 十二月二日
●鎭南浦、仁川、群山、木浦、釜山、長崎、鹿兒島行 羅南丸 十一月廿一日
朝鮮鐵道各主要驛及各寄港地貨物受證發行
右汽船出帆日時は天候其他の都合により變更する事有之候
朝鮮郵船株式會社大連代理店 日本郵船株式會社大連出張所 大連市山縣通 電話三七三九・七八四六番
專屬荷客取扱店 丸二商會 電話四二六四・八八八五番

本社電送寫眞（大典の都より）



（上）第二朝集所に集る參列者（下）堺町を入る奉祝提灯行列

紫宸殿の御儀



平福百穗畫伯謹寫

古事による崇高神秘な大嘗祭鎭魂の御儀
昨夜、皇宮内小御所にて御執行
靜かにゆかしき倭舞ひ

【京都特電十三日發】重大御儀たる大嘗祭を十四日に迫り天皇の玉體を鎭めその御安泰を祈りまつる鎭魂の儀は、十三日午後五時から京都皇宮内小御所に於いて行はせられた、この御儀の由來は頗る遠く皇祖の天岩戸に籠もり給ふた時に行はれた古神事で、神武天皇の

櫃原に 都を定められたとき宇麻志麻治命が宮殿中において、その父饒速日尊の天より受け來つた十種の瑞寶を祭つて御魂を鎭め寶祚の長久を祈り給ふた古事による崇高神秘な御儀である

夕暮れ初むる小御所内には祭儀の御準備を整へ神座恭しく奉安せられれば、衣冠單に威儀を正した九條掌典長、本多同次長、町尻、八束、石野、室町、宮野、小松、園田、三條西、小野、持明院、唐橋各掌典、大村内掌典順次着座、九條掌典長の嚴かなる祓の儀ありて

禮裝の 大禮使高等官二名徐々として着床、かくて先づ降神行事あり樂師は和琴、笛、笏、拍子で遠く天照大神が天岩戸に隱れ給ふた時に、天鈿女命が舞踏された歌「あはれあなおもしろあなたのし、あなさやけおけ」とありし安知女の曲を奏し、八代神物たる太刀一口、弓一張、箭一隻、鈴二十口、佐奈岐二十口、縑一匹、木綿五斤、麻十斤並に神饌を次々に供進しまゐらせる、次に九條掌典長は齋殿なる神前に進み、恭しく御拜をなして祝詞を奏し拔座につけば更に掌典は齋殿に上つて

絲結び の座につく、折から警蹕の聲嚴かに白木の宮に納めて捧持された天皇陛下の御衣並に御玉緒は渡御あらせられる、迎へ奉れば捧持掌典は靜々と進みて御衣の宮を案上に奉安し九條掌典長以下齊しく八開手を拍つて平伏する此の森嚴極まりなきうちに内掌典大村信子は神々しき淨衣を着し鬘のやうな形の宇氣槽に昇れば、掌典は徐ろに齋殿前後の幔を垂れ謹んで

御玉緒 をとつて絲結びを奉仕する、かくて大村内掌典は桙をとつて天鈿女命が天岩戸の前で宇氣槽を覆せ踏み響かせて、大御神を和め奉つた古事にならひ一二三四五六七八九十と數えて十度宇氣槽を衝くのを合圖に、掌典は各一度毎に糸を結んで式を終へ御玉緒をとつて再び舊の宮に納めまゐらせる、次で掌典神前の幔をかゝげて控ゆれば掌典は御衣宮の御蓋を開き神前に向ひかしこくも御衣を振り動かすこと十度にして、即ち御衣は玉體、御玉緒は御魂代の御旨に納めまゐらせる、御衣を振るのは御魂を繋ぎとめて玉體中に鎭めまつる意味である、やがて御衣と御玉緒が再び嚴かな警蹕のうちに入御あらせられるや

大直歌 「あたらしき年の始めにかくしこそ千とせをかねてたのしきつめ」と雍々たる歌は起り、その消ゆる時しも九條掌典長以下各掌典參列諸員再拜し、歌曲終ると共に青摺衣をつけた舞人達は榊をかざして靜かにゆかしき倭舞を舞ひ、終つて奏樂裡に神饌八代神物を撤し昇神行事があつて各退下、御儀は夜に入つて午後七時過ぎ終了した

大嘗祭の儀禮艦「桑」「槇」の滿艦飾
夜はイルミネーション 大連灣頭の壯觀

今十四日の大嘗祭儀禮艦として大連港に派遣された第二遣外艦隊第九驅逐隊所屬の「桑」「槇」の二艦は、十日の即位禮當日の如く午前八時より日沒まで燦たる滿艦飾を行ひ夜は九時迄紅、綠と色とりどりの五十燭光の電球千個を飾りイルミネーションをつけ午後六時を期して檣頭高く軍艦旗を揭揚、町田司令各艦長以下二百三十名の乘組員は東方に向ひて甲板に整列「國の鎭」の軍樂隊の吹奏裡に遙拜式を行ふ、尚大連港碇泊のばいかる丸以下各汽船も荷役の出來る範圍で滿艦飾を行ふが定めし美觀を呈するであらう、因に桑、槇の二艦は本日の重任を果し十五日午前七時拔錨旅順に向ふと

五節舞姫は抽籤できまる

【京都十三日發電】十六日大饗第一日の儀に行はれる五節の舞は緋の色目もあやに花鳥を織出したる唐衣に純白の地に櫻、牡丹、杜若等極彩色に染なした裳を長く引き檜扇高らかに翳して細目を舞ふ如き舞衣で奉仕の舞姫菊亭禎子さん以下正副八名はときめく心を鎭めては毎日練習に勵んでゐるが、十三日は華族會館で衣紋を着けて最後の練習を行ひ其の日の儀の華やかさを見せたが、御儀前日は大饗宴場内舞樂殿で本格の練習を行ふこと〻なつた、尚當日奉仕の五名は今明日中に抽籤で決定發表の筈である

けふ、行はせらる〻「大嘗祭の儀」の由來
天照大神の始め給ふを起源として殖産興業の忽せに出來ぬを御示し

【京都特電十三日發】明十四日行はせらる〻大嘗祭の御儀の由來は遠く高天原の天照大神の始め給ふたのが起源とされた、天孫瓊々杵尊の大后神吾田鹿葦津姫が御田を卜ひ定めて狹名田と名づけた田の稻をもつて天甜酒をお作りになり、淳名田といふ田の稻をもつて飯とされて嘗祭を遊ばしたともあり、天孫御親らが皇祖及び天神地祇を請饗あらせられて御自らも聞し召し、祖先敬愛の情を敍べ衣食の重んずべく殖産興業の忽にすることの出來ないことを示されたもので國民生活と離れることの出來ない尊き大祀なのである

奉天の排日貨運動愈よ熾烈を極む
稅捐局が密偵を派して監視 日支の商取引中絶す

【奉天特電十三日發】支那側の排日貨運動は漸次具體的となつて來た、奉天城内外に貼りつけられた排日宣傳ビラは十三日に至つて著しくその數を增し、稅捐局員は日本商品を取扱ふ支那商店を臨檢して納稅未濟の名に於て日本品の仕入れを禁止し、更に密偵を派して各商店を監視せしめてゐる、そのためわが貿易商と支那商との商取引は全然中絶の狀態に陷り、支那商より注文品の契約をすべて取消すべく申込み來るもの多くその損害莫大の額に上る見込みである、なほ支那商の間には學生團その他の排日團體が日本品を沒收せんとするを恐れて豫め注文の取消し又日本品の隱匿をなしつ〻ある模樣である

莫德惠氏入京

【東京特電十三日發】莫德惠氏は十三日午前九時十分東京驛着、一旦帝國ホテルに投宿した後市内各所を見物し正午入江滿鐵東京支社長と午餐を共にし、午後七時より在京留學生招待の晩餐會に臨んだが、明日退京箱根に一泊した後京都に歸り十六日の大饗宴に參列する筈

大饗終了後に與黨と力を合せ
政府が積極的活動を起すに 定例閣議で意見一致

【京都十三日發電】十三日の閣議に於て久原遞相、望月内相は野黨最近の情勢並に貴族院方面の意向につき情報を報告したらへ今後の對策につき意見を交換したが、野黨側の情勢については野黨聯盟は結局具體的實勢力となるとは思はれぬけれども新黨俱樂部、憲政一新會等の小黨聯盟運動は寧ろ注目すべきで、或はこれが政府を牽制するかも知れぬが結局は政府に有利に轉回するであらう、而して野黨側の活動を大觀するに目下のところ大どこの動きではなく從つて大局に影響するとは思へない、たゞ政府は之を有利に導くの方途を講ずるの必要がある、貴族院方面の情勢に就いては最近渡邊、青木兩子間に諒解がなつたこともあり貴族院の向背は一般的に有利に展開してゐるが、一部は地租委讓問題を種に反政府的勢ひを煽る者あれば充分警戒を要する、而して政局漸く動かんとするに對しては大饗終了後政府は與黨とも力を合せて積極的活動を起し政局の好轉を圖らうと云ふに意見一致した

新黨俱樂部は政府を援助
床次氏と鈴木前内相 十三日會見の結果

【京都特電十三日發】床次竹二郎氏は十三日午前、奈良ホテルに於いて鈴木前内相と會見し長時間にわたつて凝議したが、其の結果床次氏の率ゐる新黨クラブは來るべき議會に於て必ずしも表面與黨的の態度は執らぬまでも、民政黨と提携することは絕對になさず不卽不離の裡に政府を援助すること〻なり、且政府が憂慮せる地租委讓問題に就ては或諒解成り、政府は今後の政局に極めて樂觀するに至つた模樣である

更に首相ら打開策協議

【京都十三日發電】京都府臨時内閣出張所に十三日午前十時から定例閣議を開き田中首相以下各閣僚出席、御大禮今後の諸儀式につき打合せ更に當面の重要政務を協議し同十一時二十分散會したが、首相、遞相、内相は閣議室に居殘り野黨側の活動ならびに貴院方面の情勢につき意見の交換を行ひ今後の打開策につき協議を重ぬる處あつた

大隈侯 月末旗擧か

【京都十三日發電】大隈侯の政界出馬運動は小寺謙吉、長島隆二氏等も介在し愈露骨となり同派では既に九分通り十三、四名の議員の承諾を得たから二十六、七日頃第一回の參加者氏名を發表し民政黨側の妨害甚だしからざる限り月末に旗擧げしたいと言つてゐる

小泉氏等の新黨計畫
床次氏を黨首に仰いで

【京都特電十三日發】小泉策太郎、降旗元太郎、長島隆二の三氏は十二日午後大阪某所にて會合、政局打開に關し密議した、小泉氏等の目的は政友會より三四十名、民政黨より同數位を奪取しこれに新黨俱樂部、憲政一新會を合併して百名以上の同志を糾合し新黨を組織

芳澤公使を南京派遣
田中首相談

【京都十三日發電】十三日の閣議で田中兼攝外相は最近の日支問題につき左の如く述べた
有田局長を上海南京に派遣して出先官憲より親しく諸般の情報を聽取せしめ且つ南京政府當局の意嚮をも聞かせたが、日支諸懸案の解決交涉は行き詰りと云ふ程悲觀すべきではないが大した進展を見てゐない事は事實である、然し日本としては別に急ぐ必要もないから各般の情勢を愼重に考慮研究し善處の必要がある、何れ芳澤公使を派遣し南京政府と折衝せしむる外あるまい

敍勳（十一月二日）

正五位勳五等　西内精四郎　敍勳四等授瑞寶章

殘存米發表

【東京十三日發電】大藏省發表、殘存米は七百八十二萬七千七百七十三石にして前年同期に比し二百十萬八十二石、三割六分七厘の增加である

富士商船移轉

從來市内須磨町六番地に營業してゐた富士商船株式會社は今回本店を神戸に移轉、同地を基點として海運業を經營すると

謹告

御大典奉祝のため十四日發行夕刊休刊致します

安田胡子

山本社長の所謂經濟化、實務化と責任請負制度から滿鐵の業績が良好であつたとあつて百萬圓の臨時賞與が振り撒かれた▲其の割當は鐵道部が其の半の五十萬圓、撫順が廿萬圓、鞍山が十五萬圓、地方、興業、經理各部其他が十五萬圓で理事は遠慮したが鐵道部長、文書課長あたりが一萬圓宛、其他の課長、主任級は一ケ月乃至十ケ月といふ標準▲年末のボーナスを控へて此の豫定外收入を貰つた連中は或は家庭圓滿、或は三業組合振興にそれぞく悅に入つてゐるがありつかぬ連中もあるので此の人々が目下妻君と會社との間の三角關係で煩悶中とある

劉吉林教育廳長復職す

本月八日一度發表されたる吉林教育廳長劉方圃氏罷免現法政專門學校長李綸三氏代理廳長となつたが九日正午に至り又種々の都合により前劉方圃氏復職すること〻なり當地打倒劉樹春の學生運動は全く失敗に終つた（吉林）

生牛輸出に入蒙し
邦人行方不明

貴志中將が特務時代其下に勤務し蒙古方面の情報を擔任したことがあり其後長く洮南に居住して蒙古通を以て知られた三井寬之助氏は過般前代議士小島文吉翁等の後援を得て生牛の日本輸出を計畫し八月中調査を終り九月十日資金を携へて再び奉天より法庫門を經て入蒙したが、爾來一箇月餘の今日に至るも全く消息なく或は奧地に於て奇禍に遭つたのではなからうかと關係者及び知人は憂慮してゐる、因に氏は半月以内に歸奉の豫定であつたと

正七位勳七等　石井金三郎
從五位　筒井雪郎
敍勳六等授瑞寶章（各通）
勳六等　熊代織吉
同　岸川吉郎
同　本田菊次
從七位勳八等　井上勇
敍勳七等授瑞寶章（各通）
林源一郎　小高兵司　渴目文雄　矢口清藏
敍勳八等授瑞寶章（各通）

本日朝刊十二頁
本日廳報を添ふ

特産

◇定期後場（last）

▲大豆（强調）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	五九五〇	五九七〇	五九五〇	五九七〇
十二月末	五九〇〇	五九一〇	五九〇〇	五九一〇
一月末	五九〇〇	五九一〇	五九〇〇	五九一〇
二月末	五九三〇	五九五〇	五九三〇	五九五〇
三月末	五九六〇	五九七〇	五九六〇	五九七〇
出來高	六十七車			

▲豆粕（保合）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一八八〇	一八八〇	一八八〇	一八八〇
三月限	一九二五	一九二五	一九二五	一九二五
四月限	一九三五	一九三五	一九三五	一九三五
出來高	七千枚			

▲豆油（小踉り）（單位錢）

限月	寄付	高値	安値	大引
十二月限	一七四〇	一七四〇	一七四〇	一七四〇
一月限	一七三〇	一七三〇	一七三〇	一七三〇
出來高	一千五百箱			

▲高粱（續騰）（單位厘）

限月	寄付	高値	安値	大引
十一月末	三六八〇	三六八〇	三六五〇	三六八〇
十二月末	三六九〇	三六九〇	三六九〇	三六九〇
一月末	三六三〇	三六五〇	三六三〇	三六五〇
二月末	三六六〇	三七〇〇	三六六〇	三七〇〇
三月末	三七三〇	三七五〇	三七三〇	三七五〇
出來高	九十六車			

▲包米　出來不申

◇現物後場（銀建）

銘柄	寄付	大引
混保大豆 袋込	五九七〇	五九九〇
裸物	五七一〇	五七一〇
出來高	五十車	
豆粕	一八七五	一八八〇
出來高	一萬一千枚	
豆油	一七七五	一七七五
出來高	一千六百箱	
高粱	三五八〇	三五八〇
出來高	一車	
包米	出來不申	

錢鈔

◇定期後場（單位錢）

	寄付	高値	安値	大引
期近	一〇〇一〇	一〇〇三〇	一〇〇一〇	一〇〇三五
出來高	七十萬圓			

◇現物後場（單位錢）

	銀對金	銀對洋
一時半	一〇〇四〇	一二九五
二時半	一〇〇四〇	一二九五
三時半	一〇〇三五	一二九五
出來高	銀對金二萬九千圓	銀對洋六千圓

商品

後場

●麻袋（保合）

銘柄	約定期	値段	枚數
鐵筋	延十一月末	四一八	二〇
同	同	四一七	五〇
同	同	四一九	五〇
同	同	四二〇	〇〇
出來高	十六萬枚		

●綿糸布（出來不申）
●麥粉（出來不申）

神戸特産物（東京十三日發）

銘柄	
大豆現物	七五五
先物	六四〇
豆粕現物	二一三
先物	四三八
滿洲小麥	六四五
豆油現物	一三四〇

東京株式

銘柄	後場寄	後場引
五品短期	二三五〇	二三六〇
東新短期	一七二七〇	一七〇九〇

大阪綿糸

限月	後場寄	後場引
十一月	二四〇二〇	二四〇二〇
十二月	一三八六〇	一三八六〇
一月	一三六一〇	一三六六〇
二月	一三五二〇	一三五六〇
三月	一三四八〇	一三四八〇
四月	一三五三〇	一三四九〇
五月	一三四八〇	一三四五〇

大阪期米

限月	後場寄	後場引
十一月	二九二九	二九二八
十二月	二九七二	二九六一

東京期米

限月	後場寄	後場引
十一月	二八九五	二八九四
十二月	二九三一	二九二〇
一月	二九六六	三〇〇

橫濱生糸

限月	後場一節	後場二節
十一月	一三五九〇	一三五六〇
十二月	一三六九〇	一三六八〇
一月	一三五八〇	一三五五〇
二月	一三六〇〇	一三五九〇
三月	一三五六〇	一三五三〇

十二時間にわたる大嘗宮の御儀

聖上御親祭あらせらる

幽玄崇高の神事

御大典中の重大御儀たる大嘗祭は十四日から十五日にわたつて徹宵行はせられる、御饌素朴古朴の御神事である大嘗祭の世にも稀なる御儀を擧げさせられるのである、そのかみ天祖天照大神天孫瓊々杵尊御降臨の御時詔して豐葦原瑞穗國は吾御子の所知國として齋庭の穗を授け給ひしより天孫日向高千穗宮に天降りましく、はじめてその稻穗を栽え新穀を聞食されてより御歷代御卽位御繼體の初めにおいて大嘗の大儀を行はせらるに傚はれ、聖上陛下又親く皇祖に謝饗あらせらるゝと拜す、夕には東なる悠紀殿に、曉には西なる主基殿にて神秘莊嚴幽玄崇高の大御祭は翌十五日の曉にかけてとり行はせられるのである

神代さながらの大嘗宮の結構

松林美しき仙洞御所

大嘗宮は松林清き舊仙洞御所あとに、素朴幽玄にさながら太古そのまゝの結構をもつて御設けあらせられた、悠紀、主基兩殿からなる大嘗宮は東西十六間、南北十間、その周圍は高さ六尺餘の柴垣で取り圍まれる。この柴垣は内部が北山柴、外部は椋の柴で、竹の押縁をあしらひ、藤で結びつけ、皮附松の隅柱を柴で太く包み、御祭の前日垣一面に椎の和惠と小枝をさし續らす

悠紀主基兩殿

はこの柴垣の内一間を除いて西東に建てられ、長い廊下によつて正北方の廻立殿に連なつてゐる。柴垣の中には小忌幄舍、膳屋、帳殿それ〲に柱をならべ、宮居は正しく南面して、正北方に位する陛下の御座所なる頓宮の御座根を望むことが出來る。兩殿より廊下に至るまで一切の不淨を去つて、壁には土を用ひず、近江蓙を張り、床にはあつか草をしき詰め、その上に

竹の簀子を置

き更に其上に近江蓙を布いてある兩殿とも御屋根は萱の葉、御柱は皮付の松の樹にて造られ、南北五間、東西三間、御殿のうち北の方三間を内陣といひ、南の二間を外陣と稱へる。南の緣の兩端から半間を隔てゝ幅一間ばかりの皮付松三段の御階、これは兩陛下の御昇降遊ばす處である

天皇出御

諸員參進す

大嘗宮各殿の御裝飾はこの日早旦より整へられ、夕の至るを待ち上げる、午後三時となれば早くも外門は開かれて御儀に參列を許された人々、何れも大禮服を着し、ローブデマルテ又は袿袴にお召かし姿の夫人達を同伴、朝集所に參集するやがて午後四時となれば正裝の儀仗兵正門外に堵列し、秩父宮高松宮、閑院元帥宮始め、各皇族同妃殿下は

何れも御正裝

にて大宮御所の頓宮に參着あり、天皇皇后兩陛下には同時二十分建禮門御出門、直に頓宮に着御あらせらる、これより先午後三時までに着換所に參着した衛門二十四名の人々は、何れも武官の服裝たる卷纓の冠に緌を着け、闕腋の縫袍を纏着に着なし、半臂にて石帶をなし、平緒をつけた劍を佩き、平胡籙を負ひ、弓をとり淺沓をはき

小忌衣を加へ

日蔭鬘をつけた姿にて同四時二十分大禮使事務官の合圖により順次前進し本位につく。先づ南北兩面の神門に左右各二人、東西兩面神門に左右各三人、豫備を合して夫々各神門外掖に立つ。次に同じき服裝の大禮使高等官、左右各六人南面の神門内掖に參進して威儀の本位につく、この威儀本位の人々は衛門よりも職重く、位高く、前列は黑袍に平胡籙、後列は緋袍に壺胡籙を負ふのである。かくて午後六時近く御祭儀前の準備は全く整ふ

神座奉安

半疊の玉座

次で九條掌典長は本多同次長以下各掌典を隨へ、大嘗宮本殿の内陣に參進し、悠紀、主基兩殿の神座を奉安しまゐらせる、神座とは天神地祇の御座で、兩殿の内陣に一丈三尺の疊を敷き、その上に六尺の疊を竪に二帖づつ重ねて四帖を敷き、その上に更に丈九尺の疊を敷き、北の方三尺開いた處に錦の御沓一足を北面して揃へまゐらせる。また九尺の疊の南端には、坂枕とて一方は高く一方は低い疊を敷き、尙其上に

九尺の八重疊

を敷き、その又上に白の生絹の御衾、またその上に白の生絹の御單を疊んで安置される。陛下の御座は巽の方に半疊たゞ一枚を置かれるのみでまことに尊き次第である やがて九條掌典長は麁服繪服なる神服二領を竹製の筥に納め四方に眞榊をたてた八脚の臺の上に安置する、これらは最も神秘の中に行はれ、外間から何人も拜することは出來ないのである

帛御袍の御姿尊く悠紀殿の御儀

神饌を親供あらせらる

天皇陛下には午後六時、頓宮より廻立殿に渡御、帛御袍をとらせ、天羽衣といふ白き御湯帷布を御下其の上に召し、侍從の奉仕にて小忌御湯の儀とて、御湯桶の御湯を三度注がせられ、御幘の冠に白の御齋衣を召し、御下襲、白平絹の御袙、白平絹裏薄紅色の御表袴に、白平絹の大口を召、白無紋巡方御石帶にて白の御襪を穿かせられ、御笏をとらせ給ふ、また

皇后陛下には

廻立殿にて白色帛御五衣、同御唐衣、同御裳を着し、御檜扇をとられ兩陛下供奉の諸員何れも更服すかくて午後五時五十分迄に朝集所に參集の諸員は南板垣御門を入り南面の神門外左右の幄舍に參進して本位につき出御を待ち奉る。

稻春歌の聲が

此の時宮中樂官の奉仕する聞えて來る。この歌は宮中御歌所長入江爲守子が詠進したもので、白色帛畫衣に唐衣紅切袴を着し、青摺りの襷をつけ、日蔭絲を頭から長く左右に垂れ心葉を頂いた女官達が優しき手振りに稻春の儀を行ひまた掌典は掌典補を指揮して神饌の御調理をなし、また庭積の机代物とて悠紀地方たる京都以北の全國各地より奉つた神饌以外の海のもの山のもの畑のもの數々を南庭の帳殿に運びまゐらせる。

陛下進御

諸員參着す

九條掌典長御本殿に參進、御親祭のよしを奏しまつれば、天皇陛下には左右各一人の侍從が脂燭の火をともしまゐらせ、伊藤式部長官一木宮相の前行にて廻立殿を出御あり、珍田侍從長、奈良武官長以下侍從、同武官等が候し、秩父宮高松宮、閑院宮各親王初め、皇族殿下、田中首相以下各國務大臣、倉富樞府議長、牧野内府、近衛大禮使長官等順次供奉しまつり、悠紀本殿にと渡御あらせられる。この時

九條掌典長は

本殿南階の下に候し、左右各一人の式部官は脂燭をとつて迎へまつる、劍璽捧持の侍從は南階を昇り外陣の御幌内に參進して案上に劍璽を奉安し、簀子に候する。天皇外陣の御座に着御、珍田侍從長、九條掌典長南階を昇り簀子に祗候し閑院大禮使總裁宮始め供奉諸員本殿南庭の小忌の幄舍に着床する次に皇后陛下には渡邊式部次長、河井皇后宮大夫前行し、左右

各一人の侍從

脂燭をとつて進み、竹屋女官長以下各女官御後に候し秩父宮妃殿下始め各皇族妃殿下、關屋、鳩山大禮使次官供奉し陛下の帳殿の御座に着御あらせられるれば、女官は殿外に、各皇族妃殿下其他供奉諸員は殿外小忌の幄舍に着床する

國栖の古風と風俗歌

この時安倍大禮使高等官は樂官十名を率ゐて本殿南庭の奏樂舍の本位につき、次に悠紀地方の長官たる堀田滋賀縣知事は樂官十五名を率ゐその東方に着する、こゝに安倍大禮使高等官は先づその率ゐる樂官を指揮して國栖の古風たる「かしの子によくすをつくり、よくすにかみしおほみきうまらにきこしもち、おせまろが」（かしの子としいふ土地にてよくすをつくりかもせし大みきをうまくたべよわが父）との古雅

ゆかしき歌曲

を二返し奏せしめる。これは神武天皇が吉野に行幸の時に、石穗押別神の裔が天皇を慰め奉らんため奏したのに始まり、御歷代に參朝し、列聖を慰め奉り、明治天皇が同十年大和に行幸ましまして神武天皇山陵に御親謁の際、その折、今井の行在所に參じてこの古風を奏したといふゆかしき御ゆかりあるものであるが、今は樂官が羯鼓、笛、鈴などによつてこれを奏するのである。次で悠紀地方長官たる堀田滋賀縣知事は樂官を指揮して、御歌所長入江爲守子詠進の

悠紀地方風俗

歌を笛、篳篥などに合して同じく二返しを奏し神慮を慰めまつる。終つて皇后陛下には帳殿内に恭しく御拜禮あらせられ、各皇族妃殿下及供奉の諸員は殿外又は南庭の小忌の幄舍にて拜禮をなし、皇后宮には各員供奉して廻立殿に還御あらせらる。

神饌行立

かくて八時過ぎとなり神饌行立を行ふ、先づ掌典一人、削木をとり同じく一人は海老鰭盥槽をとる、次に多志良加とて神の御手水の水を入れる土器を執る。次で白色帛畫衣に唐衣を着け紅切袴をつけ青摺襷をかけ日蔭絲と心葉を頭に頂いた陪膳女官一人、御刀子筥をとり、次に調布六尺の手拭を入れた御巾子筥、次に神食薦、續いて御直會用の御食薦、御箸筥、本柏の葉四十枚を入れた御枚手筥、米と粟を入れた御飯筥、御鮮物筥、御干物の筥、御果子の筥を

女官各一人

がとり、次に鮑汁漬、海藻汁漬を夫々掌典各一人がとり白酒黑酒を盛る盞十二個を入脚臺に載せ、掌典補二名が舁つぎ、續いて御羹八足机、御酒八足机、御粥八足机、最後に御直會八足机とて神饌御親供の後、陛下の召させられる御料をのせたものを各二人の掌典補が舁つぎ神饌行立は終る、この時掌典は警蹕を稱ふれば、樂人達は古雅なる神樂歌を奏し、天皇陛下には内陣の御座に進御あらせられ珍田侍從長九條掌典長外陣の御幌内に參入する

神饌親供

至高の御儀

こゝに陛下は陪膳女官より御手水を受けさせられ、恭しく神饌御親供の至高の御儀をとり行はせ給ふのである。夜氣一しほこまやかに、木立深い神域、神代ながらに森嚴な悠紀殿内に於て陛下には内陣の中央に高く奉安された神座に對し、九種の御神饌を御親供あり、恭しく御拜禮の後御告文を奏し給ふ。もとより

奧深き神秘

の境とて、その御有樣拜し得る由もないが、天照大神を始め天神地祇に新穀を奉り災を祓ひ福を降し、五穀豐穰に穰り御代萬代に國民安らけく平けく讓らせ給はん事を祈念あらせられる。かくて陛下には、神の御相伴として御直會の箸をとらせ給ひ神代最初の新穀を炊ぎたる米の御飯、粟の御飯及同じ新穀で醸した白酒黑酒を召させられ終つて神饌の撤下あり、更に御手水を奉り、悠紀殿供饌の御儀御終了あり、陛下には十一時を過ぐる頃廻立殿に還御あらせられ、次で諸員も退下して朝集所に入り休憩する。

御大禮奉祝歌

今永茂

かゞよへる御典。
きはみなき日嗣。
高光る日の本は、
ほぎ歌にとよめけり。」
おごそかのゆには。
八束穗のかほり。
ゆたかなる海山は、
さきはひにあふれたり。」
職なるうたげ。
のべまつる壽詞。
吾が君すめらぎの
大稜威たふとしも。」
世界の東、
さやかの黎明。
潮爽に流れ、
峰妙に聳え、
國土は照り映えて、
天津日の座はあらたなり。」
國民擧げて、
いほぎまつれよ。
かがなべて待ちし、
佳き日こそ來つれ、
いざ諸人、
いざや。」

深更より曉かけて主基殿の御儀

神々しき曉の御親祭

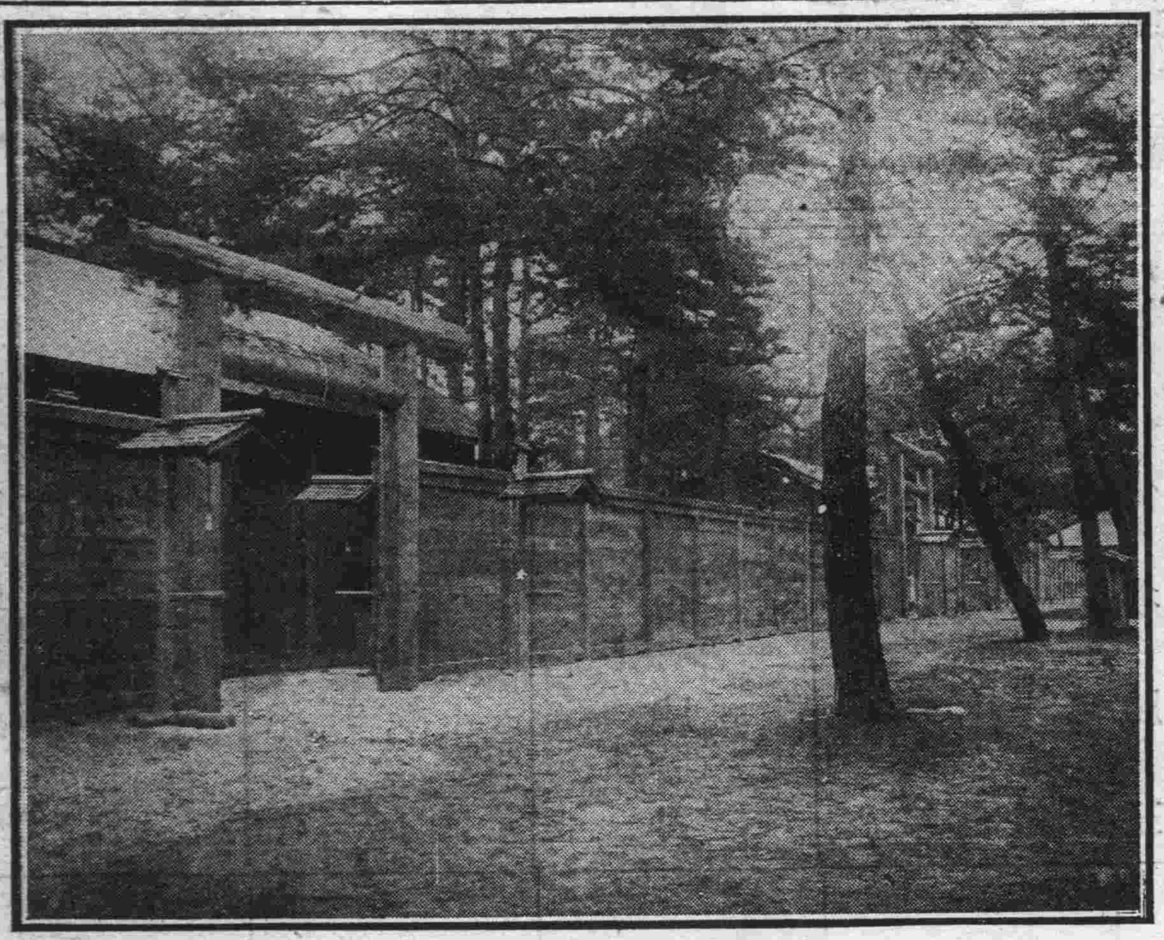
十五日午前二時過ぎとなれば、再び陛下には主基殿に於ての供饌の儀を行はせられる、參列諸員は午前一時頃より先づ參進し、衛門威儀各その本位につき同二時、皇族方御着床と共に御歌所寄人阪正臣氏の詠進した稻春歌は膳舍に始まつて、神饌は調理され、御帳殿庭積の机代物として、主基地方たる京都以西以北各地の產物を積む、天皇陛下には廻立殿に渡御、再び小忌御湯を召して

御祭服に更め

淸淨をつくされた後、九條掌典長祝詞を奏上し終るや、同二時半主基本殿外陣に着御、皇后陛下も續いて帳殿に着御あらせられ、樂官國栖の古風を奏し、次で主基地方長官たる齋藤福岡縣知事樂官を率ゐて參着し、御歌所寄人阪正臣氏の詠進した主基地方風俗歌を奏せしめる。風俗歌終つて皇后陛下入御あらせられ、愈神饌行立は始まる。かくて天皇陛下には畏くも

曉の神饌親供

の事ありて、御拜禮御告文を奏し給ひ、御直會を聞し召され、神饌の撤下行立みな悠紀殿供饌の儀と御同樣に滯りなく、御苑の樹々白み初むる頃御儀を終らせられ廻立殿に還御あらせられるのは未明五時過ぐる頃と承る。この大嘗宮の御儀は夕べの悠紀殿供饌の儀から曉の御儀が終るまで實に十二時間に亘る長時間のもので御親祭の時間だけでも七時間に及ぶのである



◇大嘗宮南板垣御門

奉祝御大典

鞍山之部

避寒靜養之最適地
湯崗子溫泉
料金經費は御申付通り
如何樣にも取計ひます

湯崗子溫泉株式會社 支配人 遠藤武夫

鞍山不動產信託株式會社 電話二〇一六番

南滿洲電氣株式會社 鞍山支店 電話五一三五番

滿洲銀行鞍山支店 電話六七番

正隆銀行鞍山支店 電話一三四番

鞍山 やまき吳服店 電話二一三・三六番

鞍山 大惠商店 電話一二六番

鞍山輸入組合 理事 阪本藤三郎 電話六一番

滿洲土木建築業協會 鞍山支部 電話四番

大石橋之部

大石橋電燈株式會社

中川作次郎
河内由藏
岩井繁守
稻川利一
伊東祐雄
荒井決
七田積
上田錦彌
小林才治

停車場前 梅廼家旅館

驛構内食堂

奉祝御大典

大連民政署高等官一同

安住時太郎

高山勝司

遞信局
日下部鉦次郎
三木卓
中村富士太郎
篠原忠男
代谷勝三

牧田太猪藏
大津瀧藏
泉文三
星武
中原不耀夫

寺田良之助

和田富雄

池田龍雄

野木和一郎

小島鉦太郎

田中知平

武田正吉

早野康治郎
大連市美濃町九拾一番地
電話(長)四二〇七番
材木建築材料商

田中宇市郎

今村貫一

大連市磐城町
田中屋呉服店
電話四八五三番

大連市榮町二番地
大陸窯業株式會社
電話六三九一番

大連市若松町五
大連郊外土地株式會社
電話五八二一番

紙類直輸出入商
大阪市東區南久寶寺町堺筋北入
EH 株式會社 萩原商店
電話(長)(船場)二三五五番
電話(長)(船場)三五六番
(新町)三〇二六番
(新町)一一三番
振替口座大阪一〇九八番
(受信略號)オサカ、ヨオシハギ

大連市監部通五十二番地
株式會社 萩原商店大連出張所
電話(長)三九九七番
受信略語(タイレンハギハラ)
發信略語(ハ)又は(ハギ)

大連市吉野町六七番地
株式會社 大連株式信託會社
株式會社 第二大連株式信託會社
電話八〇八五番

大連市浪速町三丁目
㊂丸三呉服店
電話(六五五四)(八二〇五)番

大連市若狭町一八八
藝術工業看板部
草地有丸
電話三五九九番

輸出入商、石炭採堀、保險代理
株式會社 南昌洋行大連支店
電話(三七四)(八四八八)番

大連市小崗子檜立町
小崗子露天市場事務所
電話三七二四番

大連市浪速町三丁目
藥種賣藥醫科器械
井上誠昌堂
電話(七二六六)(七九八八)番

大連市越後町六
貿易商
澤田組
電話(長)六九九・七〇七〇番

大連市伊勢町
山本運動具店
電話五九七九番

大連市磐城町八九
博多屋本店
電話四四五三番

大連市土佐町二六
諸機械寶庫直輸入
アンドリユウース商會
大連支店
電話八三二〇番

大連市浪速町三丁目
花乃屋本店
電話四九五九・七二〇七番

大連市監部通
タイハンストーブ中國總代理店
大德洋行
電話五七三三番

大連市浪速町三丁目(浪速ヶ隣)
貴金屬時計商
營口近江洋行
電話六六七三番

大連市山縣通二〇〇番地
日本蓄音器商會
大連支店
電話五四一五番

大連信濃町市場組合
電話四七六三番

大連食料品問屋組合員
大谷支店
三星洋行
京和洋行
禰宜田商店
中村商店

星ケ浦公園
星乃家
電話九〇八五番

大連市磐城町二十番地
浪花鮓
電話五六九六・四七七二番
簡易食堂は設備を充分に致しました

魚商
大連市信濃町市場三十三番地
西園商店
電話(代表番號)五一五五番
住宅 西通り八十四番地
電話(長)六四〇番

滿洲日報　ロシヤの近状

田中駐露大使の歸朝談は、勞農ロシヤの近状に就いて、略ぼその眞相を窺知せしむるものあるが如くである。大使は入露以來、久しく任地に在りて、勞農政治の推移を見聞し、親しくロシヤ國民の實生活を視察して居る事情において、到底尋常旅客のロシヤ觀と同一日に談ずべきではない。即ち大使がロシヤおよび其の政治に對して、極めて深切なる觀察を有しながら、同時に現在ロシヤの內政に忙殺せられて居ることを隱さず、忌憚なく勞農政治の實際を傳へたことは、日本人としても、支那人としても、共に傾聽に値ひするものである。

◇

田中大使の談話を約言すれば勞農ロシヤの政治は、特にその經濟政策において、早く行き詰りの憾みがある。就中農民對策に就いては、最も苦心の跡があり、この機に外國に對する方策を振興することは、甚だ覺束ないであらうと云ふのである。勞農政治が經濟政策に行き詰つて居ることは、今日に始まつたことではない。即ち事實を言へばレーニン在世の頃において、既にその理想の破綻を來した事實があるとも言へる。而もロシヤにおける經濟政策の主たるものは、農業政策であり、或は農產物政策である。勞ひ勞農政府はロシヤ農民の生產および分配に關して、常に異常の苦心を拂ひ現に穀物の買上げや、輸出や貯藏や、多く勞農政治家をして、その合理的處理如何に苦惱せしめつゝある模樣がある。

◇

從つて最近勞農政府若しくは共產黨內部の訌爭の如きも、畢竟これ等農業政策乃至農民對策に關する緩急如何の議論に原因するもの多く、或意味においてスターリン氏一派對トロツキー氏一派の爭ひも亦、この問題にからむものと解すべき事情がある。斯くてロシヤの對外活動が聊か衰退の形跡があるのは、當然の結果と觀らるべきであらう。その西歐諸國に對する宣傳運動の如き、英國に對する赤化政策の如き、若しくは中東方面に對する煽動運動の如き、共產黨の活動が著しく氣勢を鈍らして居るのは、爭はれぬところである。田中大使の所謂對外方策に專心する餘裕がないとは、恐らくこれである。

◇

然し更にこの事實に關連して看過し難いことは、共產黨に對する各國急進分子の共鳴が、等しく亦衰退の傾向があることである。これを共產黨自身をして言はしむれば、各國資本家の國際的逆襲に因る結果と解するかも知れぬ。即ち彼等の口調を藉りて言へば、各國の資本家は今や一齊に勞働階級壓迫の方策に出で、到處にその衰勢を挽回して、新たに資本主義の基礎を固むるに努めて居る。然し少くとも共產黨の過激運動が、その勢威を殺がれない以上は、假りに斯くの如き運動を企圖するものがあつても、多く實效はない筈である。既に資本家をして逆襲の機會を捉へしむる間に、共產黨の弱味を暴露せざるを得ないこれ何に原因するか。要するに共產黨に對する共鳴と信仰との衰へでなければならぬ。

◇

而して更にこの事態を鼓譟すれば、共產黨の政治若しくは勞農ロシヤの政治において、漸次その弱點缺點を暴露し、共產主義の妄想が無殘にその實際政治における失敗を著大にし來つた結果とも觀なければならぬ。今や勞農政府は他家に火を放つ餘裕を失して、自家の火事を消し止むべく、如何に焦慮煩悶しつゝあるかを推ひ得ぬものである知らず勞農政治家は如何の鎮火方策に依つて、再び共產主義政治宣傳の機會を捉へ得るか。

露國銀行の金塊回收
隱匿者の一人の申出に對して報酬を與ふ

ソウエート國立銀行が革命當時に隱匿された金塊を回收する一手段として一ケ月前銀行代表者某を哈爾賓に派遣、有利な條件で買取るべく隱匿者を物色中であつたことは當時所報の通りであるが、金塊所有者等は隱匿地點を指示する爲めに入國した本人を禁足し、金塊を沒收されはせぬかと懸念し、容易に應ずるものが無かつたが、最近に至り所有者の一人ニワニツキーなるものが申出た所、ソウエート當局は充分身邊及び報酬支拂を保證したので、その妻を入國せしめクラスノヤルスクの支店員を伴ひ、同地附近に隱匿した金塊五布度十六フントを引渡し、これに對してソウエート當局は約束通り米弗二萬二千弗を支拂つたと（哈爾賓）

白系露人馘首說に東鐵の人心動搖
支那側の態度に注目

イワノフ氏の東鐵管理局長當時に有名な九四號命令を出してソウエートにも入籍せず支那にも歸化せぬ白系露人從業員を一網打盡的に馘首し白系從業員は大恐慌を呈したが長いものには卷かれろの諺の通り支那側幹部に對する運動もその効を奏せず遂に泣き寢入りに終つた、然るに又復從業員の間に馘首するだらうと云ふ噂が立つて人心を動搖させてゐるがこはメリニコフの總領事就任以來ソウエートの對滿政策に轉換を畫したものらしく東鐵幹部の大異動が行はるべしと噂されてゐるので又ソウエート側の白系征伐が開始されるだらうとの憶測に發したものらしく白系露人は支那側の態度をしきりに注目してゐる（ハルビン）

湯玉麟氏が頑張つて熱河問題未解決
張景惠の熱河都統說

前陸軍總長張景惠氏は十一日午後十時半にて吉林より過長、奉天に向つたが毛軍械處長は張作相督辦の代理として長春まで見送つた、張景惠氏の吉林行は如何なる問題のためであつたらうか、傳へられる處によると奉國妥協のデツドロツクとなつた熱河問題の解決は湯玉麟都統が頑として應諾せぬため國民軍側の方振武氏も途中行惱みの狀態となり依然湯都統は熱河を拋棄しないのである、其れがため東三省の易幟問題も根本の妥協策も學生や二、三の教育界の少壯連が南北統一のために鄙を日本に轉嫁して國民黨化に東三省を歸せしめやうとする運動も結局徒勞に終つてゐるのである、で奉天當局としてはこの際湯玉麟氏說服役として張景惠氏を推擧してこの難局に當らしめたのであると言はれて又一說には熱河都統に張景惠氏を就任せしめ奉國の緩和を圖らんとするの模樣であるとも云はれ熱河問題は奉天當局としてもこれが解決に惱まされてゐる（長春）

木田氏の畫を觀る（上）
石森延男

十一月七日、八日、九日の三日にわたつて、木田金次郎氏の個人展覽會が中日文化協會で開かれた、北海道風景が十一枚、渡滿してからの風景畫が八枚、それに牡丹、菊の二枚を合せて二十一枚の作品が、陳列されてあつた。一枚の繪をよく見てゐると、その中から感じられる氣持が、たゞちにその隣りの繪の上に、乘りうつつて行つて、その二枚の繪の間には、切ることのできないものが、つながつてゐる。額緣の隔たりを越えて、額の上に、這つていつて、その二十一枚の作品が皆、お互ひに手をとりあつて、がつしりとした大きな環をこしらへてゐる。その大きな見えざる環は、自然そのまゝの生きた氣息であり暖かき地靈の呼吸である、あの會場のドアーを開いて、一度足を踏み入れた人々は、おのづからこの大きな環——水々しい自然の懷にかき抱かれるであらう。そして、いきなり一地上の子に蘇へつて、わだかまりなく、至純の世界にさまよふであらう。

谷の夏木立がほゝえんでゐる陽を浴びた平和な草叢、春先近い紫の雪、高い丘の背が、ずんぐりと聳えて、天と地とが觸れあふところ、どれ一つとして生きてゐないものはない。

一株の樹木を描くために、その樹の美を味はうとして焦急な鉛筆寫生を何枚も〳〵描きつゞけて、スケツチブツクが二冊ほどにもなるといふ話を、木田氏の知友杉野氏から聞いた、私は「なるほど」と思つた、木田氏が畫家を志しながら、家業の漁夫を離れがたく、櫓を漕ぐ手に綱を握る手に、暇を見出しては自然を鉛筆寫生し時日には、實に十年餘に及んだと、木田氏自らの懷古談である、今日こゝまでに仕上げるにいたつたその精進を聞くだに、すでに尊いものである。

木田氏の繪は一見しては、極めて平凡な構圖であり、不器用な筆致である。色彩とても珍しいものではない、大きさはスケツチ板から三十號ほどのものである、うつかりして見ては、とり逃がしてしまひさうな繪である、けれどもじつと見つめてゐると、その畫面から——カンヴアスの奧底から、陽に輝いた蹄子が浮びでてくるではないか、おごそかな榮光が、照り映えてくるではないか、素朴にして、無垢な作者の魂が、おだやかに話しかけてくるではないか

南米遊記　アマゾン下り（三）
難波勝治

ヴイクトリアの入港したのは七月二十三日、到着を報ずる長短三聲の汽笛を耳にしたとき、私は衷心より躍如として空谷跫音の感にうたれたが、愈〻乘船した二十七日夜イキトスを離留して更に惜別の念に堪へなかつた、幾んど一ケ月間船待ちをした退屈さはそれだけ親い印象を私に與へた、靜かな土地と質朴な市人の應對振りとは、色々な國を巡遊した旅行者の最も

氣易さ

を覺えた所である、さうした感想は午後十時の解纜後も、私をして舷頭に立つて川のうねりに隱れ行く埠頭の火影を飽かず見かへらせた、翌くれば二十八日、朝涼しく晝暑き一日を森の外に咏むべき者のない緩い濁流にひたり行く、實に單調無味な道程である、私はアマゾンに關する二三の旅行記を讀んだが何れも頗るアツケない、又去る友人がアマゾン旅行は新聞屋泣かせだと喝破したのは蓋し至言であらう、イキストで相當退屈させられた私は更に變化のない水鄉の間に幾日かを送らねばならぬ、併しその單調なうちに自然の偉大さが常に心境を壓して言ひ知れぬ禪機を自得せしめる、偶〻異つた景物に出喰すと非常に深い

印象を

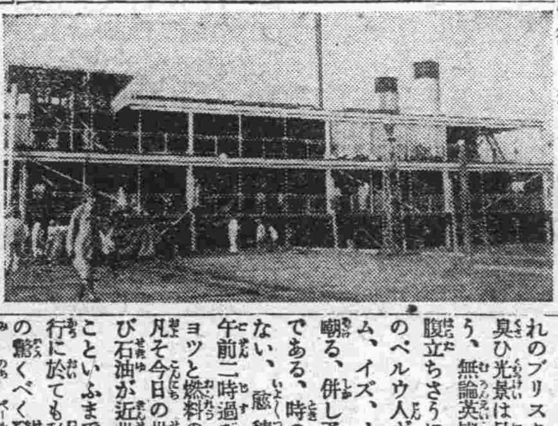
刻みつけられる恰度その日の午後六時サン・パブロに着いたが、それは河幅約三哩といはれる場所の一小島で、國立の癩病患者隔離所がある、此邊に不似合の小綺麗な家屋が河岸に立並んで、數多の人々は待兼ねたやうに船に積まれた物資を荷揚する私は周圍の瀟條たる風景と對照してこの慈善設備の存在を意義深く感じた、チンボテに着いたのは午後九時過ぎ、例に依つて薪を積む爲め河岸近く投錨された、船から見ると僅か數戸の茅椊立ならぶ寒村だが、汽笛を相圖に蓬頭跣足の村民が續々集つて來て山と積まれた薪の運搬をはじめる、それが又却々悠長極まる作業振りで見て居る方が先づ疲れさう、紐育シモンス商會のリオデジヤネロ

出張員

と名乘る英國生れのブリスター君は「コンな辛氣臭ひ光景は日本で見られぬ圖だらう、無論英國でもその通りだ」と腹立ちさうに私にさゝやく、隣室のベルウ人ガイザア君も亦「タイム、イズ、ノツト、マネー」だと嘲る、併しアマゾン人は太平の民である、時の觀念など一向頓着しない、薪積込を了つたのは翌朝午前二時過ぎであつた、此處でチヨツと燃料の說明をして置きたい凡そ今日の世界に於て鐵、石炭及び石油が近世文明の三大要素たることといふまでもないが、此次の旅行に於ても私は先づロサンゼルスの驚くべき發達と石油との關係を見た後、秘露とブラジルとの燃料狀態を通覽するに及んで、今更ながら此等の諸國の過去に於ける進步が鈍かつた

主因を

痛感させられた併し一面から考へるとそれは必ずしも右の原料が埋藏されて居らなかつた爲ではない、現に秘露西部沿岸のパイタ地方には廣汎な石油地帶があり、ロレト州のマラニヨン流域にも同樣の地層があつて、スタンダード會社はそのいづれにも利權を獲得して居る、イキトスのやうな僻地に支店を設けて篤學のバスレイ博士を據ゑ、地理歷史は勿論、地質學上あらゆる資料を自由に蒐集研究させて居るのは、その間博士自身の個人的趣味もあらうが、結局は利益擁護の自衞的遠謀だと評されぬ事もない、少くとも支那に於ける陝西油井採掘問題に酷似する態度だと私は臆斷した（寫眞は川蒸汽船ヴキトリア號）



奉祝御大典

安東有志芳名（五十音順）

安東縣郵便局員一同

安東地方事務所 各係長

安東地方事務所長 粟野俊一

安東警察署長 尾崎三郎

安東地方委員會議長 大津峻

安東縣郵便局長 河野秀雄

河合洋行主 河合芳太郎

安東地方委員 金虎賛

安泰利店主 來栖健助

鴨綠江製材無限公司代表者 式村茂

新羅祐三

安東驛長 白石寅吉

富士瓦斯紡績安東工場長 栖原常三郎

安東商工會議所會頭 高橋貞二

鴨綠江採木公司理事長 內藤確介

安東取引所理事長 中野初太郎

安東地方委員 新美平四郎

星澤研壽

南滿瓦斯會社安東支店長 森正平

滿洲礦山藥株式會社々長 吉家敬造

安東石炭販賣所主任 星澤研壽

鴨綠江採木公司 吉田良繼 大野幸作

安東縣三條通五丁目 鴨綠江製材無限公司

安東縣 料理店組合

南滿洲安東縣 鴨綠江製紙株式會社

滿鮮坑木株式會社

安東縣銀行集會所

日支兩國政府合辦 鴨綠江採木公司

南滿洲電氣株式會社 安東支店

安東縣驛前通四八番地 日之出製材所 日之出製軸匣所 所主 和田賢太郎

安東縣六道溝桃源 滿洲礦山藥株式會社

安東窯業株式會社

安信無盡合資會社 電話四五三、二二六番

國際運輸株式會社 安東支店 支店長 北村文藏

舶來品蓄音器各種 レコード並に附屬品 キユーピー商店 電話五二四番

安東公會堂 食堂部 電話八九三番

安東驛前 安東ホテル 經營主 秋吉次郎（驛構內食堂賣店兼營）

大連汽船株式會社 安東縣支店 支店長 有吉皓作

石炭貿易商 藤平兄弟商會 藤平泰一

安東工友會員（イロハ順）
伊藤晴次郎　高木亮彥　小島鈫一　水間儀之助　久保田淳一郎　佐藤兼三郎　大澤佑行　小西幸美　村木光治　瀧澤鶴吉　中村義清　上野藤吉　古賀論　中森重吉　大村寬藏

御料理 由良之助 電話二三九番 五九二番 主人用 九二番

安義支局 草薙強太郎 池田武男

安東附屬地 商務會

和洋菓子商 横濱堂 電話一三三、七四二番

歐米蓄音器直輸入商 商會支店 電話六四七番

煖房機械商 須田商會 須田武夫

滿鐵會社、關東廳御指定 富久壽美[illegible]館 電話四七番

満洲日報 地方版

哈爾賓

貨車の火災 利用の保險詐欺 驚く程巧みな犯行

去る九月一日哈爾賓發上海に仕向けられた各種婦人用帽子一貨車價格四萬六千九百餘圓が寬城子驛に到着すると共に火災を起し一貨車全燒して烏有に歸した事件に關し東鐵々道警察に於ては怪火の原因につき引續き取調べ中の所意外にも右火災は貨車內に裝置した電氣仕掛けに依て故意に發火せしめたものであることが判明し一味取調べ中の所やうやく終了し去る十日一件書類と共に司法當局の手に引渡したが右犯行は頗る細心の注意を以て行はれたものであると關係者は何れも露人にて彼等は豫め價格四萬六千九百餘圓に對してブリンソネル商會に於て保險に附し發送したがその實四十三箱の內容は古帽子やワラ等にて包裝その他を合算しても百圓に滿たぬものであるが豫め精巧な電氣仕掛の發火裝置を爲し證據物を完全に湮滅し火災と共に右保險會社から保險料を詐取した外東支鐵道に對して損害賠償要求の訴へを起してゐたものであると

松花江結氷 突然のことで 航務局では大狼狽

松花江の航行シーズンは尚數日を殘すものとして目下航行中の船舶は歸航を急いでゐたが突然九日夜から十日朝にかけて哈爾賓附近に薄氷がはり始めたので航務局は大恐慌を呈し直に歸航を早めよとの命令を各船舶に出したが全部歸航し得るかどうか疑問である、例年に比し數日も早く且つ支流の凍結がまだ通報されない今日突然結氷を開始したのは本年が始めてである目下航行中のものは富錦から雜穀を積んで傳馬船四隻を曳いて歸航の途中にある三姓號の外新甸に於て沈沒船引揚に從事してゐる數隻があるが之等は作業を中止して十日歸路についたと

奉天

在住外人主催で 國際奉祝宴 オリエンタルホテルで 十六日夜盛大に擧行

來る十六日の大饗第一日は當奉天に於ても種々の催しあるが中にも當地居住外人は我國曠古の御大典を奉祝する意味に於て各國人一名づゝの主催者をあげ同夜午後六時より千代田通オリエンタルホテルに於て盛大なる國際奉祝宴を催す事となつた。因に當日の會費は金四圓であるが既に出席を申込んで來たもの五十餘名に達した有樣で當日の盛會を今より豫想されてゐる

記念大賣出しの 賣上豫想を突破 十五萬圓以上にのぼる

奉天の御大典記念大賣出しは多大の効果を收めて八日終了したが當初の賣上豫想高十三萬圓を突破し實際賣上高十五萬圓以上にのぼつた、尚支那側に多分の顧客を持つ熊野商會、森洋行の如きは各一萬圓以上の賣上をみた、右は支那側の購買力が旺盛なのと宣傳その宜しきを得たゝめであると、因に景品券の抽籤は十三日午前十時公會堂に於て行ひ十五日付各新聞に發表し十九日景品を引渡す筈であるが一等に當籤して一千三百圓の自動車をとるやらこゝ數日奉天市民の話題の種となつてゐる

十月中の 郵便物激增 爲替貯金も增加

十月中の奉天郵便局取扱郵便物は前年同期に比し通常郵便物が三割五分配達五分小包郵便物引受一割九分配達が三割八分の何れも著しい增加を示してゐる、殊に引揚後であるにも拘らず右の如き激增を來したのは一、人口の增加に伴ふ自然增加二、御大典に係る諸準備のため商品の輸入增加に因るものと認められてゐる、尚爲替貯金の如きも受拂ひとも增加を示してゐると

鮮人銀號に 營業停止 理由は曖昧

十間房第四區居住鮮人姜重遠（こ）が經營してゐる榮福銀號に十一日午後二時頃商埠警察第三分局の王巡官が來たり突然營業停止を命じた、而してその理由は目下同銀號が總領事館と交涉署との係爭問題となつてゐるのでうるさいから營業の停止を命ずると云ふ頗る譯の判らない話であるばかりでなくそんな事實は全然ないので姜重遠は領事館警察に交涉方を願出た

町の便り

▲奉天十間房西本願寺婦人會同仁會では十日御大典記念事業として總領事館監獄の囚人一同に精神修養書九冊價格二十圓を寄贈した
▲滿洲商業新報社奉天支社主催圍碁大會は來る十八日午前九時から沁泉クラブで擧行する筈會費三圓一等は金時計であると
▲自動車事故三件、松島町昭和タクシー運轉手堀田某は十一日午後二時頃北陵からの歸途同所附近で前方から來た張某の乘つた自轉車と衝突擦過傷を負はせたが金十圓で示談
▲同日午後六時頃安全タクシー太田運轉手は小西關孫子堂分駐所前で交通整理の巡警をひつかけ微傷を負はせたが過失が先方にあつたので文句なし
▲同日午後二時頃小西關大通りで千代田通果物商小田洋行のトラックが、荷馬車夫張某をこれも本人の過失から轢き瀕死の重傷を負はせた

人事

▲張煥相氏 十一日午後來奉
▲池上中學堂長 母堂逝去のため歸省中のところ同日午後安奉線で歸奉
▲東京砲兵工科學校留學全支那人十二名同日午後二時四十分發內地へ
▲瀬鎭氏 吉長鐵路局長同日午後十時十分長春へ

鐵嶺

全市に溢るゝ 奉祝の赤誠 歡喜の聲天地に滿つ

曠古の御盛典を迎へた鐵嶺全市は全く歡喜そのものゝ如く前夜までの市街裝飾は完備して明くれば十日全く別世界の如く美しく飾られた鐵嶺の天地は眞に空前の賑はひを呈し行き交ふ人の顏も感激に充ち午前九時を期し齊しく鐵嶺神社の奉祝祭典に參列した朝來氣溫低く零下十三度の嚴寒をも意とせず赤誠の市民は社前に集合嚴かなる奉祝祭典は執行された

奉祝祭典 參列する者百數十名寒風の中に佇立して神職の祝詞玉串奉奠各代表各團體の參拜あり九時三十分にして終る

小學校拜賀式 午前十時より擧行さしもに廣き講堂も兒童と來賓父兄で埋まり列席者の多き事小學校に於ては嘗て見ざるところ、一同起立、最敬禮、御眞影開扉、君ケ代、奉答歌に次いで白髮校長の誨告あり御大典奉祝の歌も朗かに頑是なき小學生徒も今日の佳き日を心から祝して十時四十分終了

領事館拜賀式 十一時より領事館に於て御眞影拜賀式行はれ參列者百餘名婦人會員は五名宛拜賀し冷酒を酌んで終る

養老盃傳達式 正午より警察樓上に於て關東廳管內在住八十歲以上の高齡者に對する養老盃並に酒肴料の傳達式あり拜受者三名何れも老齡に感激の涙を浮べ眞に皇恩の無邊に感ずるものゝ如く謝辭も述べ得ねす程であつた大內署長誨告祝辭に次いで近藤領事森本所長の祝辭あり記念撮映の後茶話會を開き天杯拜受の喜びを共に頌つて午後一時閉式

官民奉祝式 午後一時四十分を期し千餘の市民は手に／＼奉祝旗を携へて社頭に參集列を正して社前に參拜し東南京都の空遙かに拜して默禱を捧げ嚴肅言ふべからざる莊嚴の氣に充ちたる折柄地方事務所屋上のモーターサイレンは朗かに正二時を報じ全市の汽笛又一齊に鳴らされ鐵嶺天地の空氣奉祝氣分を漂はせ近藤奉祝委員長は社頭階段に立つて陛下の萬歲を奉唱するや參列者一同之れに和し遙か京都の空にも響けかしと赤誠溢るゝ萬歲の叫びを擧げ祝盃を擧げて旗行列に移る

奉祝旗行列 參加者一千餘名小學生徒を先頭に奉祝歌を高唱しつゝ豫定の順路を行進す蜿蜒たる列を作つて行進するや光景は誠に壯觀を極めたるが氣溫は十度に昇騰し秋空麗かに晴れて惠まれたる奉祝日和に全市は全く歡喜の聲に滿たされた

關東廳奉祝宴 午後三時三十分より小學校に開宴招待さるゝ者百二十餘名近藤領事開會の辭を述べ陛下の萬歲を三唱一同之れに和し盃を擧げて奉祝し更に關東廳より記念として出席者に贈れる記念盃に滿々と黃金の波を湛はせ邦家の萬歲を三唱して乾盃午後四時散會

領事館天盃傳達式 午後四時三十分より領事館管內在住高齡者に對する養老盃並に酒肴料の傳達式行はれ出席者は八十四歲の木村喜兵（鐵嶺）翁只一人他の七名は何れも遠隔地在住なるを以て鮮人民會理事梁氏代理拜受して午後五時散會した

領事館奉祝宴 午後七時より公會堂に於て開宴場內裝飾頗る美しく彩色の電燈は眩きばかり出席者二百餘名鐵嶺日支有力者は勿論開原日支官民も招待され近藤領事の開會辭松井旅團長川崎開原地方事務所長李鐵嶺縣知事の奉祝謝辭あり美妓の酒間斡旋餘興等あり盛會裡に散會した

不夜城の市街 夜間の市中裝飾は一層美しく各町の奉祝提灯には悉く灯を入れ松島町の綠門電燈局の奉祝門美しく裝ひされて鐵嶺全市全く不夜城の觀あり斯くて奉祝氣分漲れる鐵嶺市中の十日は暮れた

立錐の餘地もない 御大典映畫會 入場者の記錄を破る

本社が多大の犧牲と努力を拂つて逸早く在滿邦人に御大典御盛儀の實況を拜觀せしめんとした計畫は鐵嶺市民にも非常な歡喜を以て迎へられ公開謹寫の日たる十二日を鶴首されてゐたが當日となるや御大典奉祝餘興委員も特に總ての準備を中止し本社の爲め多大の便宜を與へられ道具方は全部映寫の準備に配置し會場の設備遺憾なく整ひ午後零時二十分中井社員の寫眞一行の到着するや直に會場に馳せつけ正一時本多支局長開會辭を述べ謹寫公開に移る、白玉山招魂祭實況一卷、少年團キャンプ生活實況一卷、東宮としての聖上陛下歐洲御視察三卷を終り愈御大典映畫の謹寫となるや滿場割るゝばかりの喝采に迎へられ東京御發輦より名古屋離宮御着發の第一報更に鳳輦賢所の巡幸等第二報を謹寫し二時半閉會したるが拜觀者は兒童五百名を始めとして大人三百餘名知名士の顏も頗る多く階上階下文字通りの立錐の餘地なく遂には舞臺裏にまで多數の拜觀者を收容し奉祝餘興か市民興味の中心となつてゐるが餘興以上に入場者殺到し公會堂收容人員の最高記錄を示した

鐵法自動車 十二日より開始

鐵嶺法庫門間に冬期交通機關として重寶がられてゐる鐵法自動車は今年も十二日より開始され旅客荷物の輸送を開始した

公主嶺

至尊の御影を 新聞から切り拔かせる 公主嶺小學校の試み

公主嶺小學校では兒童自治會の問題として今後祝祭日其他の場合新聞紙に奉掲される至尊の御影其他に就いては讀了後父母の許可を得て兒童自身之を切拔き學校に持參することに申し合せたと、一般讀了後の新聞紙の處置に就ては隨分不體裁な方面に利用するため**御影**奉掲の新聞等につき不敬に亘る事實を耳にすることが少くなく教育上は勿論土地柄として色々な意味に於てかゝる事は甚だ遺憾に堪へず殊に今次御大典の行はせらる前後に於ては特に新聞其他に掲げ奉らす折りも多くかゝる場合はお互ひに讀了後特別の場合を除く外その個所だけは必ず切拔くことを勵行し其後如何なる都合で新聞紙が手許から散逸することがあつても決して前記の遺憾事を生ずる**懼れ**なきやうにしたもので兒童訓育上御卽位の大禮を行はせらるゝ今回の機會を利用し之を記念として永く後永續して一層皇室尊崇の念を涵養せしむる企てとして一般の協力を仰ぎたい意志に外ならぬのである

御大典奉祝 第一日を終る

美裝せる公主嶺市街の南北共奉祝氣分に滿ちた十日の午後一時秋晴れの青空に轟き渡る三發の花火に滿鐵社員と市民は公園神社に參集軍隊官衙諸學校は各別に奉賀式を擧行二時我大八洲に興業上る日の光を遙かに仰ぎ地方事務所長猪田氏の**發聲**に天皇陛下の萬歲を三唱退出關東長官奉祝の招宴は公會堂に開かれ會場の裝飾は內外共警官の手になり美觀を極めた招待された多數官民の席定まるや警察署長青木氏は祝辭を終り同氏の發聲に天皇陛下の萬歲を三唱盛宴を張り三時過ぎ閉會五時より小學校で開催した兒童學藝會は各演藝を通じ頗る好評を博し各方面とも和悅一致至誠を披瀝し奉祝した點燈後の夜景は中央大街に**裝置**の奉祝燈の大アーチと各戶の軒燈及び電燈飾社のイルミネーションは飾りの造紅白の幔幕等に映じ火の海と化し各所に祝宴の歡聲あがり遺憾なく祝意を表した

前田校長消息

前田第一小學校長は來る十六日より約一ケ月間の豫定を以て內地教育視察をなし、途中教育者大會に列席し鄕里金澤に立ちより歸任する筈

熊岳城

假裝行列で賑ふ 一般支那人も多數參加 やんや／＼の奉祝第二日

御大典奉祝の第二日當地に於ては奉祝旗行列及び假裝行列が行はれたが小學校兒童の音樂隊を先頭に本社御大典奉祝行進歌を吹奏しつゝ元氣溢るゝ兒童の歌に一般參列者も聲高らかに合せた、次は喜びを俱にして參加した公學堂生徒**女子**學校生徒それに續いて三十餘名の農事實習生及び二十名餘の各所選出の假裝行列は奇想天外に走るものあり一層景氣を添へた、商務會の高脚踊の節面白く囃立てるあり、やんやの人氣に小旗手に手に萬歲を唱ふる附屬地一般支那人の參加者もまた多數にて殿を司つた溫泉ホテルの三齋大師は車上にどつかり構へて萬歲旗のひるがへるも見られた、かくて蜿蜒十餘町長蛇のうねりはどこまでも續いた而して小學校庭を出て**町內**宿舍街を廻つた行列は午後三時近く漸く熊岳城神社境內に到着神前に萬歲を唱へ假裝行列の記念撮影をなし茲に全く解散した、因に本日の假裝行列第一等賞は磨大師（中尾）二等賞西鄕隆盛（農事實習）三等虛無僧（西尾）で此外二、三の秀逸があつた

瓦房店

高脚隊も出て 奉祝第二日賑ふ 夜に入つては提灯行列

十一日は前日よりもよく晴れ渡り殊に當日は山車があると云ふので朝より奉祝氣分漲りやがて午後一時と云ふに機關區保線區地方事務所驛市民側並に工友會等の山車は夫々特殊の意匠をこらして次々と練り廻り又支那人に依りて組織された例の高脚一隊は妙な手振り足取にて鐵太鼓を敲きながら之に加はり市中は**宛然こ**して湧き返る樣だつたやがて午後五時より提灯行列となり各自奉祝氣分で驛前廣場に集合し奉祝の二字を記せる角高張を先頭に學校生徒各所屬團體の山車は蜿蜒として相續き先東街より神社に詣でそれより新市街に入り運動場にて休憩の上再び驛前に引返し七時半頃萬歲聲裡に散會

ると

撫順

炭礦視察者は 教育方面の人が多い

撫順炭礦は年々擴張されて各種事業が增加して來るので、炭礦視察者が近年著しく增加して、本年度は五月以降の時局問題があつて久しく喧しかつたのに拘らず、今日迄尚一萬四五、千人の觀察者があつて、非常な盛んなものである、本月に入つてから御大典などの關係で、內地からの視察者は減つて來たが尚月末までには各方面の團體旅行者や、個人觀察者が多少あるので、之れが案內方面の人は相當忙しい、最近の團體は矢張り教育方面の人々が一番多く、學生團の如きは殆ど全國的に來覽してゐる樣で、而もそれ等の人々が尨大なる露天掘を見ては驚かないものがないと云ふほどである、更に實業家、青年團等の諸團體が大分多く政治家、官吏、軍人等も以前に比較して著しくその數が增えて來てゐる、殊に注目すべきはオイルセイル工業が世間に問題される樣になつてから、此の方面の研究者が多く、最近は特に此の傾向があるので、その量に於て獨り增加したのみならず、質に於ても大變向上して來てゐるのである

町のうはさ

流石に礦山祭はメートルが上つた、少し寒かつたが酒の加減で夜遲くまで屋臺も動けば、鄕土自慢ではないが鹿兒島の棒踊りと熊本の古武士姿の町廻りなどは異彩を放つて居た
▲神社が綺麗になつて申分ないが煖房が通つて居らず、風が吹きさらすので、却々寒い、それに新築間もないことゝて非常に冷えるこれから先づ案ぜられると參列者が言つて居る
▲十六日の地方饗饌にあづかるものは撫順では百六十餘名である、無位無冠にして參列の光榮に浴するものは僅に四名、その他悉くは位階勳等によつて招待されるのであつて、勞務係の保衛手が非常に多いそうだ

大石橋

行列づくめで 賑つた大石橋 旗と提灯とで埋まる

御大禮第一日の十日午前十時神社では市民多數參列の上嚴肅極まる奉告奉祝祭を執行し十一時終了獨立守備隊では午前十一時奉祝式を擧げ午後一時半學校で拜賀式があり午後二時から公園神社下遙拜場で官民合同の**奉祝式**を擧げ中川委員長朝見式に賜りたる勅語並に軍人に賜りたる勅語を捧讀し畢つて午後二時機關區の一齊の號笛を合圖に委員長天皇陛下萬歲を奉唱すれば諸員一齊に聖上の萬歲を奉唱して皇祚の無窮を祈り同時刻警察署では關東廳の指令により署內に奉祝式を擧げ午後三時から公會堂で木下長官の祝宴があり百二十名の參席者杯を擧げて祝意を表し午後六時からは小學校々庭に集合し奉祝提灯行列行進を初め紅旗街より神社前、滿倉、停車場前、日支境界より軍隊前、病院橫を通つて**校庭に**踊り萬歲齊唱の後午後九時散會した、尚十一日午後一時同じく校庭より同道順を旗行列行進同所に踊り河內副委員長の發聲で萬歲を齊唱して散會したが兩日共參會者實に千二百人人口二千人中かくも多數參會者のあつた事は未曾有のことである

長春

領事館の奉祝宴 四平街方面からも參列

十日午後六時から開宴された領事館の祝賀宴には四平街方面の知名士を加へて二百五十餘名の多數で永井領事は開宴に先立「天皇陛下に置かせられましては千四百有餘年平安の舊都紫宸殿に於て御卽位の大禮を擧げさせ給ひ金甌無缺此に二千五百八十八年益々いや榮え行くこの佳辰に當り滿洲の一角にありてこの盛典の御代に逢ふ誠に感慨に堪えない次第で抃舞措く處を知らず玆に盃を擧げて陛下の萬歲を三唱したい」と一同萬歲を三唱し和氣靄々裡に七時半散會した

御大典映畫 實況謹寫

本社主催御大典實況謹寫映畫の第一報及二報は十一日午後六時公會堂に無料公開軍隊學生其他の拜觀者は定刻前より押かけ場內立錐の餘地なき滿員の盛況を呈し小兒に至るまで謹肅に拜觀七時三十分閉會した

御大典映畫 第三報公開 午後一時半から

▲我社の御大典映畫は目下各地に於て謹寫されつゝあり曠古の御大典の盛儀は敏速なる我社の映畫によつてまのあたり拜觀するの光榮に多大の感激を我愛讀者に與へつゝあるが來る十四日午後一時半から陛下の帝都宮城御發輦から名古屋城御駐輦、京都の光景即ち第一報より第三報に至る全三卷を長春座にて公開することになつた第一及第二報は既に十一日長春高等女學校講堂にて公開したものであるが尚多數の人々の觀覽に供するため特に謹寫することにしたのである

警察軍捷つ 柔道段外優勝旗爭覇戰

滿鐵柔道部主催の柔道段外優勝旗爭覇戰は十一日午前十時からクラブに於て會長永井領事列席し末永商業教師及警察側教師の審判にて開催されたが最後の決戰に商業A對警察Aの爭覇となり商業軍は二對二にて老朽なる警察軍のため破られ優勝旗は警察A軍に歸した其戰績の狀況は左の如くである（×は引分 ○勝）

商業A—○聯合軍
警察A○—商業B
警察B○—商業C
之れより敗軍の抽籤あり商業Aが再び陣頭に立ち
商業A○—聯合軍
警察C○—警察B
と肉迫し優勝戰に入り
商業軍 西村—×—警察A 石山
去田 ○佐々木
宮本—×—平野
中島 ○門脇
○去田—×—馬場

人事

▲釘宮國際支店長 公主嶺十二日往復
▲奉軍の新募兵二百名 奉天へ十三日輸送

安東

渡船の航行不能 鴨綠江愈よ結氷す

上流慈城郡地方は數日前から氣溫急降し鴨綠江は九日以來流氷を始めたが十日に至り流氷甚だしく渡船の航行不可能となり江岸約三尺幅の結氷を見た、それがため碇泊中のプロペラー船は上航を見合す事になつた

在鄕軍人の 表彰者 賞狀を授與する

鷄冠山在鄕軍人分會員は多年の功勞に依り今回帝國在鄕軍人會長一戶大將より模範會員として表彰せられ賞狀を授與されたがその氏名は次の如くである

步兵特務曹長 林繁司
同軍曹 佐藤大治
騎兵軍曹 中里丈夫
步兵上等兵 山元鐵夫
同一等卒 今井博幸
同 米村運藏
同二等卒 中村清志

減刑の恩典に 浴するもの 目下詮議中

聖恩は宏大無邊罪の子に迄及び安東領事館裁判所內に於て現に刑の執行中の者執行猶豫中のもの又十一月九日まで判決確定せるものを合して約百五六十名中五、六十名が減刑の恩典に浴する模樣で當局は目下慎重に詮議中であると

平安北道の 地方賜饌者

平安北道に於て十六日大饗宴第一日當日に地方賜饌の榮に浴するものは八百五十六名である

東京市神田區明神下
實効散 本舖 師岡天然堂
電話下谷二三六番 振替東京一三七二番

カゼネツに 實効散（じつかうさん）
感冒 解熱 特効薬

僞物あり師岡の實効散に御注意！

惡感がしたり 頭痛がしたり 熱があつたら

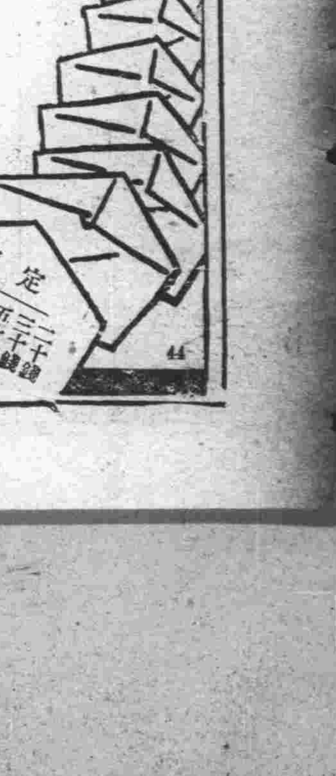
直ぐに實効散を一服のんでお就寢下さい 一晩の中に惡熱がとれて氣持ちよく回復致します 全く風邪は初期の手當が一番肝腎です

少しでも……

秋から冬へかけて 兎角氣候の變り目には風邪を引き易いものです 分けて今年は夏から氣候が不順で溫度の差が激しく 特に汗の後や寢冷等に氣をつけて風邪を引かぬ樣に注意せねばなりません 昔から風邪は萬病の基と云はれて 風邪から 肺炎や肋膜や氣管支加答兒等になり勝ちで お輕い中のお手當が一番肝腎です

感冒の御用心に 師岡の實効散を

秋から 冬へ！



東京美容研究所長 小口美知子女史の研究

色白くない方の

家庭化粧には鷺色、黄色、桃色など地肌を自然に白く見せる色素をたくみに應用した、新肌色水白粉が一番良いのです殊に部分的に

▲淺黒き方▲シミある方▲濃い色の方▲ソバカス▲脂肪過多▲ハタケ▲寝汗過多▲小皺のある方は

美白化の素『L10番』應用の新肌色水白粉、美容整肌液を常用しお化粧は地肌からの白に見せ、地肌の色を知らぬ間に漂白化するに限ります

肌白からぬ女性方の悦

よい 新肌色水白粉と美容整肌液

東京美容研究所創作

▲アブラ性用 新肌色水白粉 マスター百番 / ソバカス用 美容液 マスター十番 / マスター五十番

▲アレ性用 新肌色水白粉 / 肌ヨワ 美容液 マスター三百番 / マスター三十番

J，2，

アレを治し
◆粉化粧下
◆髯ソリ後に

第一等

△有害菌の侵入を防ぐ
△美白素發生クリーム

マスター200番 バニシングクリーム

小口女史最近發見の美白化の素『L10番』をクリームに應用することを研究完成しました、このクリームを肌にスリ込ますると、極く緩和に美白素が發生しまして比類なき美白化力とクリームの効力を發揮いたします。

マスター二百番がこれでございます

マスター協定價
十番 七十錢 / 三十番 七十錢 / 五十番 壹圓 / 九十番 五十五錢 / 二九番 四十錢 / 三九番 六十錢

▲全國百貨店、藥店化粧品店に有

お嫁入のお仕度店

箪笥、鏡台專門、新古品の交換及び不用品買受けを致します。

日陰町 遊藥館裏
川崎商店
電話七九五六番
振替大連一四二七

寫眞器械ト材料ナラ良品ヲ安ク御願ヒスル弊店デ是非御求メ下サイ

大連市大山通（正隆銀行前）
櫻諧洋行

ゼンソク 百日ゼキも恐るゝに足らず

セキならキット治して見せる

參天セキ藥

參天セキ藥は、各病院や醫院で盛んに賞用されてゐる鎭咳祛痰新藥「サンロイド」根本の成立を等しくする家庭藥です　ヨクキク事は申す迄もありません

感冒、咽喉カタル、氣管支カタル、肺炎、肋膜炎、肺病、百日ゼキ、ゼンソク等のどんな頑固なセキも止め、ひどいタンも切り、堅嗄れも忽ち治します

總てセキの出る病は、セキの出る度に身体を疲らせ、益々病を重くしますからヨクキクセキ藥を服んで早くセキを治す事が、一番急ぐ手當です死病と云はれる肺病も、セキの手當が早く行届き、身体の衰弱を防ぐ事が出來れば、立派に治るではありませんか

三十錢（二日分）　五十錢（四日分）
壹圓（九日分）　參圓（卅日分）

各藥店に有、直接注文は郵券代用にて可
前金送料各二錢宛（但し參圓の分は四錢）

「サンロイド」に就て、權威ある多數臨床醫家の實驗報告書及び説明書を御申越次第送呈します　なほ、醫學博士小田俊三先生の著「呼吸器病と咳嗽及び咯痰の話」（全一冊）を御希望の方に無代で差上ます

大阪北濱二丁目
參天堂株式會社

150

保 險

明治火災保險株式會社　千代田火災保險株式會社
東京火災保險株式會社　東京海上火災保險株式會社
日本火災保險株式會社　神戸海上運送火災保險株式會社
共同火災保險株式會社　大阪海上火災保險株式會社
横濱火災海上保險株式會社　大正海上火災保險株式會社

火災海上運送保險代理店

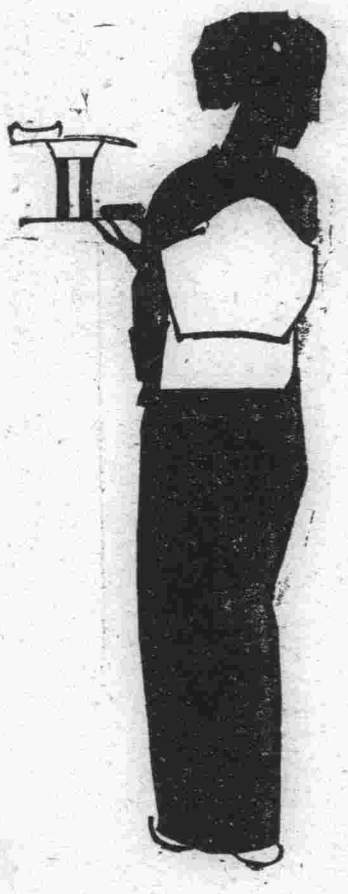
三井物産株式會社 大連支店

大連市山縣通一八二地番
電話代表番號七一〇一番

タバコのみの

歯磨スモカ

『歯が黒くも構はん』俺は『お前の歯の黄ないが好かん』俺とご別個の俺でござますか知ら？



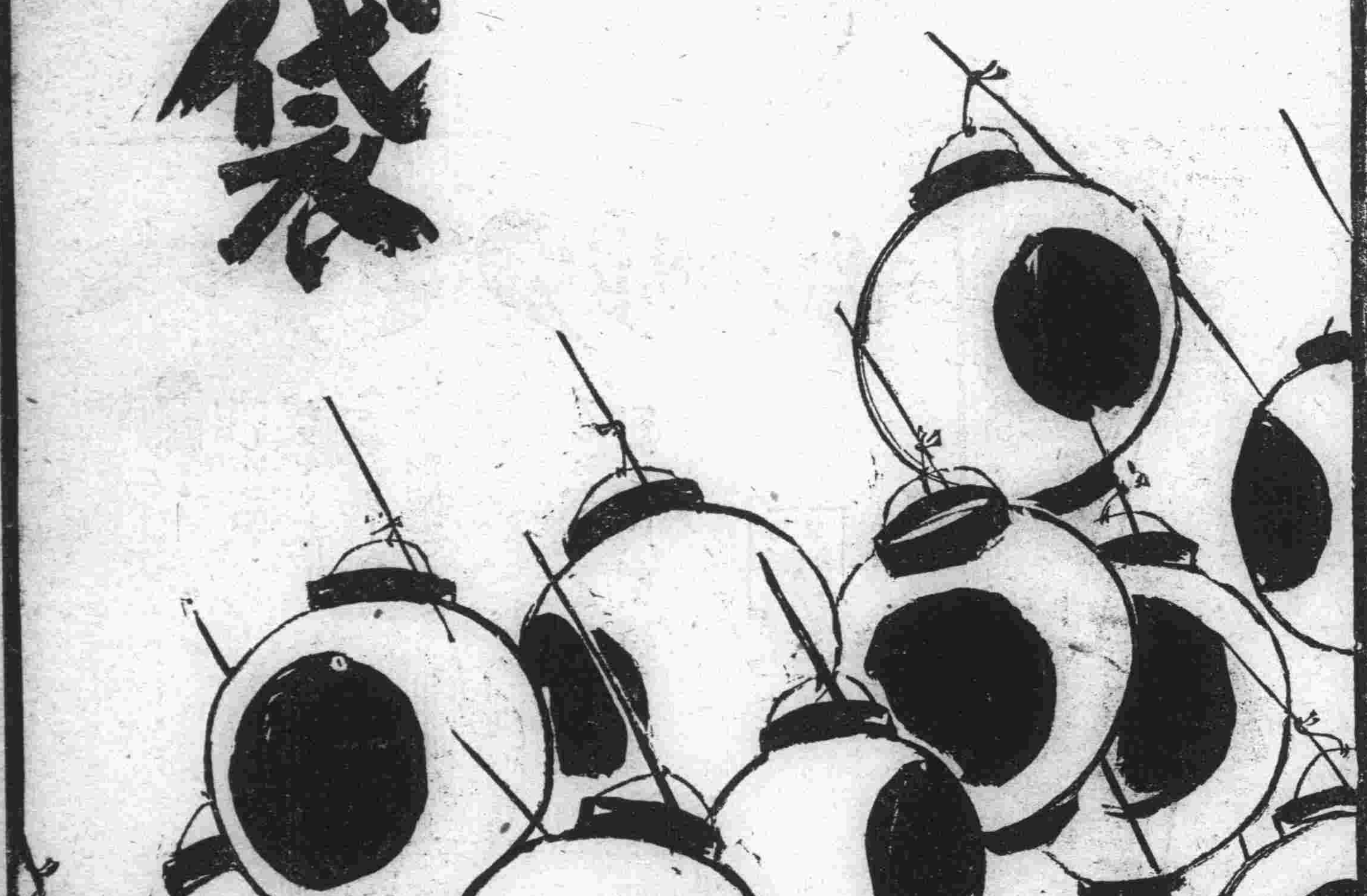
煙草 化粧品 藥店ニアリ定價三十七錢

233

昭和の大典を祝ふ人々の足許に揃つて……

穿く身になつて作る

福助足袋



お徳用な
家庭足袋

コドモページ

我等の旗。。。日の丸物語(一)

日の丸の旗はどうして出來たか

今日此の頃は、國を擧げての御大典でどこもかしこも勇ましい日の丸の旗で美しくかざられてゐます。日の丸の旗は申すまでもなく我日本の國のしるしでありまして、見るからに氣もちのよい旗です。

白地に赤く
日の丸そめて
あゝ美しや
日本の旗は

朝日ののぼる
いきほひ見せて
あゝ勇ましや
日本の旗は

この歌は皆さんのよく知つてゐる尋常一年生の唱歌にある歌ですが、日本の旗の美しく勇ましいことをよくあらはしてゐます

＝日の丸＝ の旗の立派なことを歌つた唱歌はこの外にもいくらもあります。

それから國語讀本十一の卷の第十三課に國旗の事が書かれてゐますが、その一節に

「雪白の地に紅の日の丸をゑがける我國の國旗は最もよく我國號にかなひ皇威の發揚國運の隆昌さながら旭日昇天の勢ひあるを思はしむ、更に思へば白地は我國民の純正潔白なる性質を示し、日の丸は熱烈燃ゆるが如き愛國の至誠を表すものといふべきか」

と日の丸の旗の立派なことが書かれてあります。このやうに日の丸の旗の

＝美しく＝ 立派であることは皆さんはよく御存じですが、さて此の旗がいつ頃から誰の手でどのやうにして出來たか御存じの方はまことに少いでせう。それで此のおめでたい御大典の機會に、日の丸の旗がどうして出來たかを少しばかりお話しいたしませう。

×

それは丁度德川幕府の末でありました。我國はその頃からボツボツ海外の諸國と通商をするやうになり、日本の港に外國の船を見るやうになりましたが、どの外國の船を見ましてもマストの上には夫々其の

＝國々の＝ 旗じるしを立てゝ居りました。ところが我國には諸大名の旗じるしはあつても國を代表する旗といふものは何もありませんでした。外國の船は其の旗さへ見れば「はゝあ、あれはオランダの船だナ」「うん、あれはアメリカの船だぞ」などとすぐわかるのですが、その頃日本の船につけてゐた旗は薩摩だとか、長州だとか土佐だとか夫々藩によつて旗じるしがまちまちですから外國の方ではどの船が日本の船かさつぱりわかりません。ところが其の時分

＝海軍が＝ 一番立派に出來てゐた薩摩の藩主島津齊彬公が日本の國に國旗の無いのをたいへん心配してまづ水戸の烈公へ相談をいたしました。しかし二人ともどうもよい考へが浮んで來ない。それからこの話が松平春嶽侯に傳はり佐賀の鍋島侯に移つて行きましたが誰一人としてうまい考へが出來ません。

「德川家の三つ葉葵はどうだらう」といふ話も出ましたが、齊彬公は

「我國は德川家の國ではない、上には一天萬乘の君が在すのだ德川家のしるしを日本の國のしるしとするなどはもつての外だ」と大いに反對しました。ところが「それでは皇室の御紋章である菊又は桐はどうであらう」といふ者もありましたが「菊や桐は皇室の御紋章であるから臣民までが之を旗じるしとして用ひることは出來ない」と言つて贊成する者がありません。さあそれからあれはどうだこれはどうだと、いろ／＼の意見が出ましたが一つとして皆の氣に入つたのがありません。

齊彬公は晝も夜も一生懸命になつて旗じるしのことばかり考へて居ましたが、或夜便所に入つて居た時にふとよい考へが頭に浮んで來たので、大急ぎで便所から飛び出し驚く小姓に目もくれず自分の室に入るとしきりに

＝國旗の＝ ことについて何かを書きしるしました。

このやうにして薩摩の藩主島津齊彬公から「日本の國旗は日の丸が最もよいと思ふが各方は何と思召される」と言つた調子に話が持ち出されました。すると水戸の烈公も松平侯も、

「うん、それがいゝ」と大贊成

そこで齊彬公は安政元年七月十一日に、焼きつくやうな夏の日の中を登城して其の時の老中阿部伊勢守正弘に逢つて

「時に阿部殿、此の度拙者は日本の國旗として日の丸の旗を考へ出し水戸の烈公や松平侯にも相談したところがいづれも大贊成であつたが如何でござらうな」と相談を持ちかけました。阿部伊勢守は

「成程御尤もでござる、夫には拙者も至極贊成でござるが…」と言つたがどうも返事が煮え切らない。だん／＼つめよると

「實は、私の紋どころは黑丸を用ひて居るので、もし日本の旗を日の丸にしたならば、世間の人々から阿部は老中の職にあるのを幸ひにして自分の紋どころを日本の國の旗じるしにした、まことに不都合な奴だと言はれるかも知れない、若し外によい考へがあれば別のにかへてもらひたい」といふ話。これを聞いた齊彬公は顔色を變へて

「何あに、そんなことは下らぬ事だ、旗じるしのことは國家の重大なことである、貴殿が困るとか困らぬとかいふことは此の際口にすべきでは御座るまい」と怒鳴り立てました。齊彬公の鼻息が中々荒いので伊勢守も「それでは」といふので贊成をし、こゝに日本の總じるしは日の丸といふことにきまりました。そして直にこの事を下々へ知らせたのでありました。

日本の日の丸の國旗は實にこのやうにして生れ出たのでした。

兒童科學

長生きだつた 大昔の人々

それはほんたうでせうか

昔のことを書いた古い書物を讀んで見ると、昔の人は今の人にくらべてずいぶん長生きだつたやうに思はれます。日本で一番古いと言はれる記錄を見ると二百年も三百年も生きてゐた人があるやうですが、それは恐らくほんたうのことではないでせう

これらの記錄を讀むに當つて私達の先づ考へなければならないことは昔の人が時といふものをはつきり知つてゐたかどうかといふことです。

恐らく 昔の人々には一ケ月がどれだけのものか一年がどれ位の長さのものか知らなかつたでせう。申すまでもなく暦などといふものはありませんでした。從つて時の計り方の標準がめちやくちやですから昔の人が長生きをしたといつてもそれはあてになりません。そこで今、百年も二百年も前の人の壽命と現代の人々の壽命とを比べて見ると現在の人々の方が遙かに壽命の長いことは爭はれないことです。そのわけは、だん／＼

醫學が 進歩して昔治らなかつた病氣も立派に治るやうになり、病氣の豫防法などもいろ／＼と研究され、それと同時に一般の人々が衞生に氣をつけるやうになつたからです。

朝日

伏見臺小學校三年 東節夫

朝日がさした
もうよは明けた
いそぐとろつこの
すぐそのあとを
いそぐ自てん車、
りんりんりん
朝日がさした
お汽車はいそぐ
けむりをはいてごと／＼いそぐ
犬が朝日見て
「ワン」とないた
となりのおぢさん
ねぼけたかほで
朝日見ながら大あくび

大連羽衣女學院の 第一回學藝會

十五日同校新講堂で

大連羽衣女學院では明十五日午前十時から次のやうなプログラムにより第一回の學藝會を開きます。

午前の部

一、校歌合唱　全校
二、開會の辭　司會者
三、同情（修身）一年　山中久子
四、難破船（朗讀）一年　毛利喜代子
五、律動遊戲（體操）一年　照沼、下村、川崎、影山
六、紅葉について（理科）一年　平川アヤ子
七、對話（英語）一年　神野、魚住、松林、伊佐、豐浦、出口
八、豐年祭、寒山寺、平和の日本（合唱）一年　全體
九、山内一豐の妻（歷史）二年　雁子久枝
十、習字　一年　毛利、山本靜、松永、魚住
十一、圖畫　二年　山崎、尾形、山本
十二、英詩暗誦　二年　津田、木塚、久保、來村、小池、佐々木、市橋
十三、オバーゼヤ（ダンス）二年　鳴田、河原、磯野、松本
十四、ゴタムの市民（劇）一年　十四五名

午後の部

一、舊友舊時（二部合唱）我が行く道（三部合唱）二年　全體
二、逆境に克て（修身）二年　風口一枝
三、ほとゝぎす（朗讀）二年　深町君枝
四、里心（遊戲）一年　十名
五、ドウ、ユア、ベスト（英詩）一年　士多、清野、星野
六、和氣廣蟲（歷史）一年　松永順子
七、濱邊の歌（獨唱）二年　遠藤くみ子
八、對話（英話）二年　數名
九、習字　二年　津田、山本、山崎、峰藤
十、圖畫　一年　山本、駒淵、松永、幸
十一、ユナイト（ダンス）二年　玉置、日吉、太田、渡邊、名張
十二、或日のダンテ（劇）二年　筒井、日吉、玉置、古館、矢次、島田
十三、油谷（仕舞）二年　藤崎八重子
　　六浦（同）二年　深町君枝
　　七騎落（同）二年　山崎たみゑ
十四、閉會の辭

搖籃の歌(下)

人文學院 中澤惠子

「靜かにしろ、此れが見えねえのか？」

其處には鋭い光を帶る鉈が冷たい色に輝いて居た。女は恐怖にがた／＼慄へながら、それでもしつかと赤兒の上に覆ひかぶさつて、赤兒の上には何の危險もおそひかゝらぬ樣にかばつた。其の樣子を上から、見下しながら、男はおさへつけるやうな聲で言つた。

「おい、金を出せ」

女は慄へながら、夫の不在で金は今無い事をつげた。賊は舌打ちしながら、

「ぢや、飯だ／＼。飯を出せ、飯はない事は無いだらう」

女は小刻みに慄へる身體を强ひておさへながら、土間に下り立つた。

其間賊は其處ら中にある物を取つて、くゝり始めた。そして赤兒の寢て居る蒲團に目をつけるや、無法にも赤兒をほうり出して、其の蒲團もくゝりこんだ。赤兒は安眠を破られて、火のつく樣に泣き出した。女は狂氣の樣な目の解らぬ叫聲を上げて土間から飛び上ると、急いで赤兒をだき上げた。そしておろ／＼聲を出しながら

「おゝ、よし／＼。おゝよしよし。泣くんぢやないよ、泣くんぢやないよ」

とすかし始めた。赤兒は仲々泣きやまぬ。

「チエツ！」

舌打ちすると男は土間へおりて、おひつを抱へて來ると、飯を手づかみで喰ひ出した。女はもう賊の事は眼中になくなつた樣に赤兒をなだめるのに一心になりゆすぶり／＼子守歌を歌ひ出した。

ねんねんよう
おころりよう
坊やは好い子だ
ねんねしな

赤兒の泣き聲は次第におさまつて來た。

賊はじいつと其歌を頭を垂れて聞いて居た。聞いて居る内、何かしら荒れすさんだ心の中が靜まり返つて、和んで來る樣な氣持がしだして來た。そうしてとうとう、其の子守歌になつかしい自分の幼時を思ひ出したのである。

暖かい陽が斜めに木立を通して緣を照し出して居る、そして彼は母親の膝にだかれながら、母親のあつぼつたい唇から出る子守歌にうつとりと瞳をとじて聞きとれて居た。

男の目からは淚がとめどもなく流れ出した。

「あ！あの頃の俺は純な者だつた。其れを都へあこがれて、村を飛び出したばツかりに、こんな淺間しい境涯に身を落してしまつて……、今おツ母さんはどうして暮してゐるだらう、俺はおツ母さんにすまない。さうだ。

俺はおつかさんの許へ歸るんださうしてみんな新しく、やりなほさう」

狂つた犬の樣に窓から飛び出すと男は暗闇の十字路へ影を消して行つた。

其の後からあやまれる者を正道にみちびき返す强さを持つた母親の歌が靜かに／＼闇の中にひゞいて行つた。

風邪

追々寒さに向つてまゐります風邪は種々な餘病を併發致しますからこれに罹らぬよう平素から榮養を補給し抵抗力を充實するのが最も要を得たる豫防法であります。

唯一の榮養劑

理研ヴィタミンAは抵抗力を增進し新陳代謝を敏活ならしめ、諸機能の生活力を旺盛にす

即ち之れが常用は身體を根本より健康に導くものなり

腺病質の人々には殊に緊要とす

定價
四十球入 金二圓
百球入 金五圓
五百球入 金二十二圓
千球入 金四十三圓

類似品あり お求めの際は必らず「理研ヴィタミンA」と御指定下さい

說明書(文献)進呈

發賣元 理化學興業株式會社 東京・本郷・駒込

純國產

ヘチマクリーム

幸福！
美しいお肌！
かゞやくお顔！
ヘチマクリームの愛用者こそ！

アレを止め
粉おしろい下に最適！

定價 大瓶七十五錢 中瓶五十錢 小瓶三十錢

本舗 天野源七 日本橋横山町

自轉車界の權威

A號ナイト
B號ナイト
ケンネット號
キット號
ベーリス號

大連山縣通 田村商會本店 電話三九〇七、六二五二番
支店 旅順乃木町 電五一〇番 沙河口大正通 電九三九七番 奉天宇治町 電一四九〇番

奉祝御大典

關東長官 木下謙次郎

關東廳警務局長 藤岡兵一

關東廳內務局長 神田純一

關東廳高等官 食堂會員一同

關東軍司令官 村岡長太郎

關東軍參謀長 三宅光治

高等官一同

旅順高等法院檢察官長 安岡靜四郎

關東廳旅順醫院長 山根正治

旅順婦人病院長 大槻滿次郎

旅順工科大學 高等官食堂一同

旅順民政署長 藤原鐵太郎

旅順市長 平石氏人

旅順警察署長 瀧慶藏

旅順刑務所長 助川德輩

旅順民政署庶務課長 增田道義

步兵十五聯隊長 藤田進吉

旅順重砲兵大隊長 吉村文吉

矢嶋嘉平

正隆銀行旅順支店長 山本善男

旅順第一中學校長 藤井專隨

旅順第二中學校長 橫佩章吉

旅順高等女學校長 佐藤馬太

旅順師範學堂長 津田元德

旅順第一小學校長 高橋司

旅順第二小學校長 古賀竹次郎

水師營公學堂長 良川榮作

附屬公學堂主事 古野保一郎

旅順公學長 山口二郎

旅順市會議員(イロハ順)

西野菊次郎　大西重次郎　米岡規雄　田中德三郎　竹中延太郎　高索榮之助　內藤寬　村上信二　矢幡謙次　宮竹淸介

旅順療病院長 大津侚

須原坦

日本赤十字社滿洲委員本部 主事 我澤喜太郎

旅順郵便局長 西原廣周

大津昇雲

旅順金融組合 理事 中地小平

旅順市助役 岸田愛文

旅順市殿島町 製鹽業 矢原商會 矢原重吉 電話八一 一五一番

旅順市殿島町 宅島商會 宅島猛雄 電話一〇三番

旅順市名古屋町 仲野齒科醫院 電話一一九番

旅順市青葉町 深川齒科醫院 電話四七六番

旅順市乃木町三丁目 喜野商會旅順支店 電話同二七七番電信略號(キリ)

滿洲寫眞帖出版元 記念品御商 東京堂 乃木町三丁目 電話六一番

旅順市乃木町三丁目 食料品雜貨商 大島商店 電話一三八番

旅順八島町 石炭商 滿昌洋行 電話一六六番

旅順市三笠町 製鹽業 華信洋行 新市街大迫町 文具商 華信洋行支店

旅順金比羅町 トラスト製造元 タイハンストブ販賣 石井榮一 電話三七番

青葉町 萬代號藥房 電四二八番

乃木町三 田中藥舖 電三三六番

青葉町 宮竹藥店 電一七〇番

旅順質屋組合

旅順菓子同業組合

旅順市乃木町三丁目 近江屋吳服店 電話七九番

旅順市乃木町三丁目 土木建築請負業 本田與市 電話四一一番

旅順市乃木町三丁目 御諸官衙用達 岳南公司 電話三八二番

旅順市乃木町 輸入諸雜貨商 滋賀洋行 電話三七六番

旅順市乃木町三丁目 㐂ゑびす屋吳服店 電話一三〇番

旅順市乃木町三丁目 土木建築請負業 築島組 電話三九七番

旅順市名古屋町一七 土木建築請負業 石井本一 電話一三八番

旅順市大津町一六 疊商 興石久作 電話三六〇番

旅順市敦賀町 塚澤齒科醫院 電話二四二番

旅順市敦賀町 寢具商 原榮年堂 電話五三三番

滿洲蠶絲株式會社

旅順市乃木町三丁目 旅順無盡株式會社 電話二五一番

篤志看護婦人會旅順支會

將校婦人會旅順支部

旅順婦人修養會

旅順市青葉町四二 樋口寫眞館 電話四一七番

㊂ 旅順市青葉町二 下村履物店 中西嘉七 電話三二五番

旅順市敦賀町 製靴革類 阪本洋行 電話二六二番

㊀ 朝日町魚市場 井町商店 電話三三二番

旅順市明治町五七 銘酒神力 淸酒八重櫻 味淋燒酎及奈良漬 製造元 北川商會 電話四四七番

旅順乃木町二ノ一九 園藝商會 西田泰助 電話一四〇番

旅順市乃木町三(電五六番) 御旅館 寶來館

同青葉町(電二八二番) 御旅館 防長館

同青葉町(電三六七番) 御旅館 旅順ホテル

驛前(電四六〇番) 福壽館

乃木町 岩崎洋服店 電話三六四番

大迫町 高田洋服店 電話三九八番

乃木町 中山洋服店 電話三二九番

敦賀町 島村洋服店 電話一七九番

名古屋町 旅順檢番 電話五七 九一番

乃木町 彌生 電話三三七番

鮫島町 壽 電話一六九番

青葉町 青葉 電話一二一番

青葉町 君乃家 電話四二六番

敦賀町 新花月 電話二四二番

乃木町 瓢亭 電話四九番

昭和園 內田興行部 電話二四番

敦賀町共榮會(イロハ順)

久富商店 電四二九番

ヤマ一履物店 電五〇二番

井上商店

ミヤコ履物店 呼出三七四番

玉屋モスリン店 電二九番

カフエーキムラ 電五三〇番

小森商店 電一五番

熊井洋行 電七六番

安永商店 電七一番

三原商店 電八三四番

松金 電一六三番

鰭江町 奴すし 電六七番

名古屋町 つぼみ 電一二八番

乃木町 吉野町 電八四七番

敦賀町 カフエーキムラ 電五三〇番

同 福壽 電六二番

鮫島町 大阪や 電八二七番

大迫町 大迫屋 電三二八番

敦賀町 松金 電六一三番

名古屋町 すずめ 電九三〇番

末廣町 新更科 電五二五番

乃木町三丁目南部會

愛光寫眞館　岩田精米所　別府六三郎　川村彌市　吉村信貞　村上信二　伊勢平三郎　旅順運送會社　山地秀太郎　大平重太郎　內田勇　涌波初三郎　澤豊太郎

青葉町街燈維持會(イロハ順)

池田洋行 電四七番

原田時計店

新見時計店 電四八〇番

德商店 電一〇九番

岡女庵 電五〇三番

大阪屋號書店 電三五一番

吉野羅紗店 電一八六番

谷疊店 電五八四番

高治洋行 電八七番

山口商店 電一九四番

やまこ軒 電四九三番

中野日界堂

松崎紙店 電一二八番

文英堂書店 電二〇三番

瑞章堂印房 電一六番

旅順料理屋組合(イロハ順)

西町 一力 電一二〇番

同 蛤亭 電三四七番

柳町 濱名館 電九六番

西町 東洋軒 電一八〇番

川端町 吉田屋 電三一七番

同 旅島屋 電一三六番

十年町 松葉 電四三〇番

川端町 滿月樓 朝鮮料理

同 京城館 朝鮮料理

西町 榮福樓 電二〇七番

同 吾妻樓 電三八〇番

朝顏町 堺樓 朝鮮料理

西町 明月館 朝鮮料理

同 新萬歲 電一三二番

川端町 笑福樓 電三二四番

東町 春海館 朝鮮料理

川端町 昭和樓 朝鮮料理

滿洲日報販賣店 遠洲屋 外山洋行

奉祝御大典

大連市西通五四
モンドロス ミシン 滿洲代理店
河島ミシン商會
電話七二〇〇番

大連市西公園町六五番地
大連質業株式會社
電話七〇七三番

活版石版印刷文房具
大連市大山通り
小林又七支店
電話六一六一番

大連市監部通九十六
出光商會支店
電略(イ)又ハ(イデ)
電話(長)六一九一番 六一九三番 六四七一番

大連市吉野町一〇五
藥種貿易
大正堂商店
電話四九五二番 七七〇一番

大連市浪速町五一
光葉寫眞館
田尻光葉
電話五九八二番

大連市磐城町
ちゝぶ屋
電話六三九二番

大連市伊勢町九三
鐵金物 度量衡
千村商店
電話四五三一番

大連市大山通三二
羅紗貿易
丁字屋出張所
電話六六二七番

大連市大山通り(浪速町角)
滿書堂
書籍部 電話五五九八番
貿易部 電話六四一一番

大連市櫻町七八
滿洲牧場
代表電話六一三四番

大連木材組合一同

三菱
大連市山縣通五十四番地
三菱商事株式會社
大連支店
電話代表八一五一番

石炭
滿鐵特約販賣人
大連石炭商組合
佐藤組 電話四八七八 六八〇七番
熾昌[illegible] 電話四六七三 五六七八番
東萊洋行 電話六九・五六〇八六四・八九四〇番
共同組 電話四三〇九 四七〇二番
鶴田號 電話六〇〇〇 五九〇〇番
大宮組 電話五六六一 四六六〇番
宮崎商會 電話五二一九 五二一五番
東華公司 電話四五七六・四三五〇・七九四五番

大連市山縣通六七
株式會社 乾卯商店大連支店
電話三〇七九・五六〇一番

大連市浪速町二丁目
梅本製靴鞄店
電話七四八六番

東京千代田機械製靴株式會社滿洲總代理店
直輸出入商
合資會社 永記洋行
電話二一五三番
大連市榮町一三
振替大連四五二七番

大連市伊勢町五二
水田洋行紙店
電話四四八九番

大連市榮町二ノ一六
眞正 鰐の肝
佐々木洋行
電話二一三四二番

大連市伊勢町五十一番地
榮商會
電話八三九〇番

大連市敷島町六二
歌舞伎座
電話四五三八 六七四六番

大連市若狹町
大連劇場
電話三九三八番

大連市浪速町一〇七
日活 共營
浪速館
電話四六五四番

大連市岩代町三七
マキノ 共營
寶館
電話三七五八番

大連市西廣場
帝キネ 共營
演藝館
電話五三〇七番

大連市信濃町三三
松竹 共營
帝國館
電話六九五四番

朝日ポートワイン
IA印果實蜜 元賣
和洋食料雜貨商
朝日屋
吉田權三
大連市越後町但馬町角
電話三九一一番

大連市伊勢町
雨蓮社
藤田半七
電話六五五八番

和洋紙文具
大連市大山通り一五一番地
光明洋行紙店
電話七〇五九番

大連市信濃町一四一
小間物化粧小雜貨
小泉專治商店
電話七二〇三番

室內裝飾和洋家具
窓枠建具製造販賣
大連市西通二丁目
ヤマトヤ商店
松浦常一
電話六八三一番

大連市但馬町三四
深尾商店
尾舖健治郎
電話四二八二番

電氣諸機械器具材料品販賣
電氣工事設計監督修繕請負
大連市伊勢町一五一番地浪速町角
合資會社 佐藤電氣商會
電話 六七六七番 (長)七〇三九番

大連三業組合員一同

逢坂町遊廓組合員一同

今日ぞ大連全市街を日の丸の旗で埋むる日
二萬五千人の大衆を集むる奉祝の大行列

御大典大嘗祭の御當日十四日御大典を奉祝し愛國精神發揚の目的を以て行はれる本社主催の旗行列は午前十時大連、西部大連、嶺前屯の三部に分ち一齊に萬歳を奉唱し

奉祝歌を高唱しつゝ

隊伍整々歩武堂々と各集合所を出發行進を開始することゝなつた、豫報の如く參加各團體は本部二十七團體に一般市民を加へて約一萬三千名、西部大連、三小學校及び市民を加へて約九千名、嶺前屯小學校及市民を加へて約二千名何れも統制ある團體で二萬五千に垂とする大行列、滿街旭日旗の海と化しそこに奉祝氣分は横溢し愛國の精神は最高潮に達するであらう

各部行動の順序は左の如くである

大連の部　午前九時卅分（煙火一發）迄に電園下に集合同九時五十五分（煙火一發）杉野市長の發聲にて萬歳三唱（正十時（煙火三發）岩井總指揮官の號令にて出發、行進順路―常盤橋、信濃町市場正門前、磐城町、浪速町四丁、三丁、二丁目より奥町を大廣場に出で市役所前を通り左折して大連醫院前を右へ神明町を眞直に大連神社に到り、各團體別に參拜萬歳を三唱して隨意歸途につく

西部大連の部　午前九時卅分（煙火一發）迄に沙河口郵便局前廣場に集合、同十時（煙火一發）杉野市長の發聲にて萬歳三唱、直に出發（煙火三發）行進順路―大正通り電車線路に出で沙河口神社に到つて禮拜の後、萬歳を三唱、それより三隊に分れ一隊は霞町、沙河口小學校通學區域を、他の一隊は巴町、仲町、大正通りを巡行し、大正小學校前の奉祝塔下に集合萬歳を三唱して解散、更に他の一隊は沙河口神社より聖德街及び聖德小學校通學區域を巡行し聖德太子堂前にて解散

嶺前屯の部　午前九時卅分嶺前小學校に集合、同十時榊原校長の發聲にて萬歳三唱、出發行進順路―兒童を先頭に鶏舞橋、鳴鶴臺、晴明臺、光風臺に至り大國旗の下にて萬歳三唱、更に光風臺から文化臺電車道に出て綠橋より桃源臺に入り小松谷より鶏龍臺に到り大國旗下にて萬歳三唱、次に平和臺より電車で歸校、一般人は冷酒を酌み君ケ代を合唱し萬歳三唱散會

雨天なら十六日に延期する

今日の天候は急變のない限り大體昨日と變りなく寒からず暑からず風も靜かに瀟灑の絶好の奉祝日和であらうと若草山觀測所は豫想してゐるが、萬一にも降雨の場合は即位禮及び大嘗祭後大饗第一日の十六日の吉辰を選び、同樣のプログラムによつて盛大に擧行する豫定である

學校小使を表彰する
勤續二十二年

大連伏見臺小學校の小使若井作平君は同校開校以來勤續廿二年に達し精勵よく職務に忠勤して來たが同校保護者會及び同窓會では御大典事業の一つとして若井小使を表彰することゝなり十五日午後一時より同校講堂に於て表彰式を擧行し記念品を贈呈する由

漸く再興した萬國學術研究會議
柴田東大教授歸朝談

【長春發】東大教授柴田博士は萬國學術研究會議に出席し十日過長歸國したが

「本年の會議は全部事務的方面の問題のみで七月十日から十二日の三日間に亘り開催された、が何分歐洲大戰のために同會は殆ど其影響を受けて破壞されたのであるが、本年漸く再興するに至り來年度からは獨逸、オーストリヤ、ブルガリヤの諸國も參加することになつた、ソウェート聯邦から非公式に五名の學者が來會した、正式に參加するか否かは決定しなかつたが、ソウェート聯邦としても學術研究であるから國是は多少他の列國と異つても研究には差支えないであらうから加入するものと想はれる、歐洲に於ける日本の地位は非常に高められた、從つて日本の學者としても決して歐米學界に對して恥づる點はない斯界に重皆を有してゐるが其れだけ自重せねばならぬであらう」と語つた

滿電に來た除雪自動車

遭難した大山丸歸連
骨肉相擁して嬉泣き
船長當時の模樣を物語る

大連汽船の大山丸（五千八百五十噸）は北海道網走港にて貨物を滿載熊田經由大連港へと航行中千葉縣犬吠崎沖で去月八日未明航行中颱風の爲遭難行方不明との入電以來杳として消息がなかつたところ突如十三日午前七時大連港に歸港きづかはれたその

雄姿を

三十三番バースに横付けた記者は早速同船を訪れると船長高堂仁三郎氏は語る

私は三十年餘り航海に從事してゐるが今度程ひどいめに遭つた事はない、忘れもしない去月八日午前四時、犬吠崎燈臺を右手に見て熱田に向ひ航行中俄然起つた颶風と激浪に本船は木の葉の如く翻弄され見る間に左舷側前部の「ブルワーク」各舶の「カーゴーデリク」は破壞され、午後五時頃よりは風浪益々激しくなつたので最後の方法として積貨木材二千石始め貨物約三萬圓のものを悉く海中に投棄したがウインチ、マストリギン、ハッチニーミングは悉く破壞され、

船內には

刻々浸水、午後六時命と頼む主檣は打倒され無電設備も粉微塵に破壞されたので八十名の船員は水盃を交して死を俟つてゐたが幸にも九日午前五時より風浪漸くおさまり日本郵船の汽船に救助され十一日午後三時熱田に入港爾來「因島」船渠で約二十日間傷いた箇所を修理し今日漸く歸港した譯です

尚同船が着いた時には船員の各家族で三十三バースを埋め骨肉相擁して劇的シーンが織出されてゐた

十三日蓋あけた滿洲寫眞美術展
觀覽者夥しく好評嘖々

大毎及び本社後援遼東寫光會主催の御大典記念滿洲寫眞美術展覽會は愈十三日午前十時から第一會場三越に於て蓋をあけたが參觀者引も切らず其出品が全支那にまたがり、しかも一流作家が御大典記念として特に力作を選んで出品しただけあつて單に座して全支那の風光に接し得られたといふこと以外に多大の藝術的情趣を感得し賞讃の聲は異口同音に放たれた、殊に審査員淵上白陽氏と日本光畫協會同人の特別出品は寫眞藝術家に少からず衝動を與へてゐる（寫眞は展覽會場）

汽船ウ號遭難

【紐育十二日發電】大西洋航行中の汽船ウエストリス號はノーフオーク沖三百哩の個所で沈沒に瀕し乘員及び船客百廿七名は救助を求め乘り移つたとの無電があつた、同船はニューヨークより南米行の途中に遭難したもので同船には日本汽船オーヘイオ丸が最も接近してゐたので急行し乘組員、乘客の全部を救助した、尚遭難船客中には陸軍少佐井上吉雄氏夫妻が居た

恩典に浴した重罪犯三名
旅順の刑務所から十三日假出獄さる

曠古の御盛典である陛下御即位に際し關東廳刑務所に收容中の奉天松島町四無職殺人罪岩城直一（三〇）および大連西王家屯假第一區一八四請負業放火罪中野又五郎（三〇）奉天省監平城東門外二六雜業、誣告、騒擾、傷害、阿片煙罪及兵器及注射器取締規則違反三上喜野テルヱ（三〇）の三名は刑期三分の一を經過し且つ改悛の情顯著なるものとして十三日假出獄を許された因に岩城は奉郭戰爭の時擾張擾郭の激論より相手を刺殺し中野は五千圓の保險金欲しさに新築の自宅に火を放ち、テルヱは夫三一と共謀の上肩書のやうな種々の犯罪を爲したものである

軍艦か汽船か

軍艦か汽船か疑問視されてゐたもの支那東洋艦隊所屬の華甲號は、八月十五日以來大連港V四番に碇泊してゐたが、十二日午後五時入港當時の水兵は一人も居らず純然たる普通汽船の船員の操縱に依つて旅順に向つたが、旅順の海務局支局では同船を軍艦として取扱ふべきか汽船として扱ふべきか航路標識料徴收問題もあるので大連海務局に相談して來た

旅順管內の爆發物取締
成績極めて不良

旅順署では客月十八日より三十一日までの間管內における火藥類消費個所及び火藥類を貯藏する個所に就き取締員を特派し臨檢せしめると同時に違反者に對しては相當の處分をなし罪輕き者には説諭して將來を注意したがその結果制限外に一時に多量の火藥を買入れて處分または説諭を受けた者三件、貯藏所以外他への家屋に火藥を保管して説諭を受けたる者二件、無許可にて火藥を讓り渡して説諭を受けた者二件、火藥の收支を明かにせずして處分又は説諭を受けたもの七件、火藥の收支に關し帳簿と現品が合はず處分又は説諭を受けたもの五件、火藥を隱匿し臨檢に際し不實の申立てをして處分を受けたもの一件、多量の火藥を貯藏所以外に貯藏して説諭を受けたもの三件であつたと、尚當局は右の不成績に鑑み爾後は一層取締を嚴重にする方針にした

御大典映畫謹寫（第一報より第五報まで）

十四日午後三時より　沙河口劇場
十四日午後七時より　協和會館
主催　滿洲日報社

染洗業組合の從業員表彰

大連染洗業組合では來る十六日午前十時から市內大山通花園席に於て御大典奉祝記念優良從業員表彰式を擧行する筈

愛犬倶樂部
大連に生れる
展覽會を開催

今度御大典を機とし當市愛犬家有志の發起で畜犬の愛護改良を目的とする大連愛犬倶樂部なるものが出來ることゝなつたが、同倶樂部は全く素人同好家の愛犬の爲の結合機關として民衆主義開放主義で行くさうである、先づ第一歩として發起人の肝煎り我社の後援の下に此の十八日に中央公園で會員募集を兼ねた第一回畜犬展覽會を開催する由であるが、隱れたる愛犬家の多い當市のことであるから定めし良犬珍犬も多數見られることであらうと

優渥な御諚と鷄卵を賜ふ
皇后陛下の思召に
東郷元帥の感涙

【京都細田特派員十三日發】皇后陛下には東郷元帥が八十二歳の高齢をもつて最後の御奉公として連日の御盛儀に參列する心勞を思召され畏くも十二日夕河井皇后宮大夫を經て優渥なる御諚を賜はり尚鷄卵一箱を賜ふべき旨御沙汰があつたので同大夫は直に侍從を三條寺町の太文字屋旅館に派し同元帥に對して畏き思召を傳達したが折柄桃山御陵に參拜し次で乃木神社に詣で歸還した元帥は御下賜品を戴いて感涙に咽びつゝ「畏いことだ、一人で頂くのは勿體ないから此有難い品を同宿の人々全部にお分けしたい」と言つたので同家の主人は羽織袴にて威儀を正し自ら料理して元帥の食膳に供すると共に同宿の鈴木軍令部長夫妻、徳川達孝伯、青山男、増田義一等の人々をはじめ海軍々令部臺灣總督府の諸員に至るまで全部に供したので孰れも陛下の思召に感激し元帥の光榮を祝つたといふ

沙河口遊廓で華娼の情死
添はれぬのを悲觀し
男とモルヒネを嚥下

市內沙河口元町支那遊廓に十三日支那人には珍しい情死事件があつた、女は同百二十番地料理店第三號趙子氏方抱酌婦宮翠香（二〇）と男は情夫宮某と稱するもので翠香は去る十日小崗子久壽街より前記第三號に鞍替へしたもので十二日夜遲くまで兩名は酒肴を命じて遊興の上午前三時ごろ就寢したがモルヒネを多量に嚥下せるものゝ如く十三日午後一時半ごろ男の實兄が來訪し始めて死亡して居ることが判明し直に沙河口署に屆出でたので坂本司法主任は竹澤囑託醫と刑事と共に現場に赴き檢視を行つたが死後既に相當經過して居り、原因は貧兒の無心に堪へかね兩人添はれぬのを悲觀して右始末に及んだものらしいと

御大典奉祝愛國運動の旗行列は愈よ本日

一、大連の部　午前九時卅分電園下に集合、同十時出發
一、西部大連の部　午前九時卅分沙河口郵便局前廣場に集合、同十時出發
一、東部大連の部　午前九時卅分嶺前小學校に集合、同十時出發

主催　滿洲日報社

優等銘酒　金露　大塚合名會社釀

本年は惠れる大連の氷滑黨
昨日市役所に於て
スケート協議會

大連市主催の本年度スケートに關する協議會は十三日午後四時より市役所參事會室にて開催されたが、鏡ケ池に於ける設備は二百五十米突のコースおよびホッケー競技場を作ることゝし、東側の二百五十米突とホッケーとを有料に西側の二百五十米突を無料にすることになつた、有料會費は一般（中學生等を含む）一圓、小學生五十錢とし責任設備委員として高橋俊雄氏を囑託、春日池は春日小學校に依託して設備その他を依賴無料公開することゝなつた、大會開催は鴨綠江の大會が二月三日、奉天の大會が一月二十日である關係上大連は一月廿七日と決定した、スケート指導者は滿鐵氷滑部幹事増澤正樹氏が責任者となつて指揮することゝなつたが、氷滑場の理想的手入法として撒水機を奉天へ注文し毎日氷面の整理をすることになつたので、本年の氷滑黨にとつては非常に惠まれるであらうと見られてゐる

因に出席者は小數賀市助役、小泊庶務課長、岡部、増澤、高橋、林田の諸氏に民政署、學校等關係方面二十餘名であつた

奉祝演奏會

大連觀世會喜多會滿洲支部主催に係る御大典奉祝演奏會を來る十八日（第三日曜）午前九時より、市內彌生町高等女學校講堂に於て催し一般の來聽を歡迎すると

奉祝の學藝會

大連朝日小學校では來る十七日午後一時より同校講堂に於て兒童の保護者を招待して御大典奉祝の學藝會を開催するが、演技は一年生の可愛らしい動作遊戲、唱歌を始めとしてダンス、對話劇、舞踊、獨唱、ハーモニカ等いづれも練習に練習を重ねたもののみである、尚同日校舍內に書方、圖畫、手工裁縫、手藝等の兒童成績品を展覽し特別室には學校一覽、職員の作品研究物、毎年度成績品、奉祝記念蒐集教便物等を陳列展覽する由

旅順一中學藝會

旅順第一中學校では十二日午前八時より同校講堂において生徒學藝會を開催したが學藝および辯論に就き審査の上左記生徒に夫々賞品を授與し午後三時二十分閉會した

學藝部▲一等大川忠一郎▲二等眞砂兩生▲三等上妻宗敬
辯論部▲一等西岡撤夫▲二等宮田正夫▲同橋本日出男▲三等山口俊雄

旅順高女音樂會

旅順高等女學校では十七日午後一時より秋季音樂會を開催するが尚當日は午前中夏期休暇製作品並に御大典記念事業の一として日本代

福引券進呈

謹而御大典ヲ祝ヒ奉リ、併セテ皆樣ノ御旅情ヲ慰メ申シタク十一月十日ヨリ同十六日マデ七日間列車內販賣（本線、安奉線共）商品御買上高金拾錢毎ニ福引券壹本ヲ差上マス
●御當鐵ノ方ニハ長春、大連驛構內食堂、食堂車（安奉線ヲ除ク）及列車內販賣ニ共通ノ賣品引換券ヲ福引券ニ印刷シテアリマスカラ御利用ヲ願ヒマス

壹等　金壹圓
貳等　金參拾錢
參等　金拾錢

滿洲ラヂオ

ばいかる丸無電　十四日午前九時港外着豫定

昭和三年十一月十四日（水曜日）
自午後〇時三十分　ニュース
自午後三時三十分　ニュース（以下繼放送）
自午後六時　ニュース
自午後六時二十五分至午後七時　記念講演大嘗祭の御儀と其の精神　伯有義
自午後八時三十分至午後八時四十分（京都より有線連絡）大禮特別ニュース（以上東京より中繼放送）
料理獻立
天氣豫報

文藝映畫公開！

パツシー・ルス・ミーラー孃主演　ゴールドウイン文藝映畫
追悼
米國家庭に於ける悲喜物語り愛する子供達に對する血と汗の努力は浮氣なお轉婆な息子や娘達に依つて如何にして報ぜられるか？而してパツシー・ルス・ミーラーを―

エリン・ハンメルステイン孃主演　チヤドウイツク傑作映畫
紅と白粉
華街ブロードウエイに咲く花一輪、妖麗な女優の秘めたる悲しき戀物語り、運命に泣く戀持つ乙女と世の皮肉とそして文華かなる劇中劇の舞臺面を味へ！

十一月十一日午後八時より　ヤマトホテル大廣間
十一月十四日午後七時半より　キリスト教青年會館
主催　ソセーテイ・デー・シネロマン

清酒澤龜
日本各地名産・珍物
世界各國酒類・食料品
新荷着
越前名物　いかの黒漬
鮎子うるか
肥後名産　かきの鹽辛
靜岡名産　わさび漬
東京風菓子謹製
米國製　燻鮭
ハルビン產　すゞ子
伊豆の　むろあじ
くさやの干物
甘鹽の鰤
燒はまぐり
新生數の子
宅の店　大連大山通
電話代表五一九九
キング　澤龜

大連市信濃町岩代町角
三根眼科醫院
電話六四一〇番

各醫科大學御用品
マルツエキス
乳兒　榮養不良　常習便秘　等の治療的榮養劑
「マルツ汁エキス」は「マルトーゼ」を主成分とせる乳兒榮養品にして胃腸障碍の乳兒に對しても容易に消化吸收せられ佳良なる發育を遂げしむ、時に常習便秘の救治の如きは全然藥物又は浣腸等の强制手段を採らず食餌療法として「マルツ汁エキス」を與ふるときは便通極めて順調となり同時に豐富なる榮養を供給して愉快なる發育を見るべし
○詳細說明書進呈
○各地藥店販賣
○近頃にせものあり、和光堂製を御指名の上御買求め願ひます
株式會社　和光堂大阪支店
大阪市東區南久太郎町二丁目
1110

型の崩れない
ボルサリノ帽子
帽子に御理解のある紳士は皆「ボルサリノ帽子」を御愛用になります。「ボルサリノ」は、帽子として、最良質のニウトリア又はコウニーフアーで作られ、帽體の縮絨法は他の模倣の出來ない獨特の技術で、最も丁寧に出來て居りますから頗るお召心地よく、最後迄型が崩れず、普通帽子の三倍以上は裕に召されます故、結局「ボルサリノ帽子」はお徳です。今秋の流行を代表する上品な紳士向から、モダーンな御若手向等に到る迄、最新型の「ボルサリノ帽子」が全國一流の店にありますから、お買求め下さいませ。

Borsalino
ORIGINAL HOUSE FOUNDED IN 1857
眞正ボルサリノ帽子のびえ皮に總て上記の金文字あり御求めの節に御注意を乞ふ
御注意
BORSALINO HATS

虚しき湖（76）

山崎斌　淺枝次朗畫

破局（1）

とうとう、來た！

――不幸なる終末は、彼等の上に遂に來た。

（遅かれ、早かれ、やつて來るぞ！）

それは、早く彼が、心には決してゐたことではあつた。――然し、これ程に早く……とは、流石に思はなかつた。……

午後であつた。

彼は、また、久子からの暗號の通信を速達で受取つた。これは例の羅馬字のもので――

「今夜、午後八時半、カプト座の右廊下にて――」と、書いてあつた。

（――すこし、逢ひすぎてはしないかしら！）

彼は、そこに、心が瞬間暗なつた。然し、この頃の彼は――女とでも逢ふより他に、もう何が出來ると言ふのでもなかつた。夕方が來ては決して家にゐなかつた。夜は遲く歸つて來た、歸ては夢を見た。朝は頭が重く、晝からはまた心持が乾燥して落つきを全く失つて仕舞つてゐた。そして灯の街に這入るのを待つ樣にして家を飛び出すのだつた。そして、そんな時には、彼女に逢はれないことが苦痛にさへなつて來てゐた。

一坊やは、いま、はしかをやつてゐるのよ。――でも」

――一んな風に言つて、出て來る彼女でもあつた。久子は、いまけも、それが、すべてゞあつた彼女はあらゆる機會のすべてを擧げて彼と逢つてゐた。そして彼女はもう彼女の周圍を怖れてはゐなかつた。……たゞ、彼女は醜しい嫉妬で暗い臆をしてゐる、その夫との間をだけ、心配してゐた。……

（八時半！あの廊下。――また無理をしてゐるらしいな）

彼は、それを思ひながら、新聞の廣告からカプト座を探した。

――それは、ベートーヴエンの交響樂第七番、それにチャイコフスキーの「胡桃割り」ムーゾルグスキーの「禿山の夜」ボロディンの露西亞歌「イゴール公」で、午後七時の開演であつた。

さあ、四時半――まだ、それには、ひどく早いが、外へ出て夕飯でも喰べるかナ」

そして彼は、その後も一度遊んで見た、池の端のレストラン「花園」へ出掛けて龜松をよんだ。

「まあ、小さんでしたの。――困つたわ。わたし今夜お約束があるのよ」

龜松は、あどけなく笑ひながらも、そのことに甘える樣にして眉を顰めた。

「丁度いゝよ――僕八時半から、約束だから」

彼は、笑ひ出した「とても、いゝお座敷なんだからね」

「あら。――からかつちやイヤですわ。わたし、ほんとうに寛會よ……」

「イヤ……今のは僕のことを言つたのさ。――八時半からカプト座のお約束なのさ」

「まあ、人が惡いわ。……さう、吉右衛門だつたかしら？――いゝわね」

「違ふよ。……それは臨時もので、ベートーヴエンていふブーーいふ難しいんだがね。――お座敷つてのは、美しい女の人のお座敷なのさ」

彼は、何がなく、いまはそんな處に巫山戯て見たかつた。――笑つた。

「あら、お惚氣なの！」若い妓は赧くなつて言つた「ひどいわ、そんなこと、いゝから覺ていらつしやい」

「――ところが、本當はお惚氣どころではないんだ。――まごまごするとこれを斯樣しなければならないんだからね」

彼は、いよいよ笑つて、頸をしめる眞似までして見せた。

「イヤ、小さんは――」

龜松は、……彼を打つといふ樣に左の手を上げた。――そこに、その手首に掛けてゐた硝子玉の珠數が光つた。

「あ、いゝもの、持つてゐるね、君は！」

――透明な硝子玉を綴つてゐる。それにはピンクの絹の房がついてゐる……小さいおもちやの樣なものだつた。

「お母さんに頂いたの」

「――ぢや、僕、今度、もつといゝの買つて上げるから、これ呉れない！」

「えゝ、上げるわ。――持つてらつしやい」彼女は笑つた。――

「でも、どうなさるのこんなもの」

「――後生を願ふのさ」

滿日柳壇

御大典奉祝

高橋月南謹選

榮轉へ昨日にかわる今日の口　大連　村川牛馬

彌榮えませと菊花の香も高し　遼陽　杉田牛生棒

天地を動かすばかり奉祝旗　松江　多久和喋助

舞姫の光榮嫁の口も出來　遼陽　松尾松堂

雲井まで瑞雲たなびく今朝の空　撫順　林清公

榮爵も捨てゝ故郷に畑を打ち　同　田中放浪子

光榮の使に遥か乘せて來る　奉天　新井白雲

限りなき榮譽を浴びる老夫婦　遼陽　田中義山

黒船のあと七十年國榮え　大連　寺山青々庵

御大典記念に禁酒村が出來　奉天　野並白洋

恩典の祖母は齒抜けの顔崩れ　同　森岡自由

老の身へ天盃下賜の溜め涙　同　德田錦江

窗田の満作祝ふ郷土樂　撫順　四季亭

酒罎が今日慎ましく御大典　哈爾賓　石櫃輪漕

御大典下戸も一杯祝ひ酒　奉天　西尾曾川

大典の記念久しい煙草止め　撫順　鎌田小富士

選者吟

大八洲いやさかへませと旗の波

天盃の餘慶につゞくいゝ話

奉祝御大典

瓦房店之部

瓦房店地方事務所長　長井租平　外所員一同

瓦房店警察署長　清水激

瓦房店郵便局長　尾崎重樹

瓦房店電燈株式會社專務取締役　谷保太郎

瓦房店　機關區員一同

瓦房店　保線區一同

瓦房店小學校長　杵淵彌太郎

瓦房店公學堂長　福井優

瓦房店　醫院一同

瓦房店驛員一同

瓦房店地方委員議長　石丸幸作

瓦房店共榮號　森田彦三郎

南滿洲煙草耕作組合

滿洲果樹組合

瓦房店　工友會

瓦房店　家庭研究會

瓦房店　滿鐵俱樂部

瓦房店　東區長　藤山佐太郎　西區長　井上伊七郎

瓦房店滿鐵俱樂部食堂　槙戸喜一郎

瓦房店　御料理　筑紫館　電話一五番

普蘭店民政支署長　本莊宗三　外職員一同

日本赤十字社普蘭店委員支部主任　今泉牛五郎

各種陶磁器土管水缸類　耐火煉瓦　耐火煉土　復州粘土窯業公司　電話三二番

普蘭店商務會長　王貴臣　電話一二番

普蘭店公學堂長　高田九郎

普蘭店小學校長　井神貞一

普蘭店郵便局長　山根隆三

普蘭店驛長　福井十一

三十里堡　果樹組合

普蘭店　豊島醫院　豊島慶三

普蘭店金融組合　理事　尾股忠助

瓦房店電燈株式會社　電話一七番

大連之部

獵銃獵具類　拳銃及空氣銃　工業用火藥類　レザークロース　ファーベルト　カーバイド

Ⓢ　阪本商店　大連市浪速町一二六番地　電話（三五七六番　四七四五番　七五五五番）　振替口座大連一七四番

出張所　哈爾賓道裡外國六道街三五　電話四四七三番

直輸入貿易商　合資會社　加藤洋行大連支店　大連市紀伊町　電話代表六一一五番

硝子タイル製造　建築材料、機械工具、各種塗料販賣　衞生煖房、防水防蝕、タイル張工事　獨逸ツリトンパス代理店　滿洲ペイント　南滿タイル工業所改稱　矢守商店　大連市榮町二十二　電話三六〇九番

獨逸テツナコスメチツク會社東洋總代理店　順天公司　大連市山縣通

滿洲發賣元　日本賣藥會社　大連市浪速町

山東發賣元　藤木支店　青島山東路

名古屋發賣元　井野商會　名古屋市西區下園町三丁目

京都發賣元　松本辰次郎商店　京都市二條通

大阪支店　順天公司　大阪市西區立賣堀南通

小崗子市場組合　電話五四四六番

キッコウタマ　河又醬油　大連市信濃町

大連市磐城町十一番地　三井呉服店　電話六六六五番

滿洲煖房衞生同業組合

（イロハ順）

奉天千代田通二四 今井商會	今井三郎主	電話六八二
大連市吉野町九一 橋本商會	橋本與三郎	電話三四八八 四九九
大連市山縣通一六 大倉商事株式會社大連出張所	池田龍雄	電話代表八一六一
奉天富士町六 河村工務所	河村頼	電話一三〇一
大連市淡路町二 勝本機械事務所	勝本永次郎	電話六八九〇 三八九四
大連市若狹町一八〇 田中勝商會	田中勝藏	電話三一二五
大連市山手町四 竹山商會	竹山吉次	電話六五五三
奉天富士町九 近藤商會	近藤平次	電話四六二
大連市西公園町一七九 齋藤製作所	辻竹次郎	電話三〇二四
大連市監部通二〇 島松商店	松澤萬三人	電話代表六一〇四
大連市西公園町五五 須賀商會	小阪博通	電話六七五九
大連市惠比須町九二 中島平治事務所	中島平治	電話三〇八〇
安東縣四番通ノ三 須田商會	須田武夫	電話五八六